夕刊
滿洲日報
六月二十七日
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

榊原農場遮斷の北陵鐵道 今曉斷乎とし撤去決行
支那側の無誠意な態度に對し租權擁護の非常手段

【奉天特電二十七日發】先月二十五日林奉天總領事より張學良氏に對し最後警告を發した問題の北陵行遊覽鐵道の榊原農場永租地侵害事件は一個月餘を經る今日に及ぶも何等支那側は誠意を示さざるのみならず却て其隣接地に停車場を新設し複線工事を施せる他萬一に備ふるため夜間は貨車二臺に武裝巡警約二十名を配して夜番看視せしめるに至つた、かゝる狀態に在つて事件は何時解決すべくもないため該農場主榊原政雄氏は最後の手段として該鐵道を撤去するに決し、二十七日午前四時十分人夫二十餘名を率ゐて現場に至りレール十本及び枕木ポイントをとりはずし、現場にありし貨車一臺を農場外に逆もどし枕木を以て堤をつくりレールをその外に投げ線路を遮斷し鹿柴上に日の丸の國旗と赤色の危險信號旗とを交叉し、更に榊原農場と記せる立札をたてゝ引あげた、該農場を橫斷せる遊覽鐵道は約一丁に亘るが破壞作業中監視の支那巡警は全く傍觀してゐた、撤去後の現場は早朝より巡警東北大學生を初め多數の民衆が黑山となつてゐる(號外再錄)

あらゆる不法手段にて商租地の侵略を實行
先づ農場橫斷の堤を築いて遂に鐵道を敷設す

この度の北陵行列車線路と榊原農場問題に關して事件の推移を簡單に見ると左の如くである、榊原政雄氏は豫て奉天北陵一帶を正式に商租してゐたものである、この間

支那側はあらゆる不法手段によつてこの商租地の侵略を企圖し又實行するに至つたものである、即ち三年前この榊原農場の內一千八百坪の用地を無謀にも橫斷する堤をつくつた、これは郭松齡氏が航空所をつくる爲め北陵附近迄の鐵道延長が必要となつた結果のもので、當時日本側から幾度か嚴重なる抗議を提出したが、支那側は何等顧みる所がなかつた、

この間 更に今年に至つて瀋海鐵路局は北陵遊覽鐵道の企圖を名として、この堤の上に鐵道を敷設したことであり、榊原政雄氏は東奔西走この不法事件を述べ、改めて今年三月十一日奉天總領事を介して鐵道敷設軌條の撤回を嚴重に申込んだ、しかるに支那側は「租金不納に付商租權喪失」を名として頑として讓らぬので再び今年五月二十日奉天總領事の名を以て遼寧交涉署長王鏡寰氏に宛て左の如く嚴重に最後の抗議を爲した
「該農場を貴國が使用して相當の賠償なき時は自ら貴鐵道を撤去すると榊原氏は云ふがこれは本官も正當な理由として差し止め得ぬから豫め御承知を乞ふ」

鐵道撤去は合法的
藤岡警務局長談

右問題に關して藤岡關東廳警務局長は語る
今朝、領事館警察の署員が萬一の場合を考慮して現場に行つたが全部歸つて來た、といふ報告に接しただけであるが、貴紙號外の通りであらう、榊原としては合法的に敢行したもので今後此の問題は我が領事館と支那側の交涉によつて解決されることゝなるであらうと思ふ

英國新議會開會

【ロンドン二十六日發電】英國新議會開會され嚴肅なる儀式の裡に下院新議員は皇帝に對する忠誠の宣誓をなした、右宣誓は議長キャプテン、フイツロイが第一番に行ひ次で內閣に列せる下院議員マグドナルド首相が行つた

榊原農場內の鐵道
—下は同農場と附近の略圖—

日支兩國間の解釋
支那側の主張する「地租怠納」で權利は喪失しない

かくて榊原氏としては斷乎として自力によつて撤回する用意を整へた、既に支那側と日本側との間には言葉による交涉は頓挫して「力」による解決以外には殘されて居なかつた、俄然今二十七日午前四時十分榊原氏は日本人人夫を督して支那鐵道を撤回し日の丸の國旗と、赤色危險信號旗を揭揚するに至つたのである

さてこの事件の起因に就いて、日支兩國間の解釋を吟味して見ると何人の目にも支那側の不法行爲は明瞭に看取される、即ち
一、支那側は商租權を民法物權法中の地上權と強いて混同し地上權が三年以上地租を納入せざる時はその權利は消滅すると云ふことを引用して榊原農場に當て嵌めたこと、これは勿論大きな間違ひであつて商租權は民法物權に屬する地上權の如き薄弱なる性質のものでなく、三十年の期限に至れば無條件更新となるものではあるが、一つの永久權利である、そして支那側の云ふ地租怠納によつて權利を喪失するものではないと云ふ結論である
二、而も榊原農場側の言分に依ると支那側の地租怠納と云ふも事實は大きな扞格あり、この問題となつた租金は大正五年榊原氏が第一、第二農場交換の際支那側から榊原氏に交附すべき一萬圓と相殺する約定ありしも、商租契約整備を條件として曲げて便宜上榊原農場は大正十三年迄の租金奉小洋五千二百四十元を支那側に納めたる所、支那側は一度受理したる後、之を返還したと云ふのである、この邊り支那側の榊原農場に對し商租權取消の口實を得ん爲めの手段と見られてゐる
以上第一、第二の理由から見て支那側の執つた態度の不法は明瞭なものであつて、榊原農場の自己取得の權利擁護方法として今朝執つた態度は合理的であると見られてゐる

張學良氏に公文を提示す
奉天總領事館より

【奉天特電二十七日發】榊原氏は別項の如く鐵道の遮斷工事を實行し其旨奉天總領事館に報告した、この通報に接した總領事館では左の如き意味の公文を本日午前九時半交涉署員の手を經て張學良氏に宛提出した
榊原から本朝北陵遊覽鐵道遮斷工事を實行した旨の通報に接したが、右は前々公文をもつて注意した通りなれば本問題解決を見るまで今後再び鐵道敷設等のことをせざるやう諒解を乞ふ

榊原農場百町步は正當商租した土地
壓迫に堪へかねた支那人から民國三年に轉租

【奉天特電二十七日發】榊原農場問題に關しては既報の通りであるが之に關する今日までの經緯を詳報すれば左記の通りである、民國元年に支那人崔沁生なる者當時の東三省督撫趙爾巽の保護の下に奉天省の

有力者數名と共に溥豐農場公司を設立し北陵附近に於ける宏大なる土地の開墾に當つたが民國三年督撫が更迭するや新督撫は同公司に壓迫を加へ公司の事業は困難に立ち到り公司側では承租權全部を榊原政雄に轉租した、榊原農場なるものは右土地の一部で右の如く當初榊原の得た土地の權利は今日の同農場に較べ遙かに宏大なる土地であつたが、支那側との間に種々の經緯が起つた末支那側で之を他の農場と交換するの議を持ち出し數次

折衝の結果土地所有の中百町步を殘し爾餘の土地は二三の交換條件と引換に大正四年支那側に返還した、右百町步の土地については其の後大正八年五月六日榊原の弟清本政三郎名義で日支兩國間に認證を得即ち正當に商租された土地である

權利者に無斷で鐵道を敷設
大正十四年から起工

支那官憲は不法にも大正十四年中皇姑屯驛から三臺子に通ずる鐵道敷設の爲め權利者の承諾を得ず無斷で同農場を橫斷して敷設工事を進めた、當時日本側に於ては嚴重支那側に抗議し使用土地に對し相當の保證金支拂方を要求したが支那側に於ては何等滿足なる回答を與へず爾來交涉行惱みとなつて居た所、本年度四月中支那側は更に其の隣接地に停車場を建設し同農場內に回避線を引込むに至つた

權利侵害を數回抗議
我總領事館から

右に對し奉天總領事館に於ては我邦の正當の權益を擁護するの大局上の見地に基き昨年秋以來支那側と交涉を再開し昨年十月四日附、本年一月十九日並に三月十一日附

公文を以て支那側の反省を求め鐵道用地に對し賠償金を支拂ひ本件を圓滿に解決せん事を要求したに拘らず其の都度何等誠意ある回答に接せざるのみならず支那側は更に回避線の引込みに依り我國の權利を二重に侵害するに至つた、此處に於て領事館は本年五月八日、五月廿六日、六月十五日附及六月廿五日附公文を以て前後四回に亘り支那側の處置の不法不當なる所以を指摘し賠償金の支拂を要求すると共に合せて支那側の滿足なる回答なき限り我邦の權利者側に於ては其の

正當の權利を確保する爲め自ら該鐵道を撤回遮斷する事あるも領事館側に於ては之を差止め得ざる立場にある事を通告した、尙其の間榊原自身は平奉鐵路局に對し數回賠償金支拂方を懇談したが遂に承諾するに至らなかつて居る

支那側詭辯を弄し我租權を取消さんとす

支那側に於ては本件に關し榊原は租金の納附なき爲め榊原の商租權は數年前に消失して居ると主張して居るが、本件商租契約中には租金不納の場合に租權を取消すべき

條項がない、しかも大正十三年七月奉天總領事館に於ては榊原の依賴に基き公文に大正十三年迄の租金として奉小洋五千二百四十元を添へて支那側に送附し交涉署から七月十八日附を以て總領事館へ領收書を送附して來た、其の後右金圓を返還して來たので總領事館員の面前に於て支那側から送附して來た領收書及び其他の關係書類を閱覽した事實もあり尙右金圓は今日迄總領事館に保管してあり支那側では右の經過に關する記錄が缺除して居る爲め日本側より金圓を受領したに拘らず之を返還した事實は全然ないと

主張してゐる、また支那側では水利金の不納も商租權喪失の一理由に數へて居るが事實は大正三年當時の交涉員于仲漢、水利局長蘇成亨が榊原に對し同人の租借地中送水用地の提供を懇請した爲め榊原は水利費の免除及堤防の完全なる築造を條件として支那側の申出でに

承諾を與へたものである、從つて支那側は水利費を要求する權利は全然ないわけであり、支那側は當時の約束に反し堤防の築造を完全にせざる爲め大正三年以來堤防の破壞浸水頻出し榊原農場に損害を及ぼした事が數回に上つて居る

誠意なき支那側

要するに支那側は契約の規定なきに拘らず租金の一時的滯納を口實として殊更に一方的に契約を破棄せんとするものと云ふ可く圓滿解決の誠意なき事は疑ひなき所である、右の如き情況にある以上之は單に一榊原のみの問題と認むるを得ず延いては我邦の權益全般に影響を及ぼすべき重大なる點に鑑み權利者たる榊原が自己の權益を確保する爲め鐵道を自ら遮斷せんとする以上は奉天總領事館としては差し止め得ざる立場にあるので別に榊原の行動を阻止する措置に出でなかつたのである

不戰條約の御批准奏請
今夕聲明書發表の筈

【東京二十七日發電】田中首相は二十七日午後一時半宮中に參內天皇陛下に拜謁仰付られ不戰條約御批准の件を奏請御裁可を仰ぎ更に內田顧問官の辭表を執奏したる後政府の態度に就いて奏上御下問に奉答するところあつたが、政府は不戰案に關し廿七日午後四時頃聲明書を發表することゝなつた

不戰案通過で米國政府滿足

【ワシントン二十六日發電】日本の樞密院が不戰條約案を可決したとの報導に接した米國政府當局は感謝の意を表した、殊に國務卿スチムソン氏は
「未だ公電はないが余は此の報導に接し一安心した、余の前任者ケロッグ氏も之れを聞いてさぞ喜ぶであらう」
と語つた

慰留運動を內田伯拒絕す
如何ともなし難い、と

【東京特電二十七日發】田中首相は二十六日午後五時倉富議長を訪ひ不戰條約案通過の謝意を述べ內田伯の辭職慰留斡旋を依賴したが更に二十七日午前十時小川鐵相をして內田伯を私邸に訪問せしめ政府の所見を披瀝し極力慰留を懇請せしむるところあつたが內田伯は之に對し事茲に至つては如何ともなし難いと之を拒絕した

田中床次の會見延期
懸案解決まで

【東京二十七日發電】田中、床次兩氏の會見は廿七日行はるはずであつたが內田顧問官の辭表提出もあり政府はこれが善後處置につき考慮を要し且滿洲事件の發表もなほ一兩日を要するものゝ如くかたく床次氏との會見は之等懸案解決まで延期されることゝなつた

責任者の處罰理由
皇姑屯事件

【東京二十七日發電】皇姑屯事件に關する警備上の責任者として水町獨立守備隊司令官、河本前關東軍參謀が處罰さるゝことゝなつたが、水町司令官の處罰理由は滿鐵京奉兩線クロスに支那兵の配置を許可した處に在り河本大佐の處罰理由は水町司令官が軍司令部に對し支那兵の配置許可につき問合せたる際大佐が村岡軍司令官の命を待つ暇なくして軍司令官の名を以て許可の指令を取扱つた點に在る模樣である
なほ滿洲獨立守備隊司令官の後任には朝鮮軍參謀長寺內壽一、獨逸大使館附武官大村有隣の三少將中より選補さるべく、又村岡軍司令官が右處罰と同時に辭職せば後任には第一師團長畑英太郎中將が親補される筈であるといふ

政友會の不平組納まる

【東京二十七日發電】新警視總監長岡隆一郎氏の任命に關し政友會東京支部で不平を生じ脫黨騷ぎまで起したが其の後秦豐助氏の斡旋で態度緩和し結局長岡新總監の政友會入黨で圓滿解決を見る模樣である

高級社員の特別賞與金協議
けふの滿鐵重役會議

松岡滿鐵副總裁は二十七日午前八時半岡、齋藤、田邊の三理事および木村人事課長を星ケ浦の總裁別邸に招致し重役會議を開催した、會議の內容は時節柄職制改正に關するものゝ如く噂するものもあるが事實は例年の如く高級社員に支給される特別賞與金について打合せられたものであつて職制改正などは全然議題に上らず、該改正案は總裁總裁間に決定を見てゐるので今更重役會にかける必要はないものゝ如くである

榎桑兩驅逐艦教練運轉

第九驅逐隊榎、桑の兩艦は二十七日早朝出航、港外で壯烈な教練運轉を行ひ同夜は蛇蛇島附近に於て戰時航海訓練を爲して島に假泊し二十八日午前中に歸航する筈である、なほ兩艦は七月一日旅順を出航し渤海、芝罘、龍口、太沽方面を巡航、太沽に於て第二遣外艦隊の巡洋艦木曾と合し同方面警備中の艦隊軍事行動を參觀しつゝ各種の戰時訓練を行ひ、同十三日木曾と共に旅順歸航の豫定である

教育記念展は旅順で開催

南滿洲教育會では九月廿二、三の兩日盛大な創立二十周年記念會を催すことゝなつてゐるが、記念展覽會開催方法について二十六日午前九時半から旅順第一小學校にて各關係者集合の上具體的協議を遂げた結果會場を旅順舊市街第一小學校に決定した

食牛と緬羊品種改善
米國から種畜を輸入

滿鐵農事試驗場では從來蒙古牛の改良に關して搾乳牛乃至は增殖率が主眼とされつゝあるも消費者側としては食用牛の改良が要求されつゝあるに鑑み土着種蒙古牛の比較的體格小さく一方成熟期も晚き點を改良することゝなり今回北米加奈陀、コロラドキヤンサス地方產短角種牛を購入する爲め七月中旬同試驗場畜產科長香村岱三氏を渡米せしめるが同時に繼續事業たる蒙古羊改良のためメリノー種羊三百頭をも輸入し蒙古方面の各種羊場に配屬する豫定であると

津上滿研理事辭任

滿蒙研究會常任理事津上善七氏は今回理事及評議員を辭職した

辭令

【東京廿七日發電】
領事 中川兼雄
命齊々哈爾兼勤

人事

▲菱田靜雄氏(滿鐵囑託) 廿七日入港うらる丸にて歸連
▲杉野耕三郎氏(前大連市長) 同
▲今津十郎氏(大連商業銀行頭取) 同上
▲山科長之輔氏(相撲協會檢查役) 同上來連
▲鈴木享氏(海軍二等主計正) 軍需品方面の需供關係調查の爲同上來連

大觀小觀

◇正當な主張の貫徹と、懸案の合法的解決のために、脫線鐵道が取拂はれた。
◇謂はゞ支那側の過誤を矯正する親切心から出たものである。文句のつけ處は無い筈。
◇不戰條約問題の圓滿解決の犧牲と思へば、內田伯の辭職は多少意義がある。
◇「疾風迅雷」の宣傳は頻りに行はれてゐるが、改造の斷行は梅雨空のやうだ。
◇馮、閻互に外遊の宣傳に忙しきも、旅裝を整へた模樣なしといふ。
◇實、滿兩チームが相ついで敗れ、後援者啞然となる。しかし負けることも必要ではある。

天氣豫報

今晚(曇り)南東の風 驟雨模樣
明日廿八日(曇り)南の風 後晴れ
日出四時廿九分 日沒七時廿三分
滿潮前一時卅五分 後二時十分
干潮前七時卅五分 後九時

播磨町殺人事件の第二回公判開かる
けふ大連地方法院で
淚て傍聽の蔣氏遺族人目を惹く

去る一月七日大連亡命中の元山東銀行總辦蔣有琛殺しの犯人川崎力、秋田秀道、西島勝世、吉田武、柿沼宗則、田中幸に係る强盜致死、强盜致死未遂および小林ハル外數名に係る犯人藏匿、醫師法違反等、所謂播磨町事件第二回公判は二十七日午前十時より大連地方法院第一號法廷に於て森本裁判長、長島、川畑兩判官かゝり池內檢察官干與、齋藤、大內、河內山、竹田、渡久山、相川、五十村、古賀、寺島(賴)各辯護士立會の許に開かれた傍聽者は例によつて滿員、被害者蔣の遺族が當時を追想して絕えず淚を拭ながら傍聽してゐるのは特に人目を惹いてゐた

激しく突込まれ遂に泥を吐く
證據湮滅犯人藏匿の小林ハル

前回に引續き裁判長は證據湮滅犯人藏匿の小林ハルより審理を進めたが、ハルは裁判長よりの審問に對し娘ハナと同居してその扶養を受けてゐること並にハナと川崎の關係を述べた後、丁度川崎一味が演じた當七日の夕方ピストル三挺を杉浦春之輔の邸宅に乘り込んで兇行を杉浦春之輔に持參した事實に移り「誰から賴まれて持つて行つた」と訊かれ

最初の 程は言葉を濁してゐたが、激しく突つ込まれて當日銃砲屋の店員が來て川崎に貸してある拳銃を返して呉れろと迫るので變だと思ひ二階に上つた處が机の上に一挺、戸棚の中に二挺あるのを發見し危險だから自分勝手に預けた方が好からうと思つて預けたと答へ、更に八日の夕方川崎の支那服一着、同洋服一着を

風呂敷 に包んで同樣杉浦方に預けた旨を述べこれ等の品物は播磨町事件の證據品となるので、有つては川崎のため不利益になると云ふ見解から預けたではないか

それを向けられたがこれを否認、兇行當日及び前日の川崎の行動に關し柔順に申し立て「同日午後五時ごろ大連署の刑事が川崎を尋ねて行つた時お前は朝から午後三時まで何處へも出ないで家に居たと云つたさうだが何故ソンナな白々しい嘘を言つた」と責められ「川崎から出掛けの時若し警察から尋ねて來たら午後三時まで何處へも出ないで居たと云つて呉れと賴まれたものですから……」と泥を吐き傍聽者をクスクス苦笑させてゐた

證據湮滅を否認
主犯川崎の情婦ハナ

審理は更にハルの娘藝妓三光事ハナに及ぶ、裁判長より「川崎とは何時から關係した」と搦手からヂリヂリ詰め寄せられ耳朶を眞ツ赤にさせ瞼を落し乍ら「昨年の八月ごろからだと思ひます」「別に夫婦約束でもしたと云ふ程でもないのか」「さやうであります」「正月は元日からズッと

滯在し てゐたか」「滯在して居りました」いよいよ犯罪事實に移り八日の午後お前は金指環一個、ヒスイ一個を鈴木元次郎に預けたと云ふが本當かと訊かれこれを認め「その指環は何うした」と追及されたが「七日の午後二階に上つた時見ました」とトンチンカンの返事を爲し「曖昧な事を言ふな」と一喝され「ソレは廿七日の午後川崎が歸つた時受け取つたと違ふか」と突つ込まれ「いえ違ひます二時頃柿沼と川崎が話してゐたその時見たのですが、警察の人がぞろぞろ來るので

川崎に 關係ある品物ではないか、係り合ひになつてはならぬと思ひ鈴木に預けました」と言ひ遁れ、八日夕方川崎の支那服一着と洋服一着を杉浦に預けた事實は母親同樣認めてゐたが、川崎が犯人たる情を知りその證據として湮滅せんとした事は否認してゐた。ついで杉浦以下の審理に移り正午閉廷午後一時より續行の筈

寫眞　(上)吾妻旅館に打寛いだ國學院大學野球部選手　(下)全大阪柔道軍(けさうらる丸で)

初のお目見得 國大野球部來る
けふの「うらる丸」で

國學院大學野球部は明大留守軍に次ぐ滿洲遠征野球團で部員十八名は部長準大防教授に引率され廿七日入港のうらる丸で來連した、一行は明大對滿俱の第二回戰の戰跡を氣にしながら「あはよくば…」の野心勃々としてマネージャー鎌田君、主將正木君等が交々語る

本大學がこちらに來るのは今回が最初です、この春の

成績は 五分五分で今來てゐる明大留守軍には二對一で敗けてゐます、帝大には勝ちましたが、慶應、早稻田にもまけました、だが大連に來る前に大阪で二ゲームしましたが、幸ひ全勝しました、滿鮮遠征の日どりは判然としてゐませんがこちらでは滿俱の中澤氏がやつて下さる筈です、豫定では廿九日對實業戰を皮切りに八日間滯連し轉戰するつもりでゐます

なほ一行は上陸と共に吾妻旅館に投宿した

先年の雪辱戰に意氣物凄く
大阪柔道軍けふ着連

期待されてゐる全大阪と全滿洲の柔道試合は愈來る卅日擧行されるが、廿七日入港うらる丸で鬪志に燃える全大阪柔道軍一行廿三名が來連した、監督としては大阪柔道有段者會幹事竹村茂孝氏、武道專門學校教授田畑昇太郎氏がこれに當り必勝の意氣物凄いものがある、田畑、竹村兩氏は交々語る

柔道の 團體でこんなに色々な種類を集めて來滿したのは初めてだらう、學生チームと違つて面白い顔觸で南海電車の社員もをれば學生、藥劑師、警官等も居る、何れも滿洲は初めてで試合後は奥に廻り朝鮮經由で歸らうと思つてゐる、恐らく勝味は滿洲軍にあるであらうが大阪軍としては一昨々年の雪辱戰でもあるし敗けられない試合である、滿洲軍も今年は新進氣鋭の

鬪士を 得てゐる事だからこちらでは飽くまで眞正面からぶつゝかる心組で居る

一行は顔なじみの滿洲柔道選手に迎へられ一先づ東鄕旅館に落ちついた、尚午後一時社員俱樂部においてメムバーの交換を行つた

滿蒙驛傳競爭豫想投票 一等賞のオートバイ受領

本社主催の滿蒙鐵道驛傳競爭所要時間豫想投票に二十日二時二十二分四十八秒と見事適中したのみか抽籤によつて幸運にも一等となり全滿六萬の應募者から羨望の的となつた還曆の老媼大石橋の山尾マツ刀自さんがうけるオートバイ(英國製マツチレス號)は二十七日午前十時本社前庭に於て令息泰助氏の友人南滿電氣上市氏が代人として受領した(寫眞はオートバイに乘つた上市氏と武田白班長(右端)臼井總務部長(左端))

グルーバー氏送別宴

滿鐵では鐵道調査のため來滿中であつたグルーバー氏を二十七日午後七時半から滿洲館に招待し慰勞送別の宴を催すことゝなつた、尚グ氏研究調査の結果は近く發表を見んとする滿鐵の職制改正の上に相當力强いものとなつて現れるであらうと

漁港の設置未だ具體化せず
複雜な調査を必要とし目下なほ攻究中

滿鐵が昨年來大連將來の漁港設備に就いて關東廳清水技師及び農林省技師橘博士等を囑託として調査を進めつゝあつた所謂漁港築造計畫に就き、昨今一部に急速な具體化說が傳へられてゐるが、本問題は例の牛肉、果實、野菜、冷藏庫新設計畫とも密接な關係を有し右設備豫定地等は未だ確定し居らざる模樣で、滿鐵田村興業部長は右に就き左の如く語つた

昨年九月滿鐵では漁港としての大連の將來に就て根本策を樹立する必要上橘博士に依賴して調査研究を乞ひ、專門的意見の報告を受ける事になつてゐるが、博士歸任後未だ報告書を作製中である、從つて當方としては何等具體化してゐないが、本計畫は非常に複雜な調査を必要とし將來大連港が漁港として附近及び奧地市場、南支方面其他內地市場との關係を考慮する傍ら水產物加工地として又輸出港としての設備も研究しなければならず單純早急には具體化しない

電報用タイプライター增加

遞信局では電報受信方式改善のため、現在大連、奉天、長春、安東、旅順及び撫順の各局に電報用タイプライターを交付使用せしめてゐるが、右使用の結果は單に受信能率が著しく增加するのみでなく從來の手書受信の如く誤讀又は判讀に苦む樣なことがなく一般から非常に歡ばれてゐるので、今般更に右タイプライター約八十臺を新に購入し營口、鞍山、遼陽、鐵嶺、開原、四平街、公主嶺等の各地局にも交付使用せしむることゝなり目下遞信局にて交付方手配中である

密航少年送還

【サンフランシスコ廿六日發電】最近當地入港の太洋丸の船底にひそみ密航を企てた日本少年福戶安彥(一七)は來る七月三日出帆の同船で日本へ送還されることゝなつた

……てゐる叔父の家に子守として傭はれてゐる近藤俊子(一五)と云ふものがあるが、實父の死去後叔父さんがあまりひどい仕打をするので大阪の親戚宅に逃げ樣とつひ船に乘つたものです」と申し立てたが、懷中無一文、やむなく大連入港と共に水上署に引渡したところ、擧動言語にあいまいなところがあるので一先づ保護する事となつた

明滿決勝戰
あす午後四時擧行

一勝一敗となつた滿俱明大の決勝戰は明二十八日午後四時より滿俱球場に擧行されるが、滿俱は二回戰に些か調子を下して慘敗した關係上ベストメムバーをもつて必勝を期すべく、明大は滿俱との一戰に勝てば鮮滿全部のチームを倒したことゝなるのでこれまた最後の努力をなすべく、この決勝戰こそ最も見ものであらう、因に明大軍は二十九日出帆のうらる丸で歸京すると

七ツ道具を持つ大泥棒捕へらる
南滿一帶で三萬圓稼ぐ

沙河口署では過日來一支那人を取調べてゐるが、右は昨年小崗子署の留置場を破りて逃走した王奇泱の從弟王士福(三二)といひ、吾氏宅を始め數年から引續き星ケ浦で四十件、その他老虎灘、周水南關嶺、奉天、旅順等の裕福な外人邸宅のみを襲ひ、今までに判明した分だけでも既に三萬圓のものを竊取してゐる、王は常に七つ道具を所持し居り、なほ多數の餘罪ある見込みであるが係官の取調べに對し頑强に抗辯して手古摺らせてゐる

わが婦女子九名を福建省山奧に誘拐
福州日本總領事館でやつと救出し近く內地へ送還する

【上海二十六日發電】福州日本總領事館では福建省福清縣の山奧に誘拐され支那人のため虐待されつゝある日本婦人多數有る旨を聞き込み、支那軍隊の應援を得て同方面に乘込み苦心の結果九名を救出し本日當地に還して來た、同人等は內地に行商に來た支那人に欺かれて來たもので奧地では牛馬同樣の酷ひ目に遭はされてゐたものである、これ等は目下當地總領事館警察部で保護を加へ二十九日出帆の笠置丸で日本へ送還する筈であるがその氏名左の如し

澤田チエ(二〇)愛媛縣、石川タキノ(二一)愛媛縣、越田トキ(三七)金澤市、其の子守枝(五)清水ミツ(三七)廣島縣、其の子マスエ(一一)健三(九)佐駒ツナ(二四)青森、其の子千代(二)

十五娘が船の薩摩守
少し氣が變

十五の娘が船の只乘り、但し氣が少々變だといふ困つた代物が廿七日入港のうらる丸で運ばれて來た話――美しい容貌に飛白の單衣を來て手に果物籠を提てキョロ〱してゐる娘を門司出帆後高橋事務長が發見し色々問ふと「妾は原籍福岡縣若松市の鉱力屋をやつ

寄附電話申込調査

大連、奉天、撫順各地を除く本年度の寄附開通電話の申込み四百十二個に對する受理については豫て當地遞信局に於て審査中のところ鞍山は豫想外の多數申請者を見、此の全部が事實健實な申込みであるか否か調査を要するので此分を除き他の各地の分三百六個に對して調査を完了全部受理決定の通牒を發した尚鞍山の分も實際に必要あるものは可なり採納する方針であるが不確實の申込みに對して採納することは開通後の電話維持上に支障を來す恐れがあるので當局は之が調査に苦心してゐる

自動車事故 二十六日午前七時過ぎ臺山屯西臺山屯張英華氏邸前路上で沙河口雲遊タクシー運轉手劉煥深(二二)の自動車が驢馬を曳いて步いてゐた小平島高洪恕(三七)に衝突し顏面その他に三週間の傷を負はせた

ボーイ拐帶逃走 市內臺山屯西臺山前二五番地居住前山東省泰安縣湾井安靜山(四五)方ボーイ白連水(二二)は二十五日午前八時主人の命を受け中國銀行小切手大洋二百七十圓を受取りに行き其儘拐帶逃走した事判明二十六日沙河口署に屆出た

大汽新航路披露 大汽天津支店は今度天津青島上海の直通定期航路開始の披露と新見船江安丸紹介のため廿二日午後六時折柄の滿月を機會に日本側新聞記者外人新聞記者に關係各方面の人士を江安丸に迎へ白河を運航しつゝ觀月の淸宴を張つた

居眠運轉手營業停止に 去る十四日午後十一時半居眠りしてゐて馬車に打衝けた春日町稻葉タクシー自動車運轉手李弘求(三〇)は二十七日付向ふ一週間の營業停止處分に處せられた

內田魯庵氏危篤に陷る

【東京二十七日發(電)】今春一月輕微な腦溢血に罹り病床に在つた文壇の耆宿魯庵內田貢氏は二十五日夜突然意識不明となり昏睡狀態に陷つた病名は精神過勞に依る動脈硬化症で六十二歲の高齡である

河合家慶事 市內浪速町近江洋行本店の河合義雄氏令息義太郎氏と恩田能詩郎氏令孃はる子孃との結婚式は廿六日午後二時大連神社に於て擧式午後六時よりヤマトホテルで盛大な披露宴を張つた

國船北馬

◇…大連のヤマトホテルから最近當地へ社交ダンス踊り子の註文があつたとやらで一部有志はこの際哈爾賓の上品なダンスを大に紹介しやうといふので目下白露上流家庭のダンサーを物色中であると【哈爾賓發】

◇…ビルマアラカン縣は最近霖雨降り續き數ケ所に大洪水起り數ケ村水中に沒し流失家屋五百戶、溺死家畜一萬頭、衣食に窮するもの一萬五千家族に達し總損害百五十萬留比の見込みである【ラングーン廿六日發電】

◇…ベルリンの萬國婦人參政權大會に日本代表として出席した北村カネ子女史は同大會最後の本日獨逸語で演說した、なほ女史は獨逸議會議長レベ、前駐日大使ゾルフ博士の肝煎りで當市の招待會に列した【ドイツフランクフルト廿六日發電】

平安異香 (32)

葉多默太郎作
中一彌畫

處女受難(一)

水のやうな冷氣を面に感じて、おつねはうつすらと目を開けた。と、その眼に映つたのは茅の屋根だつた。茅葺の屋根が、おつねを抱き伏せるやうに低くかぶさつてゐる。

「おや、この屋根動いてゐるよ」

おつねが胸で呟いた時に、耳元でチョロ〳〵と鳴るものがある。

「水の音――おや、舟だよ、こゝは」

うつとりした眼を屋根からすべらせると、パツと開けた廣漠な視界――それはたゞ一面の乳色だつた。が、混沌とした精氣が次第に落付き、意識がはつきりして來るにつれて、乳色に濛々と烟つてゐるのは、夜の明け方前の朝霧で、舷にサラ〳〵と鳴るのは芦の葉擦れ、したがつてこれは淀川の川舟だらうと思はれた。

「おかしいね。あたしはこんな舟に乘つて、何をしてゐるのだらう?」

思ひ出さうとして頭を振つたが、どうしたものか、物を考へようとすると、目が眩んで來て、反對に深い深い眠りの底へ、ズン〳〵落ちて行くやうな氣がするのだつた。

「おかしいね、あたし、どうしたんだらう?」

心細くなつて、精一杯目を開けてゐようと頭を振り〳〵瞬をしてゐると

「あゝ、氣がついたやうだ」

突然、直身の近くで人の聲がした。

驚いて頭を振向けると、

「あゝ、そんなにしちやいけない。靜かに、靜かに、じつとしてゐらつしやい」

一人の青年が、氣遣はしさうに眉を顰めてゐるのだつた。

「あら、あなたはどなた――?」

「まあ少時さうしてゐらつしやい。靜かにしてゐらつしやい」

青年は微笑みながらさう云つて、炭火にかけた湯沸かしから、熱い湯を汲んで飲ましてくれる。

「まあ、親切な方。それに隨分いゝ男だね」

もとより口には出さない。默つて男を見てゐるのだが、見れば見るほど惚々する男振だ。

年は二十二三、額が濶くて、鼻筋が通つて、口もとが凛としてゐて、頤が上品で、髪が黑くて色が白くて、それで、憎らしいほど澄んだ眼をして、微笑むと、吸ひつきたいやうな靨ができる。

「なんていゝ男だらう憎らしい。だが似てゐるよこの人、お邸の若殿樣に」

おつねが連想してゐるのは勸修寺家の長男邦貞である。が、似てゐるのは顏でなく聲でなく、全體から受ける感じだ。鷹揚で、それで叮嚀な物の云ひぶりや、無頓着な座り方や、人に開け放した樣子などが似てゐると思つたのである。

おつねは口を利いてみた。

「あの、あなた樣は大學寮の學生さん。さうですわね」

果して案の定だつた。若者は吃驚したやうな眼をして云つた。

「えゝ、さうです、さうです、しかしよく分りますね」

「そりやもうあたしには、何でもちやんと分つてしまふのですよ。濟みませぬがお湯をもう一杯、頂戴な」

「あゝ、いゝですとも。――然しすつかり元氣になつちまひましたね。心配したんですよ。頭は痛みはしませんか」

「頭? あたしの?」

「えゝ、頭です。少し怪我をしてたやうでしたが」

おつねは袖から腕を出して、頭を探つてみた。そして頭を手拭のやうなもので括られてゐるのを初めて知つた。チク〳〵痛むやうだ。

「まあ、あたし、どうしたのでせう」

「知らないのですか少しも?…ちややつぱり全く正氣を失つてゐたんだ。――君、靜かに昨夜のことを考へて見給へ。思ひ出してみ給へ。昨夜枚方の五位の宿で何か間違ひがあつたのぢやないですか」

「五位の宿、あゝ五位の宿!」

思はずおつねは叫んだ。忽然胸に浮んだのは昨夜の不思議な出來事だつた。

壯絶極まる 海洋劇
流血船の梗概

本社主催で二十八日夜協和會館で封切する「メトロポリス」とゝもに封切するコロムビア映畫「ブラッドシップ」(流血船)八巻は海洋劇の第一人者ホーバート、ボスウオースの主演で壯絶な復讐劇でその梗概は左の如くである

太平洋の海上に魔の如く浮ぶ怪船ゴールデン、ボーフ號の船長スウオプは新嘉坡から桑港に至る七つの海にかけて知られた慘忍極まる冷血漢で海員はその酷使に堪えず入港する毎に脱走するのであつた、丁度船が桑港に着いた時下級船員が全部脱走したのでスウオプは浮浪人を誘拐して補充せねばならなかつた、その中にニユーマンと稱する年輩の偉丈夫が居た、彼は十五年以前にボーフ號の船長であつたが、スウオプを過信した爲め愛妻と可愛い娘を船に殘して囹圄の人となつた、そして靑天白日の身となつて桑港に來て仇敵スウオプが時めくボーフ號の船長として彼の愛妻を死に至らしめ娘を監禁して暴威を振つてゐたそしてその眞相を知るまで彼はスウオプの命令に忍從したが遂に奮起してスウオプを倒して父と娘はなつかしい名乘りをして再びニユーマンは船長となつて母港のサンフランシスコに歸るといふ海洋劇である

淺野童踊大會

滿鐵社會課主催の下に沿線各地を公演見學旅行中の淺野童謠民謠舞踊研究生一行は各地とも大成功裡に豫定の旅程を終へ廿八日歸連し廿九日午後七時半から協和會館に於て大連滿鐵社員倶樂部、大連高等音樂學院舞踊科主催、滿鐵社會課後援の下に童謠舞踊大會を催す會費は大人五十錢學生小人三十錢一般七十錢であると

明晩の「メトロポリス」封切會は大山峰月君が「メトロポリス」松葉詩郎君が「ブラッドシップ」を擔演するが臺本だけでは物足りないと世界大衆文藝全集を買込んで、原作から勉強してゐる▲帝國館では七月一日から阪妻の「赤城颪」と傳明の「大都會」を組んで優秀番組を誇つてゐる▲演藝館では次週五月信子主演の小澤プロの作品「ラシヤメンの父」を上映▲ゆふべ「メリケン波止場」を試寫したがコスチユームプレイで面白い南支那のセツトが出て來る▲淺野童踊大會のお名殘公演に藥師周策氏の作歌が栗童氏の作曲で發表されるとのこと

◇◇人造人間の創造◇◇「メトロポリス」の一場面でロトワング博士が實驗室で地下街のメリーを硝子管に入れて電力の交流で人造人間にメリーの風貌を扮飾してゐるところ

満洲日報

OAKLAND

Buick
GENERAL MOTORS
GMC
TRUCKS
OLDSMOBILE
GENERAL MOTORS
CHEVROLET

內閣の改造は愈よ來月早々に實現
首相一任は黨內に異存無し
豫算編成は來月末

【東京特電二十七日發】不戰條約問題解決と共に內田伯は遂に辭職と決定したが、政府は伯の辭職慰留に努めながらも伯の進退に依つて政府自體の責任を考慮する必要なしとして今後は一路改造に向つて進むことになつた、即ち田中首相は廿八日滿洲事件の顚末發表の後一兩日中に床次氏と會見して正式に入閣を交涉すべく、而も床次氏との間の意志疏通は既に大體出來てゐるので兩氏會見の上は急轉直下改造の實現を見るであらう、改造の範圍、椅子の置き換へ如何は全く首相の一存に在つて容易に豫測を許さぬが黨內既に何等の異存なき用意は成り居り來月早々改造を完成した上、首相は山口縣萩に歸省して約半月靜養の上月末からいよいよ新政策を包含する來年度豫算編成に着手する豫定である

首相、各閣僚に改造決意を表示
床次氏會見は今明日

【東京二十七日發電】田中首相は愈よ內閣改造に着手し廿七日は午前中小川鐵相、山本農相、中橋商相、勝田文相、岡田海相、午後は白川陸相、望月內相を個々に招致し不戰條約問題も一段落を告げたるを以て既定方針通り政府の陣容を一新して政局打開の途に直進する決意を述べ大體に於て各相もその進退を首相に一任し辭表を提出とならんした模樣である、右各相の外原法相、久原遞相、三土藏相は既に進退を首相に一任したる事實あり、茲に全閣僚の進退は全く首相の手に移つたので田中首相は自由の立場に於て改造斷行に着手すべく先づ廿八日の滿洲某事件發表を待つて直に床次氏との會見を行ふべく會見時期は廿八日午後か廿九日朝

改造の範圍
相當廣汎に亘らん

【東京特電二十七日發】內閣改造も愈よ一兩日中に具體化し來る譯であるが、內田顧問官の辭表提出によつて、政治上の問題が殘されたため、床次氏の入閣決心がまた動き出しはせぬかと觀る向もあるが、既に政府が內田伯辭任により進退するやうなことは無いと肚を決めた以上、床次氏も內田伯の辭任には考慮する所なく入閣を承諾するものと觀られる、而して床次氏に對しては田中首相は敬意を表するため、內相の椅子を與へるものと觀られてゐるが、犠牲となる望月氏が下野するとするも、また他の椅子に轉ずるとするも、改造は相當廣範圍に亘るものと觀られてゐる、而して曩に不用意のうちに辭意を洩らした三土藏相は今や豫算編成を前にして、金解禁、地租委讓等の難問に逢着しつゝあり或は其眞意として辭任を欲してゐるやも知れず、果して然りとせば此際勇退を見ることゝなるべく、從つて椅子の動きは益々廣範圍となる譯である、外相問題は依然田中首相が兼攝して押通すだらうとの說もあるが、若し專任外相を置くとすれば、芳澤公使が最も有力視されてゐる

自分が辭めても內閣には無關係
今更撤回は出來ない
鐵相と會見後內田伯語る

【東京二十七日發電】田中首相の代理として來訪した小川鐵相と會見後內田伯は左の如く語つた

我輩が辭表を出した事につき田中首相の代理として小川君が來られた、其の內容は言へないが既に一旦提出した辭表を今更撤回することは出來ぬ、我輩としては何分の御沙汰を待つばかりである我輩の辭職理由は言明出來ぬが我輩が辭めたからとて政府は不戰條約に關し當初から最後まで憲法違反を認めたのではないから之が爲め責任を負ふて辭める必要はあるまい

聲明書發表
けふ閣議で決定

【東京二十七日發電】本日午後四時政府より發表のはずなりし不戰條約に關する聲明書は二十八日の閣議に諮つた上決定することゝなつた

米政府に批准を通牒
出淵大使に訓電

【東京廿七日發電】不戰條約は原案通り宣言書附で御批准となつたので、外務省では二十七日駐米出淵大使に此旨通知し米政府に對し正式に宣言書發表に就いての申出をなし宣言書を附屬せしめた事情及び之は留保批准を意味するものでないことを詳細說明するやう訓電を發するところあつた、又本省にても吉田次官は午後二時アメリカ大使館に右の旨を報告本國政府に傳達方を依賴するところあつたなほ批准書は郵送に依りてアメリカに寄託する模樣である

民政黨の黨員大會
來月三日開催

【東京廿七日發電】民政黨の緊急在京議員總會は二十七日午後一時より本部に開會濱口總裁初め若槻、安達、江木、小橋、町田氏等各幹部外所屬兩院議員等百五十餘名出席、廣瀨德藏氏會長席に着き俵[?]幹事長の挨拶の後、齋藤總務起つて現內閣を糺彈し全黨員の奮起を要望するところあり、次で江木顧問は不戰條約に關する政府の責任を論じて氣勢を擧げ更に松田總務は現內閣倒壞のため總動員を以て國民大運動を起さねばならぬと說き終つて實行方法につき協議した結果

一、來月三日全國黨員大懇親會
二、四日全國支部長會議並に大演說會を開き之を中心として擧黨一致倒閣運動に邁進する

ことを申合せ三時半散會した

皇姑屯事件
責任者處罰問題
首相、陸相の意見相違

【東京特電二十七日發】滿洲事件の發表並に責任者の處罰は二十八日頃行はれるものと見られてゐたが二十七日午後四時白川陸相が田中首相を訪問して責任者處罰に就き意見交換の結果兩者の意見に相當懸隔あることが瞭かとなつたので意見取纏めの必要上發表は若干遲延を見るべき形勢である、而して右意見の相違點は嚴秘に附せられてゐるが、その中心問題は村岡關東軍司令官の處置問題にあるもの、如く田中首相の意見が白川陸相の意見に比し强硬であることが推斷[?]と察せられてゐる

全體會議で決議した國民政府の建設策
民國廿二年迄に訓政時期終了

第三期中央執行委員會第二次全體會議の決議による國民政府の建設工作は左の時期を追つて進行される筈

本年內に完成すべきもの

一、中央宣傳部は二個月以內に宣傳方針を下級黨部に發布す
二、中央組織部は二個月以內に社會調查の方針を定め其方法の細則を規程して下級黨部に發布す
三、九月以前に訓政工作年表を制定す
四、九月以前に教育部は國民義務教育勵行と成年補習教育の計畫を定め規程を制定して實施に着手す
五、三個月以內に五院未成立の各院を完全に成立す
六、九月末以前に內政部は各省の小作料額と農民生活狀況を調查し二五減租の基礎を實施す
七、九月末以前に工商部は全國工人生活と工業生產の統計を作製す
八、行政院は農產獎勵、林產發展、水利興辦、農村合作提倡、農民生活改良の諸案を制定して農業政策を確立し工商業の基礎的一切の計畫をなす
九、財政部は幣制統一金融整理の計畫を確定す
十、政府は專門委員會を組織し六月中に財政委員行政制度の革新を勵行し機關を整頓し積弊を清除し下級財務吏員を養成し財務人員任用法を制定す
十一、財政部は鹽稅整理法を制定して鹽稅を輕減し積弊を除き鹽價調節の計畫をたてる
十二、歲入出會計審查制度を確定し且つ勵行す
十三、十九年度豫算案を制定す、

明年度に完成すべきもの

一、編遣會議決議案の執行を繼續し六月を限つて編遣を完了す
二、縣組織法に照し縣の組織を完成し同時に訓政人員の初期訓練を完了す

民國二十一年までに完成すべきもの

一、初期戶口調查
二、土地丈量完了
三、粵漢鐵道完成

民國二十二年までに完成すべきもの

一、各地に自治機關を準備し完全に成立

民國二十三年までに完成すべきもの

一、縣の自治を完成
二、國民義務教育及び成年補習教育の規畫を完成す
三、隴海鐵道を完成
四、導淮工程を完成

民國二十四年までに完成すべきもの

一、訓政時期終了

民國二十六年までに完成すべきもの

一、新隴海鐵道竣工

民國二十八年までに完成すべきもの

一、全國五萬分の一の地圖を完成す

外人の支那觀は歷史に囚はれる
昨年以來の新勢力を觀よ
蔣氏記者團に語る

【北平廿七日發電】蔣介石氏は二十七日午前九時北京ホテルに日支及び外國記者百餘名を招待し大要左の如き對時局意見を述べた

余今回來平の任務は昨夏來平以來一年間に堆積した種々の問題を處理し更に最近の重要問題たる西北問題を解決せんためである、外國記者は支那を見るに誤まつた見方をして居る點が甚だ多い、這は徒に過去の歷史に囚はれ新興勢力を見ざる爲である、民國十五年までは確に軍閥時代であつたが昨年よりは新勢力の時代に入つた、此過渡期に於いては半革命及び共產黨の勢力が介在するは止むを得ないが之等は新勢力の確立と共に當然消滅するものである、馮玉祥氏は半革命の行動を採り國家を不安定にしたが結局大敗した、革命の歷史を持ぬものに革命の力量はない、最近の報告によれば馮氏は一週間後外遊するさうだが馮氏が既に覺醒するなら中央は馮氏の罪狀を追求せず寬大の處置を採り外遊の旅費を供し途中の安全を保證するであらう、最後に一言したいのは最近政府改組後國民政府は和平統一の貫徹に一路邁進して居る事である

閻氏が外遊前に太原で善後會議
蔣氏に委員派遣電請

【北平二十七日發電】閻錫山氏は外遊前に太原に西北善後會議を開く方針で楊愛源、徐永昌、商震氏等並に馮氏と商議の結果孫良誠、劉郁芬、宋哲元氏等に對しても急遽太原に參集するやう命令を發し一方蔣介石氏に對して中央より相當多數の軍事、政治委員を派し會議に參加せしめ且西北善後策につき政府の方針を表示されたしと打電した

馮閻兩氏の連名で再び外遊を聲明す
閻氏は船室豫約電命

【上海二十七日發電】馮玉祥、閻錫山兩氏は昨日連名で共に外遊するに決意せる旨重ねて通電を發し殊に閻錫山氏は何人の忠告あるも下野外遊の意志を翻さずと聲明してゐる、閻錫山氏は南京側の慰留を飽くまで退けんとする模樣で蔣介石氏の慰留も遂に效果ないであらう、又閻錫山氏は天津警備司令傅作義、交涉員蘇體仁兩氏に對し日本行汽船の船室を豫約するやう電命した

馮、閻兩氏の外遊は決定的

【北平特電二十七日發】閻氏代表朱氏の談によれば閻氏は兩三日中に來平するが馮、閻兩氏の外遊は決定的で先づ日本に行く事も確定的である

閻氏の外遊は遺憾

【北平廿七日發電】閻錫山氏の進退如何は現下支那の時局に重大關係あり延いては蔣介石氏の進退にも迄及ばんとして居るが、右に就き蔣介石氏は記者に語る

閻氏が馮氏の下野外遊を勸め自からも外遊せんとするは愛國愛黨の精神に依るものである、然し中央は閻氏を西北宣撫使に任じ西北問題善後策を一任したのであるから從來通り黨國の爲め努力して貰はねばならぬ、私人として外遊するものを干涉する事は出來ぬが既に黨國の重大責任を有する以上黨國を前提として行動せねばならぬ

張學良氏赴平せず
代理王氏を派遣

【奉天特電二十七日發】蔣介石氏の北平行に伴ひ張學良氏は東三省の對日方針協議のため廿七日奉天發北平へ赴いたとの說が傳はつたが右は全く誤傳にて學良氏は依然北陵の別莊に在る而して廿六日夜北平にて蔣介石氏より學良氏に宛北平に於ける重要問題處理の都合上今直に赴平し難き旨何成濬氏宛返電し東北編遣委員王樹常氏を學良氏代理として派遣するに決定したが、場合によつては學良氏の赴平を必要とする問題生ぜんとも限らず京奉線の特別列車は既に準備しある一方學良氏身邊警護の便衣隊約三十名が所持金を現大洋に兩替したると學良夫人が北滿又は京奉線北戴に避暑のため所要品の荷造りを爲したるより、さては學良氏の北平行と早合點し前記の如き噂を生んだものらしい、尚學良氏は廿八日目下來奉中の大倉組河野重役と會見する筈

威海衛還附交涉一先づ打ち切り
解決困難との結論に達して
英國公使はけふ歸任

【南京廿七日發電】日支交涉の蹈みとして注意されてゐた威海衛還附英支交涉は兩國の主張衝突し物別れとなつたが昨日のランプソン王正廷兩氏會見の結果解決困難なりとの結論に達し交涉は一先づ打ち切りとなりランプソン公使は廿八日北平に歸任する事となつた尚外交部よりの消息に依ればランプソン公使は來る九月半再び南下する事を約したと

龍口の劉珍年軍
地盤築きに懸命
住民その暴狀を恨む

廿七日早朝芝罘より入港の信濃川丸が報ずるところによると張宗昌軍を追ひまくつた劉珍年軍は地盤きづきに懸命となり新兵募集、軍需品の購入と稱し、黃縣一帶に約廿萬圓の提供を命じ龍口市街一帶に對しては各戶二年間の稅金の前納を申渡し五日間以內に持參すべく命じた、尚劉珍年のこの暴狀は南京政府の知るところとなり一應注意を受けたものであるが更に態度を改めずこの擧に出でたものであつてこの暴狀は住民一同の怨恨の的となつてゐる

米飛行會社合併

【紐育二十六日發電】飛行會社の兩大關カーチス及びライト兩會社は今回合併し傍系小會社も繼承して資本金一億弗の一大飛行會社を組織した

和平解決のために國民大會を召集
北支八省政府首席協議のうへ
全國に通電を發せん

【北平特電二十七日發】馮、閻兩氏は廿七日孫良誠、宋哲元、馬福祥氏等の太原着を待つて北支八省政府首席協議の上連名で支那全國に、時局を和平解決するには國民大會を開き政治的解決する外途なしとの通電を發するに決した

日露協會總會

【東京廿七日發電】日露協會は廿七日午後二時赤坂三會堂に定時總會を開催し午後三時より總裁閑院宮邸で殿下より一同茶菓を賜つた

ト氏入國拒絕

【ロンドン二十七日發電】二十六日の英國內閣々議はロシア反幹部派首領トロツキー氏のイギリス入國に對しては許可を與へざる旨決議した

合併問題に對し中立と決定
二十七日の總會で決定した
錢鈔取引組合の態度

合併總會を二日の後に控へた大連錢鈔取引人組合では廿六日の評議員會の決議に依りて組合の態度を更めて全組合員の總意に問ふことゝなり廿七日午後四時より華商公議會樓上に於て組合總會を開いたが先づ決算並に豫算を附議決定した後、劉組合長より今日迄の經過を報告し次いで合併反對を即時表明すべきか中立の態度を固持すべきかにつき討論を重ね三井、三泰、日淸、東永茂、神成季吉の諸氏は合併反對論を唱へこれに對し遲子祥氏は中立說、山田三平氏は合併說を主張し千田次郎氏の動議で討論を打切りて採決に入り

一、中立
一、合併反對
一、合併贊成

の三點につき無記名投票を行ふと云ふ珍妙な採決方法を執つた結果出席組合員六十一名中棄權者一名、中立三十六名、反對二十四名、贊成零(合併主張者たる山田氏は採決に先立ち中立を聲明)となり從つて此儘組合としては中立の態度を執ることに決定し同七時半散會した

綿糸ザラ場開始

【東京廿七日發電】東米取引所は豫て市場振興策として第二部「綿糸」にザラ場取引を開始すべく申請中の處廿七日商工省より認可があつた、之と共に從來の追證金徵收は行はれぬ事と決定された

日本法曹會總會

【東京二十七日發電】日本法曹會第三回定期總會は二十七日工業俱樂部に開催、三年度事業報告、決算報告を承認、本部理事福島、澤原、松本、磯野四氏滿期改選の結果何れも再選された

人事

▲上田正喜氏(營口國際運輸支店長)二十七日午後八時半陸路來連ヤマトホテル投宿
▲石渡茂種氏(東京帝大講師農學博士)同上遼東ホテルへ投宿

水上商組合の積立金利用

水上商組合員二百餘名を有し創業も古く大連においては代表的同業組合として認められてをるところで、同組合の組合員が今日まで積立てた規約基金は既に一萬七千數百圓に達してをるが今日迄何等生產的に利用されず漸く最近に至つて組合員中より「何とか利用して組合發展の糧にしようじやないか」といふ意見が盛んになり組合員各自が考慮してゐると

廿七日未明突如北陵遊覽鐵道の撤去斷行は增上慢度なき奉天支那官憲の暴戾ぶりが度重なつてゐた折柄丈けに暑い日ざかりに一寸一杯冷しサイダー飲んだ位の快さが感じられた▲國際親善を思へばこそ理非を度外して我總領事館では從來の煩い程の榊原氏の請願を寧ろ抑制しつゝ至極穩かに支那側へ同鐵道の不法敷設を說き穩便なる解決を數度に亘つて交涉した譯だのに▲穩かに出れば却て弱腰と見てつけ込む支那側の傲慢な態度に流石の總領事館でも已むなく最後的通牒を突付けたものだ▲一方農場主榊原政雄氏は多年の支那側暴戾を怺へてゐた鬱憤を一時に晴らす意氣込で正々堂々と白晝撤去を斷行すると教匿[?]いたさうだが、目的は不法鐵道の撤去であつて强て支那側と事端を惹起するのが本旨でもないからと云ふ、側近友人達の忠告を容れ▲支那側と事端を惹起すべき機會の最も少い時刻を選んで決行したのだといふことだ▲强く出て力を以て事を斷行すれば折角配置の巡警も拱手傍觀爲すなき實例が如實に示された丈でも何時か暗示の價値はある。

農場の鐵道撤去
支那側で文句は云へぬ
日本人の土地と知つての行爲
林奉天總領事語る

【奉天特電二十七日發】林總領事は本日記者團との定例會見に於て左の如く語つた

榊原も愈々交通を遮斷したさうだが、僕はまだ榊原に會はぬからどんな模樣だか判らない、然し支那側は最初から日本人の土地であることを知りながら勝手にしたことであるし、又支那側も惡いことは充分知つてゐるのだから文句は云へないであらう

法制局と審議室關係を密接に
新事務官も法制局から
關東廳としての意嚮

關東廳審議室に專任の事務官を設けることは既に法制局を通過したので近く官制改正の公布と共に發表されるが、これには法制局方面の人物を任用せんとする意嚮である、從來關東廳官制を初め各種法規の改廢或は新法規の制定等に關して最高機關である審議委員會の審議を了へたものが動ともすると法制局で引懸り審議委員會の權威を多少とも損ずることが少くないので法制局と關東廳の有する審議室とは其間密接の關係あり、法規の通過を計る上に於ては法制局方面に諒解ある人物を任用することは當然の方法であるから審議室事務官は多分法制局より敏腕家を拉し來るであらうと

本日廳報を添ふ

滿洲日報

不戰條約問題の解決

昨年八月パリーに於いて調印せられた戰爭放棄に關する條約は、既に各國の批准寄託を了り我國のみが其の第一條中の「イン・ザ、ネームス、オブ、ゼア、リスペクチブ、ピープルス」なる字句の解釋問題に停頓して、政府及樞府が其の措置に惱まされたのであるが、廿六日樞府は御諮詢案を可決し、帝國政府獨自の解決宣言附を以て御批准あらせらるゝこととなつた。乃ち不戰條約は近く其の效力を發生するに至るべく、世界人類のために幸慶とせざるを得ない。

◇

我等は對外的立場に於いて此の問題の解決を欣ぶものであるが、同時に國內問題として、多少の紛議を惹起したことを遺憾とせざるを得ない。調印の責任者たる現內閣は、初め議會に於いて問題の字句を「人民のために」との解釋を固執し、之に依て此の條約が憲法違反でないことを主張したのであるが、其後樞府の諒解を得るために「人民の名に於いて」との直譯名に變更し、憲法解釋上疑義を生ずるを慮れて別に解釋上の留保宣言を附して御諮詢を奏請するに至つた。政府が此の條約を成立せしむるために努力せる苦衷は我等の多とする處であるが、其の間手續に於いて、批難を招來するに至つたことは迂濶といふべきである。

◇

昨年パリーに於て全權として此の條約に調印せる內田伯は顧問官の職を辭した。留保宣言附批准といふことが伯自身の面目に係るほどの問題であるとは考へられぬのであるが、兎に角、伯は辭職したのであるから、政府の一部には、政府の連帶責任論をなすものが起るであらうことは當然豫想し得られる。然しながら我等は此の問題に關する限り、政府が進退を考慮すべきほどのものとは思惟せぬ。要するに手續は例に依て拙劣であつたが、非違を敢行したとは見られぬのみならず、其の歸結に於いては妥當であつたと云ひ得るのである。

北陵鐵道問題

奉天に於ける榊原農場永租地侵害事件は支那側の無反省により遂に事態を重大化するに至つた。此の問題は六月下旬我總領事より最後の警告を發して以來一ケ月を經たる今日、支那側は何等の誠意を示さず、乃ち農場主は、曩に支那側との正式協定によつて贏ち得たる權利を保有すべき正當なる行動として、永租地內に引込める支那側線路を撤去したわけである。

◇

問題は單に一農場だけの權益に係るに止まらず、延いて全滿在留邦人の安危に及ぼすものであること自明の理である。農場當事者が、支那側のデモンストレーションに屈せず斷乎として之を決行せることは、壯とすべく、近來動もすれば、支那側の理不盡にして暴戾なる排日、若は利權回收運動によつて脅迫を被りつゝある在滿同胞のために萬丈の氣を吐けるものに他ならない。

◇

我等は決して支那・特に東北地方に於いて、事を構ふることを欲せない。斯るが故に事態を此に至らしめたことを支那側のため特に遺憾とせざるを得ない。若し支那側にして、當初より誠意を以て我交涉に應じたならば斯くの如き問題は夙に解決を告げた筈である。然も支那側は今次の擧に對して眞向より抗議を提出すべき何等の理由を見出し得ないであらうから、孰れ外交上の折衝に於いて圓滿なる歸結を得るに至らうことを信じて疑はない。

滿蒙鐵道驛傳競爭
恨みを遺す打通線
遂に紅班の運命を決す
目睫の間に京奉線の連絡を逸す

(第卅九信)打虎山にて　南里紅班選手

◇五日午前五時三十分通遼發車といふので公所を四時半に起き横尾氏に送られて五時十分頃汽車に乘込む、一等二等三等の合同車で一等室だけは打通線として一等室らしいところもあるが隣りの二等室と來たらその又隣りの三等室よりもまだ惡い、兩窓に沿ふて公園などによくある木製ベンチを打ちつけ、そのベンチを一人々々腰掛けるやうに仕切つてあるので横になるなどは絕對に出來つこがない、十二三時も乘り通さねばならない長距離であるためゴツ〳〵したこのベンチに腰掛けたなりでは到底辛抱が出來さうもないので三等室に逃出し、發車を待つた

◇然し定刻の三十分が來ても汽車は動かない、四十分になつても動かない、五十分になつても動かうとせない、予は少々氣があせり出し横尾氏に「どうしたといふんだらうか六時十分發の鄭家屯行が出さうだのにオレの汽車は餘り呑氣過ぎますね」と同情を求むべく訴へると、横尾氏もたまり兼ねてか折柄來合せた車掌に「オイ早く出さないか」と一本突込む、車掌は機關車が故障で一時間も前から修繕してるが思はしくない、修繕が出來たら直ぐ出しますよと至極平氣だ、これを聞いて呑氣な予も少々心配になり故障機關車で打虎山迄走られては飛んでもない災難であるから機關車の交換をと構內を目渡したが赤さびの出たボロ貨車はあつても機關車は影さへ見出せなかつた、四洮線列車はお先きへ失敬と黑い煙を殘して鄭家屯方面へ發車する

◇その時だつた阿片隱者の車掌君が飛んで來てさあ發車ですと告げる、何時間待たされるかと悲觀の極にあつた予は「占めた」と快哉し横尾氏に班長宛の電報を車窓から渡して打電方を依賴し「お世話になりました」「御氣嫌よう成功を祈る」と挨拶もそこ〳〵に通遼の町を後に一路南へ――處が發車の時間を縮めるためか喜びも束の間二哩も走つたかと思ふとピタツト止まつた、また機關車の修繕だ、車掌は何處へ行つたのか見えず三等車には予一人で手荷物棚に二人の列車關係者が眠つてゐるが起出さうともせない、運轉の時間表はあつてもこれは單に對外的の申し譯で汽車が何時何時間遅れて出ようと、また遅れて着かうとそんなことはどうでもいゝ線路の上を走らせてゐることは事實なんだからと大陸氣分で神經が至極鈍い

◇幸ひ十分ばかりで再び發車したから安心したもの、通遼を後に第一番目の驛木里圖驛で更に機關車に修理を加へ二十分以上の遅發となつた、結局、通遼で四十分、途中で十分、木里圖で二十分合計一時間を遅れてゐる、打虎山午後六時十分着が今後機關車に故障なく正規に走つても七時十分着になる譯けである、京奉線の打虎山發は午後六時三十一分であるため四十分を取返さねば連絡が出來ないことになる、連絡が出來なければ紅班は當然勝を白班にゆづらねばならないことになる勝敗は予の一身にかゝつて責任の重大さを思ふとベンチなどに腰掛けてゐられない――何んてノロマな汽車なんだらう――

◇まだ時計は午前八時だ午後の六時着にしても十時間先きのことだ十時間も走つてゐる間には取返しの出來ないこともあるまい、よし車掌と機關士を口說いてやらうと驛傳競爭の三角旗をオツ立てゝ吉長線、吉敦線、四洮線、洮昂線、瀋海線、海吉線何れも支那の鐵道だ、而もオイラが乘つかつた爲速力を出して早着させてゐる、それを打通線だけが遅着では打通線の面子、オマイ等の面子を何んとする、機關車の故障で遅發したのは返らぬことだ、問題はこれからだ、無駄な停車時間を縮めて行けば五分宛でも殘して十驛で五十分だ、打通線が滿蒙鐵道中一番惡いとあつては働くオマイ等も氣持よくあんめい、遅れた時間を取返してくんろよとキメツケたり哀訴嘆願に及んだり上たり下たりで必ず取返し連絡受合とまで話が進んだ

◇それからといふものは氣持ちから汽車は矢のように走る、涯のない沙丘は雪のように白く車窓の手近には甘草の綠と芍藥の花の紅がこの不愉快な旅行氣分を慰めて吳れる沙漠のオアシスといつた沙丘中唯一つの甘旗卡の綠野はまだ手もつけられず二年前と同じだ、打通線中間地を蒙古貿易の一大市場たらしめようといふ計畫も實現は果して何れの日か?四十哩餘の沙丘地帶をぬけると彰武驛に至る、之から打虎山までが所謂可耕地で綿花が主要農產物である、彰武通遼間の鐵道敷設は張作霖の軍事用列車運轉がその目的であつた、一時は日滿秘密條約に抵觸する關係から日支間に相當問題化したが敷設して終へば紙の上の條約問題なんてものは何れの世でも消滅して解決するものだ、支那が斯うした横車を押すことは今更らのことでないが、こゝから見ると吉會線の延長などは敷設するぞいゝか「土地はオレのだからいけない」などと紙上の古證文と口先の懸引とで今に解決を見出さないけれど、打通線式と同樣手段を用ひ實力で敷設して終へば問題はない筈だ、日本の外交は武力を後楯にした外交だから火蓋を切らない以上は成功のしつこがない、今日の對支外交は武力の後援は不要だ、實業外交で吉會線など遠慮なく敷設して實質外交で行かなければ對支外交は何時になつても勝算はない――

◇車掌、機關士の所謂面子が列車の速力となつて黑山縣まで來たときは大部分取返し、うまく連絡が出來さうになつた、打虎山も目睫に迫つたが打虎山驛に電話をかけて京奉線列車に待つて貰はんでもいゝのか?隱者の車掌は不思議に阿片ものまずよく立働いたが大丈夫だといふ、また予も、もう大丈夫と見た、汽車は全速力だ、市街は見えないが打虎山は先から見える――處が――處がその打虎山驛に入るためカーブを廻らうといふとき――右の窓にポツポツ〳〵と列車の動く音がした、窓から顏を出すと、何のことだ、北平行列車がいま速度を加へようといふところである、呼べば答へる距離だ、無念!無念!時計を見れば六時四十分、京奉線も十分位は餘計に待合せたことになる、車掌は探したが見えない、ほんとうに男泣きに泣きたい位であつた、列車を手に掴んでゐて乘れないのだから――

◇プラツトホームをやけに歩いて驛長室に入りサインを求め上り線、下り線の列車時間をたずね、奉天から營口經由で奉線廻りの時間計算も作つて見たが駄目!悲嘆に暮れながら一人驛前を歩いて支那宿に入つた、予がこの支那宿に入ると同時に私服支那憲兵二名が予を尾行しながら予の居室に這入つて來た

土地賣買熱益々旺盛
新義州方面で

【新義州發】新義州製鋼所設置說が一度傳はるや目敏い連中は逸早く土地の買收に着手し片つ端から買收又買收といふ有樣で、土地と言ふ土地は羽が生えて飛ぶが如く商談成立してゐるが、最も華々しい買收振を示して居るのは奉天の東亞勸業公司の吉植庄三氏で、二十四日迄に同氏名義に所有權の移轉手續が濟んだ分だけでも九萬八千八百七十六坪で此の代金一萬八千八百九十二圓と言ふ額に上り坪當り十九錢强となつて居る

其買收地域は光城面、煙臺洞、書堂洞、東草洞、豐西洞、豐下洞、瓦耳洞、敏浦洞及び古城面の一部で同地方は從前坪當り五錢乃至十錢位の地價が大部分を占めて居たが地價奔騰して前記の如く二十錢と言ふ相場を示した、右の如き內地人の土地買收の外鮮人間に於ける賣買も相當盛んに行はれてゐる模樣である

調節費の適用は何等困難でない
滿烏調節費會議で來哈した宇佐美鐵道部長語る

【哈爾賓發】滿烏兩鐵道協定による東南貨物に對する調節費適用第一回會議のため來哈中の宇佐美滿鐵々道部々長は右調節費の適用が事實上において困難な點があり現在既に兩路貨物の輸送狀態が實施の必要に迫られてゐるに係はらず未だ何等の處置に出でられないでゐるとの說に關しなに氣ない口吻をもつて次の如く語つた

現在東南兩路の輸送狀態が調節費の適用を必要としてゐるのは事實で目下共同事務所でこれが實行について種々準備中である元來この問題は本春協定された協約通りに双方が遣つて行きさへすれば何にも六ケ敷しいことでもまた不安なことでもないのである、尤もその間多少の不便や不利益な點が出て來るかも知れまいが、それは協約の精神を貫徹させる意味からいつてお互に我慢をしなければならないところで不備な點があればそれは漸次改めて行けばよいと思ふ、今回調節費の實施が遅れたのは何分最初の事であるからお互に大事をとつてゐるからで自分が態々來哈したのも若し第一回の遣り方に失敗して禍根を殘し延ひては協約破棄などの大事に至つては尙ほよく烏鐵並に荷主側とも實行上の方法に關し一應の打ち合せをするためで自分として何等困難なことはないと豫想してゐる、而し打合せを一層確實に進めるために或はハバロフスクまで行くかも知れないがそれは單に會議地が移つたに止どまりその他何等の意味がある譯ではない

無電通信開放

【哈爾賓發】哈爾賓無線電臺は今回黑河間との通信を開始し一般公衆の通信にも開放することゝなつた

蔣氏未だ難關を脫し得ず
運命は調金の如何に

馮玉祥氏の外遊もまだ閻錫山氏の下野問題はのこされてゐるものゝ殆ど確定的となつて、險惡視された豫省の風雲も一先づ茲に政治的解決を告げた形であるしたがつて國民政府主席としての蔣介石氏の地位も漸く安定したかのやうではある、しかしこれによつて直に蔣氏の紛擾が一掃されたと信ずることは早計である、即ち、第三次全國代表會議以來頻々として策動しつゝある陳公博氏等一派の所謂左傾派は汪精衞、譚平山氏等の組織する第三黨と相聯合して汪精衞氏を擁護し、最近上海に於て中國國民黨護黨革命大同盟なるものを組織し現政府殊に蔣介石氏反對の態度を明かにして其の勢力は隱然として併も侮るべからざるものあり馮玉祥氏一派は言ふまでもなく李宗仁、白崇禧氏等の廣西派も此の大同盟に加入し、唐生智、方振武氏等も一派相通ずるものもあるべく、最近李明瑞氏等と廣西派との間にも相當の諒解が成立した趣きであつて廣東に於ける廣西派の勢力が未だ完全に驅逐されない今日尙幾多の不安をこの地方には孕んでゐることは言ふまでもない

◇

また、これについて蔣氏の難關は國民政府の財政逼迫である蔣介石氏が最近言葉に積極を唱へて實は反つて總てに逡巡し從來の果斷を見ないのはこの財政の困難を物語るものであると言はれてゐる、蔣介石氏は、これ等の大難關を打破せんと欲せば先づ汪精衞、于右任、丁維汾氏等の左派と提携して護黨大同盟その他の反蔣運動を鎭壓し、一方河南陝西方面に於ける飢饉地に在る馮系各將領を懷柔して中央の繫麥を覓はしめるの方途を講ずるほかはない、目下氏は全體會議の名を以て汪氏の歸國を歡迎せんとしてゐるが胡漢民、戴天仇、蔡元培、吳稚暉、張靜江氏等の反對にあつて僅かに汪氏を國民政府委員に任命することを決定し得たのみであるが汪氏はこれを拒絕した趣きである、果して蔣氏は如何なる術策を以て局面を自己に有利に展開して行くであらうか要は調金の如何にあり茲に蔣氏は運命の定まるべき最後的立場におかれてゐる(武田生)

特產

◇定期後場(調査)

▲大豆(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 二十九車

▲三等大豆(出來不申)

▲豆粕(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 一萬枚

▲豆油(出來不申)

▲高粱(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 百七十車

▲包米(出來不申)

◇現物後場(銀建)

	寄付	大引
混保大豆 袋込	六五六〇	六五六〇
混保大豆 裸物	—	—

出來高 一車

三等大豆(出來不申)

豆粕 一二三〇〇 一二三〇〇

出來高 三千枚

豆油(出來不申)

高粱(出來不申)

包米(出來不申)

錢鈔

◇定期後場(單位錢)

期	寄付	高値	安値	大引
近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 期近 四十八萬圓

◇現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	—	[illegible]	[illegible]

出來高 銀對金 一萬四千圓 銀對洋 一萬九千圓

商品

後場 出來不申

神戶特產物(廿七日)

品名	値
大豆現物	七五〇
同先物	六五〇
豆粕現物	二三七
同先物	四九八
滿洲小麥	[illegible]
豆油現物	[illegible]

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
七月	二五一三〇	二五三五〇
八月	二四四〇〇	二四五五〇
九月	二三八〇〇	二三九五〇
十月	二三三一〇	二三四〇〇
十一月	二二九三〇	二三〇〇〇
十二月	二二八四〇	二二九二〇

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株	一三六〇〇	一三六一〇
新	一二五四〇	一二五五〇
五品 中	不申	不申
五品 先	二〇九〇〇	二〇七〇〇
豆信 中	不申	不申
豆信 先	不申	一五〇〇
豆新 中	一六三〇〇	一六五〇〇
豆新 先	一六五〇〇	不申

東京株式(短期)

銘柄	五品	東新
後場寄	二一六〇〇	一二四〇〇
後場引	不申	一二五〇〇
高値	二〇六〇〇	一二五二〇
安値	二〇一〇〇	一二三六〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株新	九〇二〇〇	九〇二〇〇
鐘紡新	七九〇〇〇	七九一〇〇
日糖新	二六九〇〇	二六一〇〇
郵船新	一三一〇〇	一三〇〇〇
東新	六九四〇〇	不申
	不申	不申
	一二五二〇	一二五五〇

東京期米

限月	後場寄	後場引
六月	當限落	—
七月	三〇五〇	三〇五一
八月	三一〇九〇	三一〇九

大阪期米

限月	後場寄	後場引
七月	三〇六一	三〇六一
八月	三一二四	三一二八

神戶期米

限月	後場寄	後場引
七月	三〇六〇	三〇六一
八月	三一二九	三一三六

滿洲日報 地方版

奉天

休暇を利用して兒童の商業實習

本年は永くして三週間 春日小學校の試み

春日小學校の最初の試みとして昨年夏季休暇を利用し同商業科生が銀行、郵便局その他主要商店につき實習をなし意外の好成績を擧げたので今年も銀行、郵便局各商店は勿論滿鐵に至るまで交渉の上實習地教育を施すこととなつたが今年はその期間を長くして三週間とし來る七月廿日夏季休暇に入ると同時に之を行ふと

貴金屬を盜む

廿六日午前四時頃市內浪速通一九骨董屋奧田好古堂の東入口から二重戶を開いて一名の支那泥棒が入りこみ棚上に陳列してあつた香木珠數外十點二百卅圓、ヒスイその他七十八點千二百圓・大鏡一個四十圓、紅水昌置物一個八十圓合計千五百五十圓を窃取し逃走したので目下犯人嚴探中である

附添婦を募集 滿洲醫大附屬奉天醫院では附添婦十數名募集することとなつたが年齡二十歲以上四十歲まで優遇する由で希望者は同醫院庶務係に至急申出られたいと

人事

▲藤田關東軍經理部長 廿六日朝來奉
▲青木公主嶺署長 廿五日夜歸公
▲大淵滿鐵海上事務所長 廿六日過奉長春へ

吉林

總商會改組案

吉林總商會は目下組織改正準備中であるが正副會長には張閻兩氏が當選し既に赴奉張作相主席に會見したが其の改組の大體は次の通りである

一、委員制に改め正副會長を正副委員長とす

二、正副委員長は張主席の同意を得て選出す

三、工會を商會に合併問題は未だ決定せず將來張主席歸吉の上決

定

四、商會は今年七月會員の調査をなす

五、八月中旬改組決定

吉敦線へ進出

吉林輸入組合員

當地輸入組合では今回吉敦沿線に販路を求むる事となり廿五日各自商品携帶で吉林を午後零時半發足した

民會書記後任決定

川股元書記の後任として現議員奧田。長尾兩氏の推薦により西野洋平氏を採用するに決し同氏は廿五日より執務の筈

人事

▲林顧問 張作相氏母堂一週年忌祭に參列の爲廿二日夕赴奉
▲細野喜一氏 約一ケ月の豫定に

營口

現金大廉賣

輸入組合主催

營口輸入組合主催商業會議所後援による輸入組合加盟各商店の現金廉賣二十七、八日の二日間午前九時から午後九時まで營口座に於て催され乃美、須崎、辻の三吳服店、近江洋行、東京堂、平本洋行、重田屋、熊谷商店、池內商店、田口商店、朝日屋、甲州洋行、坂元商店等が吳服太物、和洋雜貨、時計樂器、書籍、文房具、世帶道具等約四千點の商品を配列して大廉賣をなし、中には原價の半額に充たざる見切品もあつて千客萬來の盛況を呈した

長春

每月交換姬達に一定した休養を

電話交換手に對する長春郵便局の諸案

長春郵便局の交換姬は約七十人……い勞働なので種々慰安方法が設けられてゐる、交換手は十三歲を最低に平均年齡十九歲の娘盛りであるから家庭の主婦としての常識を涵養させる必要ありとて餘暇を利用して野村電信課長が管涵教育を授けてゐるが一層之を擴張して專門家を傭ひ家政上の知識を注入しやうと計畫を樹てゝゐる

……

强壯なものに限り採用

……

警察の官舍愈よ建つ

長春警察署では官舍が不足して現……

衛生技術官會議に出席

……於て衛生技術官會議があるので滿洲からは關東廳囑託滿鐵長春檢查所主任坂元ドクトルが出席することゝなり氏は廿七日午後二十分長春發上京すると

豫防注射終る

長春……校及び女學校では一週間前から生徒の猩紅熱豫防注射を行つてゐたが二十六日終了したと尙豫防注射の結果は頗る良好で女學校生徒が一名發熱した丈けであつたと

遼陽

運動部の豫算會議

滿鐵遼陽運動支部では廿六日午後一時から社員クラブ樓上に於て本年度の各部豫算配付に付役員會を開催協議する處があつた

收入の部

前年度繰越	六五、九五
會費	一、〇三六、〇〇
本部補給金	一、五六五、〇〇
プール收入	六〇〇、〇〇
利子	五〇、〇〇
合計	三、三一六、九五

支出の部

陸上部	七一五、七七
野球部	二一六、〇〇
蹴球部	一〇〇、〇〇
柔劍道部	四六〇、〇〇
弓道部	二二五、二〇
氷上部	五〇一、〇〇
水泳部	五八六、〇〇
庭球部	三〇〇、〇〇
豫備費	三三二、九八
合計	三、三一六、九五

鐵道妨害頻々

煙臺驛から炭坑に到る支線で煙臺を距る約四町の地點に於て軌上に古枕木を横たへ列車の妨害があつた、機關士が早く發見したので大なる損害もなかつたが近來此種の事故が頻發するので、遼陽領事館では縣公署に交渉の上縣內一般に布告してあるに拘らず未だ徹底せぬ憾みがある

老頭兒の轢死

遼陽管內沙河驛前理髮業楊某(七〇)は廿五日朝七時半頃上り列車の通過するを同驛踏切の中央で待合せて居る內、下り列車が通過するのに氣付かず踏切附近迄進入して來た時初めて發見狼狽の結果轢死した、との報告に接し遼陽署から泉司法主任其の他出張檢視の上死體は家族に引渡した

福岡縣人會

在遼陽福岡縣人會では廿七日午後七時から正硒家に於て駐劄隊同縣出身者の歡迎を兼ね懇親會を催したが極めて盛會であつたと

西家の不幸

遼陽在鄉軍人分會長西正之氏二女正美さん(八歲)は廿三日白塔公園裏のプールに赴き夕刻歸宅下痢を催したので、同夜滿鐵醫院に入院加療中の處藥石効なく翌廿四日夭折した、廿五日午後五時電燈公司構內に於て國柱會式で嚴かに葬儀が執り行はれた

人事

▲早瀨穎二氏(遼陽輸組理事) 鞍山醫院入院中の處輕快に赴き退院の上自宅靜養中
▲飯泉孫次郞氏(第十六師團通譯官) 高等官三等に昇敍
▲見坊地方事務所長 出連中の處廿七日朝歸遼

公主嶺

市民運動會擧行

本年より年中行事として 關係者參集して協議

沿線各地で擧行しつゝある運動會は市民の親睦融和上非常なる効果を收め各地とも年中行事として重きをなしてをるので公主嶺に之れが實現を見ぬのは遺憾とするところで今年より當地も年中行事として全市民は擧つて一大家族的大運動會を擧行樂むべく久保田地方事務所長は二十六日午後二時同所の會議室に於て各方面よりの參集者と相談會を開催これが方法について協議した

實滿對抗野球

二十八日擧行

公主嶺に於ける滿倶對實業の野球戰は二十八日午後二時公園のグラウンドに於て第一回戰を開始すると該試合は昨年と異り今年は兩軍とも陣容が整つたので猛打熱球が見られるであらふと

印畫展盛況

公主嶺滿鐵圖書館に於ける印畫の展覽會は各方面より出品の佳作が多く開會當日より多數の來觀者に盛況を呈してゐる

撫順

プール開き近し

設備完備、料金決定

灼熱の夏とプールそれは保健上からも必要なものであるが、海に遠い撫順の

河童連

は長い間髀肉の嘆をかこつてゐたところ、かねて西公園に新造中の州外一の大人用プールが二十六日全く出來あがつた、周圍、底部とも悉く鐵筋コンクリートで堅めレース用コースは巾十八米突、長さ五十米突深さ四、五米突、高さ五米突の跳込臺もあり、その他脫衣場、洗浴室等申分のない設備である、右大人用ノールと並行して長さ二十米突、巾十五米突、深さ五十センチから九十センチの

子供用

プールも目下工事を急いでゐるが本月末迄には完成する豫定である、プール開きは右子供用が完成した上やる豫定で七月七日の日曜日位との事である、混雜を避くる爲當分の內體育協會員に限つて無料、一般運動會員は一シーズン一圓、それ以外は二圓軍人學生は五十錢、小學生は二十錢とする事と決定した

强盜橫行

撫順鐵道南劉純升(二一)は二十四日午後九時半、目下新建築中の公學堂機械置場に侵入一かせぎせんとする處を番人安德淳、金禎祿外一名の番人に誰何され格鬪中を、急報に接した署員の應援にて東七條四十四番地五十嵐氏方前で遂に逮捕されたが重大犯人の見込で目下取調中

◇

古城子第一露天掘華工宿舍第六棟雜貨店王成瑞方に二十四日午後七時四十分モーゼル拳銃所持の三人組强盜侵入家人を脅かし、金品一千二百圓を强奪逃走、犯人は年齡……

三十歲丈五尺五寸位長顏の男外二名であるが未だ逮捕に至らない

◇

市內西一番町二番地權小莫(二四)と言ふ男は朝鮮平安南道龍岡に於て近隣に住む照德(一九)と云ふ美女を强姦死に至らしめた犯人らしいと言ふので、驛前派出所山口巡査の活動となり目下極秘中に搜査を續けてゐる

素人野球大會

撫順の野球熱は全く素晴らしいもので二十五日午後四時よりアマチュア野球大會第一回戰が開かれたがその戰績左の如し

▲炭礦庶務對撫中(東鄕球場)九對五にて庶務勝▲發電所對運輸(中學球場)十五對五にて運輸勝▲製油工場對機械工場(中學球場)十對〇で機械勝

尙引續き二十六日午後四時より實業對機械、同時刻中學球場にて老虎臺對運輸、二十七日は第二球場にて東鄕對古城子、中學球場にて經理對庶務、決勝戰は前記の內の優勝チームの顏合せとなる譯である

基本射擊大會

撫順警察の基本射擊大會は二十四五兩日午前六時より守備隊射擊場で行はれたが入賞者次の如し

騎銃の部

一等(三十七點)浦部東一郞、二等(三十五點)安武警部、三等(三十五點)岡本新一、四等(三十三點)高山與四郞、五等(三十二點)杉町警務主任

拳銃の部

一等(四十一點)王君義、二等(三十八點)小澤部長、三等(三十三點)中川金藏、四等(三十三點)高山與四郞、五等(三十三點)杉町警務主任

右の如く杉町警務主任と高山氏は双方に腕の冴えを見せてゐる

開原

浮世小路夜店で賑ふ

二十五日から

浮世小路圓形廣場の夜店は既報の通り二十五日より愈開業したが季節向き諸雜貨玩具菓子食料品電機器具盆栽等二十數軒店を並べて活躍して居り盛んな人出で同廣場から浮世小路一帶に大賑はひである

プールを開場

夏季の運動として保健衛生上必須の水泳のプールは去る二十四日より開場されたが本年は昨年よりも會員申込少いと、會費は一夏間社員金一圓社外金一圓五十錢なれば一日も早く申込まれたいと又本年は初歩の人々には水泳の手ほどき教授をなす由なれば奮つて入會されたいと

市場上棟式

開原市場會社にては露天市場北側に貸家建築中であつたが工事順調に進捗し既報の通り廿五日午後四時より各方面有志を招待し餅撒き其の他の行事を行ひ盛大に上棟式を擧行した

旅順

「昭和」の懸賞賣出 關東廳で不許可

程度が甚し過ぎると

東亞煙草が「昭和」販賣に景品を付する爲め關東廳保安課に其の賞品額の申請をして來たが、保安課としては一個十五錢の煙草に百圓の賞品を附するは內規に違反すると云ふので許可しなかつた、右につき當局は語る

東亞煙草に對しては支那人に販賣する目的のために多少とも賞品を附する場合一定の額よりは幾分高率になつてもよいやう許可はしてあるが、今回の如く十五錢の煙草に百圓の景品……

第二區長決定

四本家の不幸

當地列車區員四本忠藏氏の妻春枝氏は廿五……

校舍增築落成近し

瓦房店

衛生活動寫眞

賭博

巡警强盜に豹變

附屬地內鮮人の被害

熊岳城

炎天續きに水田の植付不能

なほ一週間も續けば作物は枯死を免れぬ

驛長更迭

日本少女歌劇

番犬に咬まる

鐵嶺

警察の射擊會

兒童夏期聚落

鐵遼庭球試合

安東

竹內大佐視察

重大任務を帶ぶ

種馬種付數

鞍山

實協の役員會

鞍山實業協會第一回定例役員會は二十七日午後八時より敷島町實業會堂に於て開催され役員多數出席し加藤會長の挨拶あり引續き六月中會員異動報告、贊助員推薦の件、會堂建築に關する件報告、會堂落成式擧行の件、會堂增築に關する件、會堂貸付に關する件、定例役員會日時の件、會員範圍擴張に關する件を議し午後十時散會した

四平街

中元贈答品絶對に廢止

町の便り

奉天醫院における現在の入院患者……

赴任した以上は相當抱負はある

然しこの際は默つて置く 築島新任所長語る

哈爾賓

新任哈爾賓滿鐵事務所長築島信司氏は既報の如く二十五日午前八時古澤前事務所長以下多數所員の出迎へを受け着任理事公館に少憩の……

……のため折角の計畫に頓挫を來し出來る仕事も却つて出來なくなるやうなことになる虞れもあるからこの際は愼んでおいた方がよからうと思ふ、東支鐵道を中心とした露支の關係も兩國勢力……

……的關係が頗るデリケートな當地において而も着任早々の自分が强いて意見を述べることは外部から誤解を受ける危險もありそ……と語つた、尙新所長は本月末日赴連の上來月上旬頃古澤氏の……發以前に歸任の筈である

更迭

介在

貔子窩から出た壺と甗 旅順博物館に歸て來た

二年越京大に旅行してゐてこんど無事元の滿洲に歸る

石器時代の末紀から金石の初期にかけた遺物が一昨年貔子窩碧流河の河口から京大濱田博士、東大原田學士の東亞考古學會の手で發掘され世界の考古學會に異彩ある資料を提供した、其の

昭和三年四月廿九日から五月五日に至る二週間に亘り濱田博士は小牧學士、島田助手、學士外四名の助手、博物館は內藤主事、森、京城から泉博物館主事、北平大學の陳恒、歷史博物館羅庸、董……ハルピンからはトルマチエフの露人等が集まつてこの發掘を研究した

◇

濱田博士は全部これを京大へ持ち歸つて模型品を造る一方的方面から仔細に研究し「貔子窩」と題する一冊を編し世界文獻に又と得難い資料を提供した、其の模型と實物が今度旅順博物館に返送されて來たのでこれを參考館に陳列することになつたのであるが……

大連將棋聯盟特選 滿日五人拔戰

職の跡

鶴見祐輔先生著

母

いよ〳〵發賣

名小說現る!!

輝く愛と感激!! トテモ面白い!

母！お、母！……

無限の慈愛、痛ましき犧牲、涙ぐましき忍耐、
貴ぶべき聰明、――その一切を擧げて子に捧げる母！

鶴見先生は言ふ＝『地上の最も美しきもの、一つは、母としての女性の愛である。地上の最も莊嚴なるもの、一つは、母としての女性の受難である。冬の夜雪に伏し、夏の日陽に晒されて厭はざる母の愛である。饑ゑて子の爲に食を與へ、死に臨んで子の爲に恐れざるは母の力である。人類の歴史を尋ぬれば、功業の男子にして賢母の訓化に浴せざりしは殆んどない……』又曰く『私は日本の女性を禮讃する。殊に母としての日本の女性を禮讃する。我等の母こそ、世界に誇るべき日本の寶なのだ……』

「十六歳の春、卯の花の雪のやうに白く咲く頃、薄命なりし私の母は、八人の子供を殘しまだ春秋に富む身空で死んでいつた。その薄命なりし母の思ひ出が、私の生命の根源である。

この小說は實に鶴見先生が、一切の宗教も藝術も科學も、哲學も、この單純なる母の受難の生涯の感化には及ばなかつた……』と。

亡き母君への弔合戰として

一字一涙、渾身の熱情をこめて執筆!!

これを讀んで、感泣せざるものありや？――

素晴らしい偉大な時代の戸口に今、日本民族は立つてゐるのだ

亞米利加と、支那と、露西亞との新しい三大陸民族が二十世紀の支配者だと世界の評論家は思つてゐる。しかし大きな扇子も、たゞ一個の要で開きもし、閉ぢもする樣に、小さい島國民族日本が、この三大陸民族の重點にあるのだ。

それが太平洋時代だ！
それが新しき日本の運命だ！

この莊嚴なる運命の呼び聲に應へるための用意は出來てゐるか。日本を守るは軍艦にあらず、砲臺にあらず、財寶にあらず、天然の資源と領土とにあらず、

日本人の亡びざる魂である！

その日本人の魂は、貴き日本的の母から生れる。

英雄は母から生れ、國家もこの母から生れる。この一篇の小說『母』を、滿天下の女性に送り、日本の女性を母とする一切の男性に送る所以はこゝにある。

この小說は今まで日本になかつた

良人教育――
花嫁教育――
愛兒教育――

の一大國民讀本である。

椿花咲く溫泉鄉熱海を背景として、新歸朝者たる有爲な青年澄男と、貧しき商家の乙女朝子との純情な戀に筆は起される。この若き二人の戀は如何に伸びて行つたか。『戀に送る一日の純情の爲には、五十年の苦しみも悔るに足らず、生きて甲斐ある人生の詩である』と心に叫んだ彼の火の如き戀は、讀むものをして自づから胸の高鳴るを覺えさせる。だが――甲斐なきは男の心か？一度花柳の巷に出入してから、澄男の心にはひゞが入つた。妻も子も家も忘れて放埒を極めた。でも、賢き朝子は徒らに悲しまなかつた。深い愛と誠心でたうとう昔の夫を取戻すとが出來た。それも束の間、ホッと安堵の胸撫で下した朝子は、三人の愛子を抱へて天にも地にもかけ代へのない夫に先立たれてしまつた。夫の跡を追はんには三人の子を何としよう？母としての一大受難が始まる。殊勝な彼女は固い〳〵決心を立てた。しかし彼女は明眸輝く若い女性である。淋しい心、滿たされない心をどうしよう術もない。そこへ隙を覘ふ惡魔の牙！彼女は如何に勇ましく人生と戰つたか？戰ひながら如何に子女の教養に獻身を碎いたか？

若く美しき母、朝子！
彼女こそ新しき時代
女性の行く手を示す指南車だ！

面白く讀みながら、戀愛、夫婦、
家庭、社會等の諸問題が解決される

樞密顧問官子爵 金子堅太郎閣下感激、賞讃

小說『母』、今朝繙くや手に書册を放つこと能はず、晝晩兩度の食事時間を除くの外、終日讀みつゞけ、只今（夜九時半）漸く全部讀み了りたり。蓋し本書は近來稀に見る名著述と驚嘆したり。（中略）書中、或る場合に於ける朝子の志操又は言行が往々余が母に似たるを讀んで轉た感慨の情に堪へざりき。（中略）日本人の母たるものは勿論凡ての婦人の必讀すべき教科書なりと信ず。

――▲本書を一讀せば之を家族、近隣に推奬せざるを得ず。全く日本を明るくする名著！

諸名士激賞！青年處女、紳士淑女どなたも御一讀あれ

四六判布裝 ■伊東深水畫伯裝幀■口繪さし繪數葉入■ 定價貳圓 送料十二錢

大日本雄辯會講談社

（A）東京・本鄉・駒込（振替東京三九三〇）　全國書店にあり

コドモページ

メクラムラ

懸賞童話……(佳作)

豐村水星

マンシュウノ、アルトコロニ、二ツノムラガアリマシタ。一ツハ、ナマケムラトイツテ、ナマケルヒトバカリ、スンデヰマシタ。モ一ツハハタラキムラトイツテ、ハタラクヒトバカリ、スンデヰマシタ。コノ二ツノムラハ、ノハラノマンナカニアツテ、マイトシ、ハルガクルト、カゼガフイテ、スナヤホコリガタクサントンデキマシタ。ハタラキムラノヒトタチハ『ムラヂウノヒトガコマルカラ、ミンナデ、ムラノマハリニ、チヒサナキヲタクサンウヱヤウ、ソウスレバ、スナヤホコリガ、トンデコナイダラウ』トソウダンシテ、スグニ、キヲ、ウヱハジメマシタ。ナマケムラノヒトタチハ、ソレヲミテ『バカダナア、アンナコトヲシテ、ヤクニタツモノカ』トイツテ、ワラツテヰマシタ。トコロガツギノトシノハルニナルト、イツモヨリモツトモツトヒドイカゼガマイニチフイテキマシタ。ハタラキムラノヒトタチハムラノマハリニ、一パイキガハヘテヰルノデ、スナヤ、ホコリガ、スコシモセズヘイキデヰマシタガナマケムラノヒトタチハ、スナヤホコリノタメニ、ミンナメヲワルクシテ、メクラニナツテシマヒマシタ。ソレカラ、コノムラノコトヲ、メクラムラト、イフヤウニナリマシタ。

汽車の窓から

【其三信】

大正小學校長 湯下誠一郎

一、かんばつ

畠の中からまつ白な土煙が立つやうにから乾いてしまつては、水分が一つもないために、麥はやつと穗を出しながらみのることが出來ないでかはいさうに枯れしぼんでしまつた所があります。神様に雨乞ひをしなければ我慢がしきれない程困つてゐるといふからひどい話です。せつかく昨日の朝から雨になりさうな曇方をして助かりさうなぐあひでしたのに、今日はすつかり雲の峰が流れてしまつて夕立も來そこねさうなお天氣です。朝鮮のお百姓には氣の毒です。そのかはり、六月の十一日から内地は梅雨に入つて雨の季節になつたと申しますから、きつと此處朝鮮でも私は雨におそはれるにちがひないと、覺悟をきめて出かけたのに、はんたいに至くの日でりで、お天氣にはめぐまれてゐます。けれどもこのあとで大變です。朝鮮の夏は何べんかきつと大きな洪水が出るといふことです。雨の降らぬ中にさつさと内地に渡りたいと思ひます——内地も今は雨續きにちがひはないでせうけれど。

二、平壤學校

第一番に私は平壤の學校を見ました、それは三、四年前にも一度見たことのある學校です。はつきりと進歩のあとが見えてゐます。先生の努力がつまれてゐます。兒童の奮闘も思はれます。平壤にある小學校は二つです。一方には千八十人、一つには千百五十人ほどの生徒がゐます。れいぎ作法をよくするやうに特にこの頃力を入れてゐるといふ校長さんのお話をきいたり、元氣よくきまりよくお勉強をしてゐる子供らの教室を見たりしました。

私は此所から京城を見にまゐります。

バッタトリ

「ヒロチヤン アソコニ バツタガ
タクサン ヰルヨ」
「オイ ホラ アソコニ アンナ オ
ホキナノガヰル」
「ソンナニ サワイダラ ニゲテシマ
フヨ シヅカニシナケリヤ ダメダイ」
「……………」
「トツタヨ トシチヤン ハヤク カ
ゴヲ モツテキテ……」

二ドメノ大チヤンノタンケン (65)

ハルミチ作　ジラウ畫

大チヤン ハ ブラサガツテヰル バナナ ノ 一フサ ヲ トリマシタ。モテナイグラヰノ オモサ デス。

大チヤン ハ ウツクシイ スナ ノ ウヘ ニ コシ ヲ オロシテ ユツクリ タベルコトニ イタシマシタ。

一ボン チギツテ タベテミル ト ホツペタ ガ チギレルグラヰノ オイシサ デス。ブル モ ヨロコンデ タベマシタ。

ラヂオ童話劇 赤い小鳥 (三)

白崎正夫

——御殿——

(捕虜になつたお姫様歌を唄つてゐる)

お城も町もこわされて
あたしは哀れな捕虜よ
お國の港を出る時は
みんな涙で見送つた
いとしい兄さま今何處
あたしは本當に悲しいわ
あたしは本當に淋しいわ

(此の歌の間に家來甲乙と侍女戸を開けてこの部屋に入る)

(歌が終ると一緒に)

王様。おや、お前は又しても悲しい嫌な歌を唄つてゐるな。何故もつと愉快な歌を唄はないのだ。

お姫様。でも王様、私は些つとも愉快になれないのですもの。

王様。何?愉快になれない、よしお前が面白い歌を唄ふ迄、私は何度でも舞を舞はせるぞ。

姫様。王様、私はもう舞ふことが出來ません、こんに足の趾から血が出て居りますもの。

家來と侍女。本當にお姫様はお可哀さうだ。

王様。餘計なことを言ふな、みんな下れ!

家來甲。もし王様、そんな大きな聲を出しなすつてはいけません、そら御覽なさい、お姫様があんなに震へていらつしやいます。

王様。ほうツて置け! そしてお前は私の寢室から例の赤い小鳥を連れて來てくれ。

家來甲。はい、かしこまりました

(バタンと戸の音)

間

(小鳥の唄ふ聲だんだん近づいてくる)

(バタンと戸の音)

家來甲。王様只今持つて參りました。

王様。うんよし、では其のテーブルの上に置いてをけ!

間

王様。おい、小鳥を籠から出してはいけない。

家來甲。でも一昨日から窮屈な此の籠の中に居たのですよ。

王様。とんでもない、大切な小鳥を逃がしでもして見ろ、それこそ大變だ。

家來甲。それでは籠の儘、窓の所へのせて置きませうか。

王様。さうだ、それでいゝ、では みんな次の部屋へ退つてくれ。

家來甲乙と侍女。王様、では失禮いたします。

(バタンと戸の音)

兒童の作品

うちから學校まで

聖德小學校四年 三浦密似

「いつてまいります」と元氣にいつた。

「いつていらつしやい」とやさしいお母様の聲がした。日はほかほかとてつてゐる。太子様は青青とした草木につゝまれてゐるやうである。青いもうせんをしきつめたやうな中にところどころに。黄色のちよぼ／＼したもようをいれてゐる。太子堂の前近くに來た。すると向ふから眞邊君がはしつて來た。僕が「眞邊君ー」とよぶと。

「なにー」といつた。僕が。

「なにかわすれたの?」ときくと。

「うんそうよあのう修身と理科よ、木曜とまちがへたのよ」と答へた。僕が

「そう。はやくとりにかへりなさい。まだはやいから心配しないでも大ぢやうぶだよ。早くいつておいでね。しつけ」

「しつけ」と左右に二人はわかれた。僕は太子堂を拜して行つた。空には雲一つもなかつた。アハダ君のうちに行く、ともう行きましたとアハダ君のおばあさんがおつしやいました。てつくわんがいつぱいならんでゐるところまでくると。こんど新しくこの學校にいらつしやつた女の先生が一、二年の生徒をつれてお話をしながら。あたゝかい日の光をあびてたのしさうにあるいてゐました。

「おはようございます」とおじぎをすると先生はしずかにおぢぎをなさいました。まもなく學校のにはにつくと一年生がたのしさうにぶらんこや、まるけんとびや、すべりだいであそんでゐました。學校につくと三公(へ學校にかつてゐるお猿さん)がおとなしくすはつてゐました。

遠足の朝

大正小學校三年 赤津勢吾

「お天氣は」と思つてはね起きました。空は少し曇つてゐます 僕はたのしい遠足に行かれないと思つてがつかりしました。しばらくの間、外を見てゐますと東の方から朝日がさしてきたので、僕はよろこんで「今日は遠足が出來る」と思つて、いそいではしごだんをおりました。するとお母さんが「どうしてそんなにあばれるの」といつたので「天氣だ天氣だ」といひますとみんな大わらひをしました。

滿洲敗るか、大阪雪辱か 血湧く柔道對抗戰

愈よ卅日、中央公園コートで擧行 きのふメムバー交換

滿洲軍對大阪軍の柔道對抗試合はいよ〳〵三十日午後一時より中央公園硬球テニスコートに於て田畑七段（大阪方）大木六段（滿洲方）兩氏審判の下に催されることに決定を見た、なほ昨二十七日午後一時半から滿鐵社員倶樂部に於て兩軍各監督幹事立會のうへ左記兩軍メムバー交換を行つた

大阪軍	滿洲軍
大將五段 村上	大將五段 小谷
副將五段 濱村	副將五段 佐々木
五段 中西	五段 吉田
四段 庄野	同 深谷
同 和田（美）	四段 島田
同 鈴木	同 高橋
同 倉永	同 石垣
同 國川	同 坂田
同 和田（金）	同 吉原
四段 水口	四段 鈴木
同 森安	三段 大野
同 中島	同 岡部
三段 石井	同 筆保
同 和氣	同 多々良
同 岡本	同 今里
同 田淵	同 星崎
同 濱崎	三段 宮間
二段 時實	同 三間
同 中島	同 野間
同 長廣	同 佐々木

黑石礁水泳場の今夏の競技豫定

開場式は來七月七日

黑石礁水泳場今夏中の豫定プログラムは左の通りで七月二十八日の遠泳には沿線各地よりも多數の參加ある見込みであると

一、開場式（七月七日午後一時一般に開放のこと）A模範泳法、B模範飛込、C應用游法、D日傘競泳其の他、E寶拾ひ、F福引（婦女子供）

二、一哩、三哩、五哩遠泳（七月廿八日）

三、遠泳大會（八月四日）十浬迄沿線參加

四、水泳大會（八月十一日正午）（イ）式順序1模範泳法、2模範飛込、3應用游法、4證書授與式（ロ）餘興（晝の部）1水瓜取、2日傘競泳其の他、3寶拾ひ、寶探し、4支那手品（夜の部）1浪花節、2野外舞踊劇童謠、3活動寫眞（レコードコンサート）

五、初步者遠泳（八月二十五日）

六、閉場式（九月一日）1會員記念撮影、2福引

開場した黑石礁海水浴場

日本水兵が艀船夫を傷く

【上海二十七日發電】支那側の報道によれば安徽省蕪湖にて二十五日日本軍艦下士の一水兵が支那人艀船夫を負傷せしめた事件あり同地交涉員より我領事館に對し抗議すると共に謝罪、謝禮金等を要求してきてゐるが若日本側で之に應ぜねば又一問題となる模樣である

大連醫學會

二十八日午後三時半より大連醫院で例會開催左の講演ある由 ▲赤痢の糖類分解能力の變動性に就て（其の一）星直利 ▲實驗的腿脈波の研究（其の四）山口峯 ▲猩紅熱毒素の精製並に濃縮方法に就て（安東洪次）

司廚長を刺殺し海中に投ず

ジャワ丸乘組ボーイ 些細なる口論の末

【門司特電二十七日發】廿六日朝門司入港の富山市萩生商會所有のジヤワ丸（四千五百噸）乘組ボーイ靜岡縣庵原郡庵原村大塚善一（二三）は同船が上海から南洋に向け航行中、去る四日午前二時頃些細なことから同船司廚長吉岡富太郎（四〇）と口論の末、大塚はジャックナイフで吉岡を刺殺し、犯跡を隱蔽するため、死體を海中に投棄し同時に證據を湮滅のため血染のベット、枕等を海に遺棄したことが發覺したので、酒井船長は直に船を上海に引返し、五日犯人を上海領事館に引渡した

桃源臺傳家庄間バス

珍しい好成績

大連を中心とする滿電の乘合自動車計畫は着々實現しつゝあつて本月一日には老虎灘沙見橋、老虎灘間の運轉を開始したが更に去る廿三日からは桃源臺、傳家庄間の運轉を開始した、又近く七月一日からは大連、金州間の豫定線を開始することになつてゐる、之がため海水浴場の往復が至極便利になつたことはいふまでもなく過般金福鐵道が一日一往復の列車運轉を減じた結果金州、大連間の交通に不便を感じてゐた際であるだけ非常に喜ばれてゐる、尚桃源臺、傳家庄間運轉初日のバス收入は百五十圓餘りで珍しい成績を擧げたと

▲桃源臺、傳家庄間　日曜祭日午前午後共運轉、その外の日午後だけ一臺運轉（十六回往復）

▲大連、金州間（七月一日開通）每日午前七時より一時半毎に發車の豫定

辯護士の質問と證據取調べ

大連播磨町殺人事件 きのふ午後の公判

二十七日の播磨町事件公判は午前中で事實の審理を終り午後一時再開、辯護士側の質問に移る、劈頭湯淺辯護士は被告小林ハルに對し「六日夕方杉浦に拳銃を預ける時杉浦の內縁の妻齋藤千代に直接手渡したのかソレとも裏の石炭箱に置いて然る後千代に頼んだのか」と詰問、之れに對しハルは「直接渡したのでなく**石炭箱**に置いて然る後千代に頼んだ」と答へ、齋藤辯護士は被告川崎力に對し犯罪遂行に際しハナに向つて直接間接にその事情を打ち明け、或ひは想像し得る程度の態度に出てゐたかと訊ねたが、川崎は「話した事はない、併し澤山の人が出入してゐたから或は何事か計畫してゐるだらう位は想像してゐたかも知れない」と述ぶ

竹田「信濃町に家を借りたのはハナと同棲の目的で借りたのか」

川崎「私は張宗昌と行動を共にせねばならなかつたので然う云ふ意味では無かつたが、併し**一家を**持つた方が萬事都合が好いと思つて借りました」

竹田「ハナと被告とは大分深い關係があつた樣だが、將來は落籍して同棲でもしやうかと云ふ樣な考へは無かつたか」

川崎「ソンナ事は考へた事もありませんが併し出來る事ならその位の事はやつてやりたいとは思つてゐた」

川崎に對する質問は之れで打切り更に被告小林ハナに對し

竹田「被告は曩に裁判長の審問に對し**川崎と**夫婦約束をした譯ではないと述べてゐたが今川崎があゝ答へる位であるから行く〳〵は夫婦にならう位は考へてゐたらうな」

ハナ「その位の事は考へないでもありませんでした」

と氣まり惡氣に頭を垂れる、辯護士の質問はこれで終り證據調べに入り拳銃や銅線など運ばれて一通りの取調べが濟むと辯護士側の申請により本件犯行の動機となつた蔣有琛の財產鑑定のため張宗昌氏の顧問で元濟南高等審判廳長の邱任元氏、蔣の死因が果して腦震盪であつたか**窒死の**疑ひもあるので當時死體を解剖した小崗子署の山本警師を證人として喚問する事とし同二時三十四分閉廷した、次回期日は未定

明滿野球決勝戰

けふ午後四時＝滿倶球場

增賃を強請する惡い車夫が多い

婦人客だと侮つて

市內三河町一三鶴田キジエ（四〇）及び米田ハル（四一）は去る二十四日夕嶺前屯馬車收容所馬車夫王大綸（二一）の馬車で榮町一番地鶴田彌彦方迄二十錢の約束で乘つた處、三十錢を強要したので二十五錢拂はんとしたが肯かず婦人と侮りて荷物を抑へて渡さず附近の支那車夫を集り王に加勢する騷ぎに同家の鶴田が出て來た處王は鶴田を毆つて負傷せしめたが二十七日になつて判明逃走中の王を引致して取調べてゐる、近來斯くの如き不埒な馬車夫多く當局でも今後見付次第嚴重取締ると

旅大道路の交通事故防止

大連署および沙河口署では旅大道路の交通事故を防止する爲め丈餘の斷崖が峙立して前方の見透し困難な場所に今回試驗的に道路の中央に白線を劃して縱斷し交通者をして白線の左側を通行せしむる事にしたと

雨乞の御利益

遼陽に慈雨頻り

【遼陽特電二十七日發】遼陽附近は夏作播種後降雨なきため作物の發育不充分、ために農家は憂色に沈み居り、數日前より縣公署、老爺廟その他で雨乞の祈禱が行はれてゐたが、廿七日朝から慈雨頻りに臻り蘇生の思ひをなしてゐる

タコマから東京へ飛行計畫

【カルフオルニヤ、シウブルバンク廿六日發電】ワシントン州タコマより東京に飛行すべく既に計畫中であつたハロルド、ブロレー中尉は準備全く整ひ愈最終試驗の結果によりこの壯擧を決行する事となつた

メトロポリス封切會 讀者優待割引券（この券持參者に限り一圓に割引）主催 滿洲日報社

邦人水夫を袋叩き

鮮人酌婦等が

二十七日午後二時より大連署吉岡部長は逢坂町一〇八貸座敷漢城樓の妾金貴兒（二三）および同居人金富兒（二二）小逆河先伊（二二）同抱酌婦松子事文揚年（二九）同君子事鄭初月（二一）同雪子事權禎玉（二三）同一丸事崔玉子（二三）の七名を呼び出し取調中であるが右は去る十六日夜十二時頃同廓貸座敷品川樓抱酌婦政榮事金秉成（二〇）が相客である當時入港中の山下汽船會社所有壽福丸乘組水夫山下勇太郎（二四）と共に前記漢城樓に登樓してゐる山下の友人二人の許に至り雜談中、その前を通りかゝつた右金富兒に對し英語で惡口を云ひ更に山下が階下に降り酒を注文し乍ら金の手を握つたのでその實妹金福兒が酌婦と思ふなといひつゝ山下の頰を毆つたのが原因となり前記の者が寄つてたかつて山下を袋叩にし更に二階より駈け下りて制止せんとした山下の敵娼金秉成をも毆る蹴るの散々な目に遭はせ遂に九日間入院の傷を負はせたこと今回發覺したものである

一萬圓詐取失敗

金持老婆を伴れ大連驛に着いた所を取押へらる

貔子窩小柳家屯無職邵姜氏（五九）といふ寡婦は一萬圓からの現金を所持し裕福に暮してゐたが、慾と色との二道かけて執拗につきまとふ同地張家屯酒商張希恩（三五）の甘言に乘り一萬圓を懷中し若き燕と共に二十七日午前九時貔子窩發大連行列車で新婚旅行としやれ込んだが同地民政署に傭ひ人としてゐる伴部良玉が氣づき大連署へ取押へ方打電したので午後一時十分大連奧町七三南洋兄弟煙草公司店員陳傳嶶（三〇）及び同段旭東（三〇）の兩名をも同伴して大連驛に下車した處を構內取締中の高山巡査に取押へられた、彼等はグルになつて寡婦を誘拐した嫌疑あり、尚驛に出迎へてゐた南洋兄弟煙草公司店員陳洪後（二〇）も連累者として取押へられ目下取調中

救はれぬ交通地獄

電車に觸れ重傷

二十七日午後六時五十分滿電沙河口行四號電車の疾走中、橋立町八番地先で一名の中國人がひつかけられ重傷を負ふた、被害者は小崗子財神街四一遲佩榮（二二）で左足大腿部中央骨折、右足膝蓋骨龜裂、左眼より出血して人事不省に陷つたので、直に小崗子博愛病院に擔ぎ込み治療したが生命は取りとめるらしい、其筋では運轉手賭本善につき原因其他を取調中

消費を屠る

十一A對七で

廿七日午後五時より常盤小學校裏グラウンドにて消費組合對滿日スポンヂ野球戰は十一A對七にて滿日快勝す

けふのラヂオ

昭和四年六月廿八日（金曜日）

自午前十一時　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）

自午後零時三十分　相場（特產、錢鈔、各地相場）ニュース

自午後三時三十分　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）ニュース

自午後三時五十分　野球速報放送（滿倶對明大決勝戰）

自午後七時三十分

一、ニュース

二、兒童科學講座　吾輩は密蜂である　大連神明高等女學校　前田政次郎

三、獨唱（童謠）一、坂みち　二、蟹の泡　三、ふくろう（櫛木龜二郎作曲）四、水車（同）櫛木龜二郎　伴奏山本ふじえ

四、義太夫　義經千本櫻鮓屋の段　大夫鳴海松若、三味・竹本旭勝

五、尺八　都山流秘曲　鶴月調　菊崎主正

六、支那劇「別窖」遼東倶樂部々員

七、料理獻立

八、天氣豫報

九、ラヂオ體操

スポーツ

テ盃爭奪戰と米選手

人選大に注目さる

【ニューヨーク特電二十五日發】アメリカ庭球界の強豪たるチルデン・ハンター・ロツト・ヘネシー・ヴアンリン・アリソン等の各選手は目下揃つて英國ウインブルドンに於けるナショナル庭球選手權大會に出場してゐるが・デヴイスカツプ戰出場アメリカチームのキヤプテンたるデイクソン氏はインターゾーンの戰ひに於いて當然ドイツを破りフランスにチヤレンジするものとの確信を以て其の選手の顏觸れを決定する必要上・ウインブルドン試合の經過に深甚の注意を拂つてゐるので・其の人選如何は米國を通じて非常に注目されてゐるが・專門家間には此際には氣銳の人々に機會を與へよとの聲が有力であるから豫想外の結果が出て來るであらう・即ちチルデンとハンターはフランス・ナショナルハードコート選手權試合にはフランス選手に負けてゐるに反し・ロツトは過去六ケ月間にチルデン・ハンター・ヴアンリン・ヘネシー及びラコストを破つてゐるのでウインブルドンで若し好成績を得ば當然チヤレンジラウンドにチルデンと共にシングルスに出場すること確實と見られてゐる尚ほヘネシーはダブルスに出場すべきも消息通は結局フランスが依然カツプを保持するものと豫想してゐる

第十八期決算報告（自昭和三年十二月一日 至昭和四年五月卅一日）

貸借對照表

資產之部

科目	金額
未拂込資本金	四、五〇〇、〇〇〇・〇〇
土地	一九五、三六二・八八
建物及敷地	三二六、六六六・三四
什器	四、六九九・二〇
建築材料	四、三九六・〇四
賣約土地	四六八、七〇三・九五
賣約家屋	一八、四一六・七三
建築資金貸付	一四四、七六八・六五
貸付金	卅六、九二一・〇四
賣掛代金	一、二三六・一二
受取手形	一、八六一・三七
假出金	五四、四九二・三〇
土木	四一、四〇〇・〇〇
農林	一三、五九二・九七
靜浦事業費	三八、二六六・七一
未收入	一、四二〇・〇〇
預ケ金	三七、三三六・三〇
銀行預金	一七六、六四九・一八
金銀	三六九・一五
合計	六、三七五、五四八・九三

負債之部

科目	金額
資本金	六、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
法定積立金	四、四〇〇・〇〇
別途積立金	七、〇〇〇・〇〇
未拂配當金	一、八三八・三八
保證金	八、二九六・〇三
借入金	二一〇、〇〇〇・〇〇
支拂手形	一〇一、六五〇・〇〇
假受金	五、四〇六・一九
未拂金	一八、五五五・二三
年賦賣約差金	一五七、六七七・五一
前期繰越益金	八、三六〇・九九
當期利益金	四二、三四四・六一
合計	六、三七五、五四八・九三

利益金處分

科目	金額
當期總益金	七〇、八五六・九六
當期總損金	二八、五一二・三五
差引當期純利益金	四二、三四四・六一
前期繰越金	八、三六〇・九九
合計	五〇、七〇五・六〇
之ヲ處分スルコト左ノ如シ	
法定積立金	二、二〇〇・〇〇
別途積立金	二、五〇〇・〇〇
役員賞與金	四、〇〇〇・〇〇
株主配當金（一株ニ付金二十五錢年四分ノ割）	三〇、〇〇〇・〇〇
後期繰越金	一二、〇〇五・六〇

右之通リニ候也

昭和四年六月二十七日　大連郊外土地株式會社

追テ役員改選ノ結果山川吉雄、丘襄二、小島鉦太郎、筧文造、永井雄之進、松岡勝彥、佐志雅雄ノ七名ヲ取締役ニ内山川吉雄ヲ代表取締役ニ間原德太郎、高橋猪兎喜ノ二名ヲ監査役ニ選擧セラレ各重任ス

愛慾の窓 (22)

戸川貞雄作　浅枝次朗畫

生活の淵（二）

チラリと見た一瞬の印象だつたから、はつきりさうと云ひ切ることは出來なかつたけれども、小森商事の窓際の卓に現れた若い女事務員の顏は、箱根の早雲山麓で、久彦に忘れた帽子を屆けてくれたばかりか、大涌谷の大地獄では、死の誘惑の手から彼を引止めてくれた聖愛女學校の生徒にそつくりであつた。

で、久彦はもう一度はつきりそれを確めたいと思つた。女學生だつた彼女が、唐突に職業婦人となつて現れようなどといふ事實は、一寸想像以外な事柄ではあるけれども、また全然有り得ない事實でもなからうと、久彦は心に頷首いた。

——もう一度見たいものだな、そしてハツキリ確めたいものだな

彼はさう唇の蔭で呟いたが、路を隔てゝ向ふのビルデイングの窓から若い男の會社員に覗かれてゐると知つた先方では、一旦視線を遮斷するためにおろした窓懸をもう再び展かうとはしなかつた。そしてとうたうその日は久彦の退社の時刻が來てしまふまで、その茶褐色の意地悪い窓懸は、深く窓を鎖してゐた。

二重の興味が、久彦の注意を小森商事の窓に集注させるやうになつた。が、翌日も翌々日も、窓懸で蔽はれた窓を、彼は空しく眺めてゐるより他はなかつた。そこに若い女事務員の姿を垣間見ることは、もう永久に出來ないことのやうにも思はれ、久彦は淡い失望をおぼえた。

けれども次第に夏めいた晴れがつゞいて、暑さが頓に加はつて來るこの頃、さう暑苦しい窓懸をおろしッぱなしにしてゐられよう筈はなく、或る午後、カラ／＼とさはやかな音を立てゝ、問題の窓は明るくパッチリと眼を開いた。そして久彦の眼には、やがてその窓の硝子扉をも明け放つた窓緣に、此方へ背廣の背を見せて、一人の男の輕く腰をおろしてゐる姿が、臆面なしに見えて來た。クリーム色の瀟洒とした夏服姿である。その縞目から、やゝ荒きにすぐる派手な縞目からも、その男がなほ年若な青年紳士であることは想像された。

向ふむきになつて、室内の誰かと談笑してゐるその青年紳士は、頻りに白い手を窓の外へだらりと伸ばしては、指先の葉巻の灰を落してゐる。きやしやな女のやうなその手には、金剛石入の指環が光つてゐる。

——はゝあ、小森の悴だな、英輔といふ男だな。

久彦は直覺した。そして彼の直覺はあやまたなかつた。やがて窓緣に淺くかけてゐた腰をおろして床に立つと、斜に此方へ見せた上半身は、紛れもなく小森英輔だつた。色白の笑顏に、ちろ／＼と絲切齒の金齒が光る。櫛目も鮮かに香油で光らせたハーフバックの髪を、彼は頻りに手を擧げては撫上げながら、前の卓を瞰すやうにして、明るく談笑しつゞけてゐる。

そして卓には誰が着いてゐたか？

久彦は、注意深い視線で、卓の主を探らうとしたが、生憎英輔の身體の蔭で見えない。我を忘れて一しんに眺めてゐると

「……おい、彼奴が小森英太の悴なんだぜ」

と、久彦はまた三谷に肩を叩かれた。

「知つてるよ、僕は最近或場所で紹介されたばかりだ……」

と、久彦は五月蠅さうだ。

「……畜生、また女事務員のいゝ奴でも漁りに來てゐやがるんだらう」

三谷は吐き出すやうに云つた。

やがて英輔の姿は窓から消えたが、久彦の視野のなかに現はれて來た卓には、紛れもなくあの女學生が、今日は女事務員らしい紫色の事務服を着て、かしこまつて坐つてゐるのだつた。

満日文藝　満日柳壇

『茶柱』　高橋月南選

茶柱が立つて半襟二ツ減り　沙河口　桂馬
茶柱へ裏庭の父呼びこまれ
茶柱へ悪夢も餘程輕くなり　旅順　柳治
茶柱が立つて嬉しい當てがあり
茶柱へ主の便りが屆けられ　大連　玉江
お茶碗の底に茶柱だけ殘り
茶柱が立つて嬉しい人が來る

朝の茶へ鼠鳴きしてひやかされ　遼陽　みのる
四疊半今朝茶柱の事をいひ
茶柱に胸一杯の晴れて浮き　大連　木の葉
茶柱に居ずまい直し嬉しがり
茶柱へしんみり話す四疊半　大連　憂猿
心中のその夜茶柱立つて出る

茶柱に地下足袋輕くふんで出る　朝陽鎭　李堂
茶柱に不治は寂しい笑を見せ
茶柱へおごらされてる姉婿者　旅順　榮九郎
茶柱に胸算段の鯛を買ひ　大連　若葉冠
茶柱に無理な願ひを負はされる
馬券などつい茶柱に勸められ　大連　喜良久
茶柱が話題にもなる座談會　大連　水母
茶柱へのぞき合つてる夫婦者

茶柱へにつこり笑ふ長煙管　旅順　榮丸
茶柱を一と呑みにする勞働者　旅順　金棒
茶柱へ愛憎もなく切れ話

七月川柳課題

七月五日締切「波、浪」　中沼若蛙選
七月十日締切「暗號」　篠田醉雷選
七月十五日締切「扇風機」　高橋月南選
◇用紙はがき必ず別記のこと
満日文藝係

大阪商船出帆

●門司神戸（大阪行）午前十一時出帆
うらる丸　六月廿九日
香港丸　七月二日
あめりか丸　七月五日
はるびん丸　七月八日
●上海福州基隆高雄行後三時出帆
長沙丸　七月八日
●朝鮮經由長崎鹿兒島行
福建丸　七月十九日
盛京丸　七月廿九日
●北米シヤトル、タコマ行
關東丸　七月一日
（上海神戸四日市横濱經由）
ありぞな丸　七月八日
●紐育行（神戸四日市横濱經由）船客お斷り
はばな丸　七月十七日
●歐洲行（上海香港新嘉坡經由）船客お斷り
あるたい丸　七月二日
●天津行
河南丸　六月廿九日前十時
貴州丸　七月六日
武昌丸　七月十三日
●横濱直行（後三時出帆）
貴州丸　七月四日
河南丸　七月十一日
武昌丸　七月十八日
大阪商船株式會社大連支店　電話四一三七番
專屬船客案内所滿洲旅館協會　信濃町遼東ホテル內電四一三一番
乘船切符發賣所　ジャパンツーリストビューロー　大連市伊勢町　大連案内所電五五五四番

大連汽船出帆

●青島、上海行
大連丸　六月卅日前十一時
奉天丸　七月三日前十一時
榊丸　七月六日前十一時
●天津行
長平丸　六月廿九日後一時
濟通丸　七月一日前十一時
天津丸　七月三日後五時
●登州府、龍口行
龍平丸　六月廿九日後六時
●安東行
天潮丸　七月一日後六時
●香港廣東行
興順丸　七月七日
備天津丸　七月八日
永安丸　七月十五日
●名古屋行
五大星丸　六月廿八日
東崗丸　七月八日
●營口行
長順丸　七月三日
●阪神行營口出帆
長順丸　七月六日入港　七月九日出帆
大連汽船株式會社　電話番號代表四一八五番
專屬荷取扱店（大連敷島町）永和公司　電話七二七五・七八六八番
阪神航路專屬荷扱店（大連須磨町）澤山兄弟商會　電話長五二六五・四六八一

國際運輸株式會社大連支店
專屬荷客扱店（大連市山縣通）　電話三一五一番
大山通り列符發賣所　電七〇三四番
沙河口切符發賣所　東來洋行內　電話九五〇六番
二ホーム荷扱所　電話四八〇二番

日清汽船大連出帆

●青島、上海行午前九時出帆
唐山丸　六月
華山丸　七月四日
代理店　大阪商船株式會社大連支店　電話四一三七番
專屬荷客取扱店（大連市山縣通）國際運輸株式會社　電話三一五一番

社船大連出帆

●鹿兒島長崎行
南都丸　六月廿九日
●日本海行
千壽丸　七月八日
●青島大阪行
富士丸　六月廿九日
大連市山縣通一二九　栃木商事株式會社大連出張所　電話七四一八番

阿波共同汽船

●芝罘、威海衛、青島行
第十六共同丸　七月一日後七時
●青島行
第廿一共同丸　六月廿八日後七時
●芝罘、威海衛、仁川行
第廿六共同丸　六月卅日後七時
●鎭南浦行
長山丸
滿鐵とは貨物運絡取扱致候
大連市山縣通二〇〇番地　阿波國共同汽船會社大連支店　電長六八九一・五〇〇一番

島谷汽船大連出帆

●南鮮裏日本各港函館小樽行
鮮海丸　七月九日
大成丸　八月四日
●寄港地鎭南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、萩、境、宮津、舞鶴、新潟、敦賀、伏木、函館、小樽
●南鮮裏日本北海道樺太行
長成丸　七月廿四日
●寄港地　鎭南浦、仁川、釜山、舞鶴、敦賀、伏木、新潟、函館、小樽、大泊
●各等客室設備あり
島谷汽船株式會社大連出張所　大連市山縣通一五三
代理店　大三商會　電長四七一一・三四八二・六二三三

日本郵船出帆

●歐洲行
敦賀丸　七月廿一日漢堡行
對馬丸　八月廿五日漢堡行
だあばん丸　七月三日李浦行
でらごあ丸　八月三日李浦行
●紐育行
高岡丸　七月三日

近海郵船大連出帆

●長崎、神戸、大阪、横濱行
淡路丸　七月十一日
相模丸　八月一日
●横濱行
玄武丸　六月廿八日
相模丸　七月四日
勝浦丸　七月廿日
●天津、牛莊行
淡路丸　七月四日
相模丸　七月五日
勝浦丸　七月十三日
玄武丸　七月十八日
●基隆、高雄行
第二蓬老丸　七月三日

高橋汽船大連出帆

●芝罘行
大連芝罘間命令定期船
福壽丸　六月廿九日午後六時
●龍口登州府行
大連龍口安東縣命令定期船
海壽丸　六月廿八日午後六時
大連加賀町三〇
代理店　鹿玉軒記　電六一一七・三八五一

政記輪船出帆

吉地號　六月廿八日芝罘行
永利號　六月廿八日芝罘行
廣利號　六月廿九日威海行
增利號　六月廿九日青島行
英利號　七月一日汕泰行
廻安號　七月一日營口行
純利號　七月三日上海行
政記輪船股份有限公司　電話四一四一番

朝鮮郵船大連出帆

●青島、仁川行
會寧丸　七月四日
●仁川、長崎、鹿兒島行
羅南丸　七月十日
朝鮮線道各主要驛及本社各寄港地貨物受證發行
右汽船出帆日時は天候其他の關係により變更する事有之候
水路圖誌（海圖）販賣所
朝鮮郵船株式會社大連代理店
近海郵船株式會社大連代理店
キューナード汽船會社船客業務代理店
日本郵船株式會社大連出張所
大連市山縣通電話三七三九・七八四六番
專屬客荷取扱店　監部通（吾妻橋）丸二商會　電話四二四六・五八八八番

夕刊 滿洲日報 六月二十七日

榊原農場遮斷の北陵鐵道 今曉斷乎とし撤去決行

支那側の無誠意な態度に對し 租權擁護の非常手段

【奉天特電二十七日發】先月二十五日林奉天總領事より張學良氏に對し最後警告を發した問題の北陵行遊覽鐵道の榊原農場永租地侵害事件は一個月餘を經る今日に及ぶも何等支那側は誠意を示さざるのみならず却て其隣接地に停車場を新設し複線工事を施せる他萬一に備ふるため夜間は貨車二臺に武裝巡警約三十名を配して夜番看視せしめるに至つた、かゝる狀態に在つて事件は何時解決すべくもないため該農場主榊原政雄氏は最後の手段として該鐵道を撤去するに決し、二十七日午前四時十分人夫二十餘名を率ゐて現場に至りレール十本及び枕木ポイントをとりはずし、現場にあり貨車一臺を農場外に逆もどし枕木を以て鹿柴をつくりレールをその外に投げ線路を遮斷し鹿柴上に日の丸の國旗と赤色の危險信號旗とを交叉し、更に榊原農場と記せる立札をたてゝ引あげた、該農場を橫斷せる遊覽鐵道は約一丁に亘るが破壞作業中監視の支那巡警は全く傍觀してゐた、撤去後の現場は早朝より巡警東北大學生を初め多數の民衆が黑山となつてゐる(號外再錄)

鐵道撤去は 合法的 藤岡警務局長談

右問題に關して藤岡關東廳警務局長は語る

今朝、領事館警察の署員が萬一の場合を考慮して現場に行つたが全部歸つて來た、といふ報告に接しただけであるが、貴紙號外の通りであらう、榊原としては合法的に敢行したもので今後此の問題は我が領事館と支那側の交渉によつて解決されることゝなるであらうと思ふ

あらゆる不法手段にて 商租地の侵略を實行

先づ農場橫斷の堤を築いて 遂に鐵道を敷設す

この度の北陵行列車線路と榊原農場問題に關して事件の推移を簡單に見ると左の如くである、榊原政雄氏は嘗て奉天北陵一帶を正式に商租してゐたものである、この間に

支那側

はあらゆる不法手段によつてこの商租地の侵略を企圖し又實行するに至つたもので、即ち三年前この榊原農場の內一千八百坪の用地を無謀にも橫斷する堤をつくつた、これは郭松齡氏が航空所をつくる爲め北陵附近の鐵道延長が必要となつた結果のもので、當時日本側から幾度か嚴重なる抗議を提出したが、支那側は何等顧みる所がなかつた、

權利侵害を 數回抗議 我總領事館から

右に對し奉天總領事館に於ては我邦の正當の權益を擁護するの大局上の見地に基き昨年秋以來支那側と交渉を再開し昨年十月四日、本年一月十九日並に三月十一日附の公文を以て支那側の反省を求め鐵道用地に對し賠償金を支拂ひ本件を圓滿に解決せん事を要求したに拘らず其の都度何等誠意ある回答に接せざるのみならず支那側は更に回避線の引込みに依り我國の權利を二重に侵害するに至つた、此處に於て領事館は本年五月八日、五月廿六日、六月十五日附及六月廿五日附公文を以て前後四回に亘り支那側の處置の不法不當なる所以を指摘し賠償金の支拂を要求すると共に合せて支那側の滿足なる回答なき限り我邦の權利者側に於ては其の

正當の 權利を確保する

が爲め自ら該鐵道を撤回遮斷する事あるも領事館側に於ては之を差止め得ざる立場にある事を通告した、尙其の間榊原自身は平奉鐵路局に對し數回賠償金支拂方を懇談したが遂に承諾するに至らなかつた

一日奉天總領事を介して鐵道敷設軌條の撤回を嚴重に申込んだ、しかるに支那側は「租金不納に付商租權喪失」を名として頑として讓らぬので再び今年五月二十日奉天總領事の名を以て遼寧交涉署長王鏡寰氏に宛て左の如く嚴重に最後の抗議を爲した

「該農場を貴國が使用せるに對して相當の賠償なき時は自ら貴鐵道を撤去すると榊原氏は云ふがこれは本官も正當な理由としし差し止め得ぬから豫め御承知を乞ふ」

榊原農場百町步は 正當商租した土地

壓迫に堪へかねた支那人から 民國三年に轉租

【奉天特電二十七日發】榊原農場問題に關しては屢報の通りであるが之に關する今日までの經緯を詳報すれば左記の通りである、民國元年に支那人崔准生なる者當時の東三省督辦趙爾巽の保護の下に奉天省の

有力者

數名と共に溥豐農場公司を設立し北陵附近に於ける宏大なる土地の開墾に當つたが民國三年督辦が更迭するや新督辦は同公司に壓迫を加へ公司の事業は困難に立ち到り公司側では承租權全部を榊原政雄に轉租した、榊原農場なるものは右土地の一部で右の如く當初榊原の得た土地の權利は今日の同農場に較べ遙かに宏大なる土地であつたが、支那側との間に種々の經緯が起つた末支那側で之を他の農場と交換するの議を持ち出し數次

折衝の

結果土地所有の中百町步を殘し剩餘の土地は二三の交換條件と引換に大正四年支那側に返還した、右百町步の土地については其の後大正八年五月六日榊原の弟浦本政三郎名義で日支兩國間に認證を得即ち正當に商租された土地である

權利者に無斷で 鐵道を敷設

大正十四年から起工

支那官憲は不法にも大正十四年中皇姑屯驛から三豪子に通ずる鐵道敷設の爲め權利者の承諾を得ず無斷で同農場を橫斷して敷設工事を進めた、當時日本側に於ては權利者と共に支那側に抗議し使用土地に對し相當の保償金支拂方を要求したが支那側に於ては何等滿足なる回答を與へず爾來交涉行惱みとなつて居た所、本年度四月中支那側は更に其の隣接地に停車場を建設し同農場內に回避線を引込むに至つた

支那側詭辯を弄し 我租權を取消さんとす

支那側に於ては本件に關し榊原は租金の納附なき爲め榊原の商租權は數年前に消失して居ると主張して居るが、本件商租契約中には租金不納の場合に租權を取消すべき

條項が

ない、しかも大正十三年七月奉天總領事館に於ては榊原の依賴に基き公文に大正十三年迄の租金として奉小洋五千二百四十元を添へて支那側に送附し交涉署から七月十八日附を以て

領事館へ領收書を送附して來た、其の後右金圓を返還して來たので領事館員の面前に於て支那側から送附して來た領收書及び其他の關係書類を閱覽した事實もあり尙右金圓は今日迄總領事館に保管して在り支那側では右の經過に關する記錄が缺除して居る爲め日本側より金圓を受領したに拘らず之を返還した事實は全然ないと

主張し

てゐる、また支那側では右の如きは確實なる根據があつて始めて主張し得るものであると云つて居るが右租金の返還は奉天總領事館の記錄に存在し居る

り交涉署の係員は領事館に於て面喪失の一理由に數へて居るが事實は大正三年當時の交涉員于仲漢、水利局長顧成事が榊原に對し同人の租借地中從水用地の提供を懇請した爲め榊原は水利費の免除及提防の完全なる築造を條件として支那側の申出でに

承諾を

與へたものである、從つて支那側は水利費を要求する權利は全然ないわけであり、支那側は當時の約束に反し堤防の築造を完全にせざる爲め大正三年以來堤防の破壞溢水頻出し榊原農場に損害を及ぼした事が數回に上つて居る

誠意なき 支那側

要するに支那側は契約の規定なきに拘らず租金の一時的滯納を口實として殊更に一方的に契約を破棄せんとするものと云ふ可く圓滿解決の誠意なき事は疑ひなき所である、右の如き情況にある以上之は單に一榊原のみの問題と認むるを得ず延いては我邦の權益全般に影響を及ぼすべき重大なる點に鑑み權利者たる榊原が自己の權益を確保する爲め鐵道を自ら遮斷せんとする以上は奉天總領事館としては差し止め得ざる立場に在るので別に榊原の行動を阻止する措置に出でなかつたのである

日支兩國間の解釋

支那側の主張する「地租怠納」で 權利は喪失しない

さてこの事件の起因に就いて、日支兩國間の解釋を吟味して見ると何人の目にも支那側の不法行爲は明瞭に看取される、即ち

一、支那側は商租權を民法物權法中の地上權と强いて混同し地上權が三年以上地租を納入せざる時はその權利は消滅すると云ふことを引用して榊原農場に當て嵌めたこと、これは勿論大きな間違ひであつて商租權は民法物權に屬する地上權の如き薄弱なる性質のものでなく、三十年の期限に至れば無條件更新となるものではあるが、一つの永久權利である、そして支那側の云ふ地租怠納によつて權利を喪失するものではないと云ふ結論である

二、而も榊原農場側の言分に依ると支那側の地租怠納と云ふも事實は大きな扞格あり、この問題となつた租金は大正五年榊原氏が第一、第二農場交換の際支那側から榊原氏に交附すべき一萬圓と相殺する約定ありしも、商租契約準備を條件として留げて便宜上榊原農場は大正十三年迄の租金奉小洋五千二百四十元を支那側に納めたる所、支那側は一度受理したる後、之を返還したと云ふのである、この邊り支那側の榊原農場に對して商租權取消の口實を得ん爲めの手段と見られてゐる

以上第一、第二の理由から見て支那側の執つた態度の不法は明瞭なものであつて、榊原農場の自己取得の權利擁護方法として今朝執つた態度は合理的であると見られて

自力に

よつて撤回する用意を整へた、既に支那側と日本側との間には言葉による交涉は頓挫して「力」による解決以外には殘されて居なかつた、俄然今二十七日午前四時十分榊原氏は日本人人夫を督して支那鐵道を撤回し日の丸の國旗と、赤色危險信號旗を揭揚するに至つたのである

更に今年に至つて瀋海鐵路局は北陵遊覽鐵道の企圖を名として、この堤の上に鐵道を敷設したことであり、榊原政雄氏は

この間

東奔西走この不法事件を述べ、改めて今年三月十

かくて榊原氏としては斷乎として支那鐵道を

英國新議會 開會

【ロンドン二十六日發電】英國新議會開會され嚴肅なる儀式の裡に下院新議員は皇帝に對する忠誠の宣誓をなした、右宣誓は議長キャプテン、フイツロイが第一番に行ひ次で內閣に列せる下院議員マクドナルド首相が行つた

榊原農場內の鐵道 —下は同農場と附近の略圖—

張學良氏に 公文を提示す

奉天總領事館より

【奉天特電二十七日發】榊原氏は別項の如く鐵道の遮斷工事を實行し其旨奉天總領事館に報告した、この通報に接した總領事館では左の如き意味の公文を本日午前九時半交涉署員の手を經て張學良氏に宛提出した

榊原から本朝北陵遊覽鐵道遮斷工事を實行した旨の通報に接したが、右は前々公文をもつて注意した通りなれば本問題解決を見るまで今後再び鐵道敷設等のことをせざるやう諒解を乞ふ

不戰條約の 御批准奏請

今夕聲明書發表の筈

【東京二十七日發電】田中首相は二十七日午後一時半宮中に參內天皇陛下に拜謁仰付られ不戰條約御批准の件を奏請御裁可を仰ぎ更に內田顧問官の辭表を執奏したる後政府の態度に就いて奏上御下問に奉答するところあつたが、政府は不戰案に關し廿七日午後四時頃聲明書を發表することゝなつた

不戰案通過で 米國政府滿足

【ワシントン二十六日發電】日本の樞密院が不戰條約案を可決したとの報導に接した米國政府當局は感謝の意を表した、殊に國務卿スチムソン氏は

未だ公電はないが余は此の報導に接し一安心した、余の前任者ケロッグ氏も之れを聞いてさぞ喜ぶであらう

と語つた

慰留運動を 內田伯拒絕す

如何ともなし難い、と

【東京特電二十七日發】田中首相は二十六日午後五時倉富議長を訪ひ不戰條約案通過の謝意を述べ內田伯の辭職問題につき懇談を依賴したが更に二十七日午前十時小川鐵相をして內田伯を私邸に訪問せしめ政府の所見を披瀝し極力慰留を懇請せしむるところあつたが內田伯は之に對し事茲に至つては如何ともなし難いと之を拒絕した

田中床次の 會見延期

懸案解決まで

【東京二十七日發電】田中、床次兩氏の會見は廿七日行はるはずであつたが內田顧問官の辭表提出もあり政府はこれが善後處置につき考慮を要し且滿洲事件の發表もなほ一兩日を要するものゝ如くかたぐ床次氏との會見は之等懸案解決まで延期されることゝなつた

責任者の 處罰理由

皇姑屯事件

【東京二十七日發電】皇姑屯事件に關する警備上の責任者として水町獨立守備隊司令官、河本前關東軍參謀が處罰さるゝことゝなつたが、水町司令官の處罰理由は滿鐵京奉兩線クロスに支那兵の配置を許可した處に在り河本大佐の處罰理由は水町司令官が軍司令部に對し支那兵の配置許可につき問合せたる際大佐が村岡軍司令官の命を待つ暇なくして軍司令官の名を以て許可の指令を取扱つた點に在る模樣である

なほ滿洲獨立守備隊司令官の後任には朝鮮軍參謀長寺內壽一、獨逸軍事調査委員長井染祿助、獨逸大使館附武官大村有隣の三少將中より選補さるべく、又村岡軍司令官が右處罰と同時に辭職せば後任には第一師團長畑英太郎中將が親補される筈であるといふ

高級社員の 特別賞與金協議

けふの滿鐵重役會議

松岡滿鐵副總裁は二十七日午前八時半岡、齋藤、田邊の三理事および木村人事課長を星ヶ浦の總裁別邸に招致し重役會議を開催した、會議の內容は時節柄職制改正に關する事實はかねて噂するものゝ如く初め高級社員に支給される特別賞與金について打合せられたものであつて職制改正などは全然議題に上らず、該改正案は總裁副總裁間に決定を見てゐるので今更重役會にかける必要はないものゝ如くである

政友會の不平 組納まる

【東京二十七日發電】新警視總監長岡隆一郎氏の任命に關し政友會東京支部で不平を生じ脫黨騷ぎまで起したが其の後秦豐助氏の斡旋で態度緩和し結局長岡新總監の配

下入黨で圓滿解決を見る模樣である

教育記念展は 旅順で開催

南滿洲教育會では九月廿二、三の兩日盛大な創立二十周年記念會を催すことゝなつてゐるが、記念展覽會開催方法について二十六日午前九時半から旅順第一小學校に於て各關係者集合の上具體的協議を遂げた結果會場を旅順福市街第一小學校に決定した

檳桑兩驅逐艦 教練運轉

第九驅逐隊檳、桑の兩艦は二十七日早朝出航、港外で壯烈な教練運轉を行ひ同夜は蛇城島附近に於て戰時航海訓練を爲して島に假泊し二十八日午前中に歸航する筈である、なほ兩艦は七月一日旅順を出航し渤海、芝罘、龍口、太沽方面を巡航、太沽に於て第二遣外艦隊の巡洋艦木曾と合し同方面警備中の艦隊軍事行動を視察しつゝ各種の戰時訓練を行ひ、同十三日木曾と共に旅順歸航の豫定である

食牛と緬羊 品種改善

米國から種畜を輸入

滿鐵農事試驗場では從來蒙古牛の改良に關して搾乳牛乃至は增殖率が主眼と、れつゝあるも消費者側としては食用牛の改良が要求されつゝあるに鑑み土着種が古牛の比較的體格小さく一方成熟期も晚き點を改良することゝなり今回北米加奈陀、コロラドキヤンサス地方産短角種牛を購入する爲め七月中旬同試驗場畜産科長香村岱三氏を渡米せしめるが同時に緬羊事業たる蒙古羊改良のためメリノー種羊三百頭をも輸入し蒙古方面の各種羊場に配屬する豫定であると

津上滿研理事辭任

滿蒙研究會常任理事津上善七氏は今回理事及評議員を辭職した

辭令 【東京廿七日發電】

領事 中川鎰雄

命齊々哈爾兼勤

人事

▲菱田靜雄氏(滿鐵囑託) 廿七日入港うらる丸にて歸連

▲杉野耕三郎氏(前大連市長)同

▲今津十郎氏(大連商業銀行頭取)同上

▲山科長之助氏(相撲協會檢查役)同上來連

▲鈴木享氏(海軍二等主計正) 軍需品方面の需供關係調查の爲同上來連

大觀小觀

◇正當な主張の貫徹と、懸案の合法的解決のために、脫線鐵道が取拂はれた。

◇謂はゞ支那側の過誤を矯正する親切心から出たものである。文句のつけ處は無い筈。

◇不戰條約問題の圓滿解決の犧牲と思へば、內田伯の辭職も多少意義がある。

◇「疾風迅雷」の宣傳は頻りに行はれてゐるが、改造の斷行は梅雨空のやうだ。

◇馮、閻互に外遊の宣傳に忙しきも、旅裝を整へた模樣なしといふ。

◇實、滿兩チーム相ついで敗れ、後援者悄然となる。しかし負けることも必要ではある。

天氣豫報

今晚 (曇り) 南東の風 驟雨模樣

明日 (曇り) 南の風 後晴れ

廿八日 日出四時廿九分 日沒七時廿三分 滿潮前一時卅五分 後二時十分 干潮前七時卅五分 後九時

播磨町殺人事件の第二回公判開かる

涙で傍聽の蔣氏遺族人目を惹く

けふ大連地方法院で

去る一月七日大連亡命中の元山東銀行總辦蔣有琛殺しの犯人川崎力、秋田秀道、西島勝世、吉田武、柿沼宗則、田中幸に係る强盗致死、强盗致死未遂および小林ハル外數名に係る犯人藏匿、醫師法違反等、所謂播磨町事件第二回公判は二十七日午前十時より大連地方法院第一號法廷に於て森本裁判長、長島、川畑兩判官かゝり池内檢察官干與、齋藤、大内、河内山、竹田、渡久山、相川、五十村、古賀、寺島(穎)各辯護士立會の許に開かれた傍聽者は例によつて滿員、被害者蔣の遺族が當時を追想して絶えず涙を拭ながら傍聽してゐるのは特に人目を惹いてゐた

激しく突込まれ遂に泥を吐く

證據湮滅犯人藏匿の 小林ハル

前回に引續き裁判長は證據湮滅犯人藏匿の小林ハルより審理を進めたが、ハルは裁判長よりの審問に對し娘ハナと同居してその扶養を受けてゐること並にハナと川崎の關係を述べた後、丁度川崎一味が蔣有琛の邸宅に乗り込んで兇行を演じた當七日の夕方ピストル三挺を杉浦春之輔に持參した事實に移り「誰から頼まれて持つて行つた」と訊かれ

最初の 程は言葉を濁してゐたが、激しく突つ込まれて當日銃砲屋の店員が來て川崎に貸してある拳銃を返して貰れろと迫るので變だと思ひ二階に上つた處が机の上に一挺、戸棚の中に二挺あるのを發見し危險だから自分勝手に預けた方が好かろうと思つて預けた」と答へ、更に八日の夕方川崎の支那服一着、同洋服一着を

風呂敷 に包んで同棲杉浦方に預けた旨を述べ

これ等の品物は播磨町事件の證據品となるので、有つては川崎のため不利益になると云ふ見解から預けたではないか

それを向けられたがこれを否認、兇行當日及び前日の川崎の行動に關し柔順に申し立て「同日午後五時ごろ大連署の刑事が川崎を尋ねて行つた時お前は朝から午後三時まで何處へも出ないで家に居たと云つたさうだが何故ソンナな白々しい嘘を言つた」と責められ

川崎から出掛けの時若し警察から尋ねて來たら午後三時まで何處へも出ないで居たと云つて貝れと頼まれたものですから……と泥を吐き傍聽者をクスく苦笑させてゐた

證據湮滅を否認

主犯川崎の情婦ハナ

審理は更にハルの娘藝妓三光事ハナに及ぶ、裁判長より「川崎とは何時から關係した」と擱手からチりく詰め寄せられ耳朶を眞ツ赤にさせ聲を落し乍ら「昨年の八月ごろからだと思ひます」「別に夫婦約束でもしたと云ふ程でもないのか」「さやうであります」「正月は元日からズツと

滯在し てゐたか」「滯在して居りました」いよく犯罪事實に移り

八日の午後お前は金指環一個、ヒスイ一個を鈴木元次郎に預けたと云ふが本當か

と訊かれこれを認め「その指環は何うした」追及されたが「七日の午後二階に上つた時見ました」とトンチンカンの返事を爲し「曖昧な事を言ふな」と一喝され「ソレは廿七日の午後川崎が歸つた時受け取つたと違ふか」と突つ込まれ「いえ違ひます二時頃柿沼と川崎が話してゐたその時見たのですが、警察の人がぞろく來るので

川崎に 關係ある品物ではないか、係り合ひになつてはならぬと思ひ鈴木に預けました」と言ひ遁れ、八日夕方川崎の支那服一着と洋服一着を杉浦に預けた事實は母親同樣認めてゐたが、川崎が犯人たる情を知りその證據として湮滅せんとした事は否認してゐた。ついで杉浦以下の審理に移り正午閉廷午後一時より續行の筈

寫眞 (上)吾妻旅館に打寛いだ國學院大學野球部選手 (下)全大阪柔道軍(けさうらる丸で)

初のお目見得 國大野球部來る

けふの「うらる丸」で

國學院大學野球部は明大留守軍に次ぐ滿洲遠征野球團で部員十八名は部長津大防教授に引卒され廿七日入港のうらる丸で來連した、一行は明大對滿倶の第二回戰の戰跡を氣にしながら「あはよくば…」の野心勃々としてマネージャー鎌田君、主將正木君等が交々語る

本大學がこちらに來るのは今回が最初です、この春の

成績は 五分五分で今來てゐる明大留守軍には二對一で敗けてゐます、帝大には勝ちましたが、慶應、早稻田にもまけました、だが大連に來る前に大阪で二ゲームしましたが、幸ひ全勝しました、滿鮮遠征の日どりは判然としてゐませんがこちらでは滿倶の中澤氏がやつて下さる筈です、豫定では廿九日對實業戰を皮切りに八日間滯連…轉戰するつもりでゐます

なほ一行は上陸と共に吾妻旅館に投宿した

先年の雪辱戰に意氣物凄く

大阪柔道軍けふ着連

期待されてゐる全大阪と全滿洲の柔道試合は愈來る卅日擧行されるが、廿七日入港うらる丸で鬪志に燃える全大阪柔道軍一行廿三名が來連した、監督としては大阪柔道有段者會幹事竹村茂孝氏、武道專門學校教授田畑昇太郎氏がこれに當り必勝の意氣物凄いものがある、田畑、竹村兩氏は交々語る

柔道の 團體でこんなに色々な種類を集めて來滿したのは初めてだらう、學生チームと違つて面白い顏觸で南海電車の社員もをれば學生、藥劑師、警官等も居る、何れも滿洲は初めてで試合後は奥に廻り朝鮮經由で歸らうと思つてゐる、恐らく勝味は滿洲軍にあるであらうが大阪軍としては一昨々年の雪辱戰でもあるし敗けられない試合である、滿洲軍も今年は新進氣鋭の

鬪士を 得てゐる事だからこちらでは飽くまで眞正面からぶつゝかる心組で居る

一行は顏なじみの滿洲柔道選手に迎へられ一先づ東郷旅館に落ちついた、尚午後一時社員倶樂部においてメムバーの交換を行つた

電報用タイプライター增加

遞信局では電報受信方式改善のため、現在大連、奉天、長春、安東、旅順及び撫順の各局に電報用タイプライターを交付使用せしめてゐるが、右使用の結果は單に受信能率が著しく增加するのみでなく從來の手書受信の如く誤讀又は難讀に苦む樣なことがなく一般からも非常に喜ばれてゐるので、今般更に右タイプライター約八十臺を新に購入し營口、鞍山、遼陽、鐵嶺、開原、四平街、公主嶺等の各地局にも交付使用せしむることゝなり目下遞信局にて交付方手配中である

滿蒙驛傳競爭豫想投票

一等賞のオートバイ受領

本社主催の滿蒙鐵道驛傳競爭所要時間豫想投票に二十日二時二十二分三と見事適中したのみか抽籤によつて幸運にも一等となり全滿六萬の應募者から羨望の的となつた還暦の老媼大石橋の山尾マツ刀自さんがうけるオートバイ(英國製マッチレス號)は二十七日午前十時本社前庭に於て令息泰助氏の友人南滿電氣上市氏が代人として受領した(寫眞はオートバイに乗つた上市氏と武田白班長(右端)臼井總務部長(左端))

グルーバー氏送別宴

滿鐵では鐵道調査のため來滿中であつたグルーバー氏を二十七日午後七時半から滿洲館に招待し慰勞送別の宴を催すことゝなつた、尚グ氏研究調査の結果は近く發表を見んとする滿鐵の職制改正の上に相當力强いものとなつて現れるであらうと

漁港の設置 未だ具體化せず

複雜な調査を必要とし目下なほ攻究中

滿鐵が昨年來大連將來の漁港設備に就いて關東廳清水技師及び農林省技師橋博士等を囑託として調査を進めつゝあつた所謂漁港築造計畫に就き、昨今一部に急速な具體化説が傳へられてゐるが、本問題は例の牛肉、果實、野菜、冷藏庫新設計畫とも密接な關係を有し右設備豫定地等は未だ確定し居らざる模樣で、滿鐵田村興業部長は右に就き左の如く語つた

昨年九月滿鐵では漁港としての大連の將來に就て根本策を樹立する必要上橋博士に依頼して調査研究を乞ひ、專門的意見の報告を受ける事になつてゐるが、博士歸任後未だ報告書を作製中である、從つて當方としては何等具體化してゐないが、本計畫は非常に複雜な調査を必要とし將來大連港が漁港として附近及び奥地市場、南支方面其他内地市場との關係を考慮する傍ら水產物加工地として又輸出港としての設備も研究しなければならず單純早急には具體化しない

密航少年送還

【サンフランシスコ廿六日發電】最近當地入港の太洋丸の船底にひそみ密航を企てた日本少年瀬戸安資(一七)は來る七月三日出帆の同船で日本へ送還されることゝなつた

七ツ道具を持つ大泥棒捕へらる

南滿一帶で三萬圓稼ぐ

沙河口署では過日來一支那人を取調べてゐるが、右は昨年小崗子署の留置場を破りて逃走した王奇漁の從兄王士福(三二)といひ、目下嚴重吾兒宅を初め數年から引續き星ケ浦で四十件、その他老虎灘、周水南關嶺、奉天、旅順等の裕福な外人邸宅のみを襲ひ、今までに判明した分だけでも既に三萬圓のものを竊取してゐる、王は常に七つ道具を所持し居り、なほ多數の餘罪ある見込みであるが係官の取調べに對し頑强に抗辯して手古摺らせてゐる

寄附電話申込調査

大連、奉天、撫順各地を除く本年度の寄附開通電話の申込み四百十二個に對する受理については豫て當地遞信局に於て審査中のところ鞍山は豫想外の多數申請者を見、此の全部が事實健實な申込みであるか否か調査を要するので此分を除き他の各地の分三百六個に對して調査を完了全部受理決定の通牒を發した尚鞍山の分も實際に必要あるものは可なり採納する方針であるが不確實の申込みに對して採納することは開通後の電話維持上に支障を來す慮れがあるので當局は之が調査に苦心してゐる

明滿決勝戰

あす午後四時擧行

一勝一敗となつた滿倶明大の決勝戰は明二十八日午後四時より滿倶球場に擧行されるが、滿倶は二回戰に些か調子を下して慘敗した關係上ベストメムバーをもつて必勝を期すべく、明大は滿倶との一戰に勝てば鮮滿全部のチームを倒したことゝなるのでこれまた最後の努力をなすべく、この決勝戰こそ最も見ものであらう、因に明大軍は二十九日出帆のうらる丸で歸京すると

わが婦女子九名を福建省山奥に誘拐

福州日本總領事館でやつと救出

近く内地へ送還する

【上海二十六日發電】福州日本總領事館では福建省福清縣の山奥に誘拐され支那人のため虐待されつゝある日本婦人多數有る旨を聞き込み、支那軍隊の應援を得て同方面に乘込み苦心の結果九名を救出し本日當地に送還して來た、同人等は内地に行商に來た支那人に欺かれて來たもので奥地では牛馬同樣の酷ひ目に遭はされてゐたものである、それ等は目下當地總領事館警察部で保護を加へ二十九日出帆の[illegible]丸で日本へ送還する筈であるがその氏名左の如し

澤田チエ(二〇)愛媛縣、石川タキノ(二一)愛知縣、越田トキ(三七)金澤市、其の子守松(五)淸水ミツ(三七)福島縣、其の子マスエ(一二)健三(九)生駒ツナ(二四)青森、其の子千代(二)

十五娘が船の薩摩守

少し氣が變

十五の娘が船の只乘り、但し氣が少々變だといふ困つた代物が廿七日入港のうらる丸で運ばれて來た……美しい容貌に飛白の單衣を來て手に果物籠を提てキヨロキヨロしてゐる娘を門司出帆後船の事務長が發見し色々問ふと「妾は福岡縣福岡市若松市の鐵力屋をやつてゐる叔父の家に子守として雇はれてゐる近藤後子(一五)と云ふものだが、實父の死去後叔父さんがあまりひどい仕打をするので大阪の親戚宅に逃げ歸らうと船に乗つたものです」と申し立てたが、懷中無一文、やむなく大連入港と共に水上署に引渡したところ、擧動言語にあいまいなところがあるので一先づ保護する事となつた

内田魯庵氏

危篤に陥る

【東京二十七日發電】今春一月輕微な腦溢血に罹り病床に在つた文壇の耆宿魯庵内田貢氏は二十五日夜突然意識不明となり昏睡狀態に陥つた病名は精神過勞に依る動脈硬化症で六十二歳の高齢である

居眠運轉手營業停止に

去る十五日午後十一時半居眠りしてゐて馬車に打衝けた春日町稻妻タクシー自動車運轉手李弘求(二〇)は二十七日付向ふ一週間の營業停止處分に處せられた

大汽新航路披露

大汽天津支店は今度天津青島上海の直通定期航路開始の披露と新造船江安丸紹介のため廿二日午後六時折柄の滿月を機會に日本側新聞記者外人新聞記者に關係各方面の人士を江安丸に迎へ白河を運航しつゝ觀月の淸宴を張つた

ボーイ拐帶逃走

市内臺山屯西臺山前二五番地居住前山東省淡安縣道尹安靜山(四五)方ボーイ白連永(二二)は二十五日午前八時主人の命を受け中國銀行小切手大洋二百七十圓を受取りに行き其儘拐帶逃走した事判明二十六日沙河口署に屆出た

自動車事故

二十六日午前七時過ぎ臺山屯西臺山東張英華氏邸前路上で沙河口雲遊タクシー運轉手劉煥深(二二)の自動車が驢馬を曳いて歩いてゐた小平島高洪恕(三七)に衝突し顏面その他に三週間の傷を負はせた

河合家慶事

市内浪速町近江洋行本店の河合義雄氏令息義太郎氏と恩田熊壽郎氏令孃はる子孃との結婚式は廿六日午後二時大連神社に於て擧式午後六時よりヤマトホテルで盛大な披露宴を張つた

南船北馬

◇…大連のヤマトホテルから最近當地へ社交ダンス踊り子の註文があつたとやらで一部有志はこの際哈爾賓の上品なダンスを大に紹介しやうといふので目下日露上流家庭のダンサーを物色中であると【哈爾賓發】

◇…ビルマアラカン縣は最近豪雨降り續き各所に大洪水起り數ケ村水中に沒し流失家屋五百戸、溺死家畜一萬頭、衣食に窮するもの一萬五千家族に達し總損害百五十萬留比の見込みである【ラングーン廿六日發電】

◇…ベルリンの萬國婦人參政權大會に日本代表として出席した北村カネ子女史は同大會最後の本日獨逸語で演説した、なほ女史は獨逸議會議長レベ、前駐日大使ゾルフ博士の肝煎りで當市の招待會に列した【ドイツフランクフルト廿六日發電】

平安異香（32）

葉多默太郎作　中一彌畫

處女受難（一）

水のやうな冷氣を面に感じて、おつねはうつすらと目を開けた。と、その眼に映つたのは茅の屋根だつた。苫葺の屋根が、おつねを抱き伏せるやうに低くかぶさつてゐる。

「おや、この屋根動いてゐるよ」

おつねが胸で呟いた時に、耳元でチヨロ／＼と鳴るものがある。

「水の音――おや、舟だよ、こゝは」

うつとりした眼を屋根からすべらせると、パツと開けた曠漠な視界――それはたゞ一面の乳色だつた。が、混沌とした精氣が次第に落付き、意識がはつきりして來るにつれて、乳色に濛々と烟つてゐるのは、夜の明け方前の朝霧で、舷にサラ／＼と鳴るのは芦の葉擦れ、したがつてこれは淀川の川舟だらうと思はれた。

「おかしいね。あたしはこんな舟に乘つて、何をしてゐるのだらう？」

思ひ出さうとして頭を振つたが、どうしたものか、物を考へようとすると、目が眩んで來て、反對に深い深い眠りの底へ、ズン／＼落ちて行くやうな氣がするのだつた。

「おかしいね、あたし、どうしたんだらう？」

心細くなつて、精一杯目を開けてゐようと頭を振り／＼瞬をしてゐると

「あゝ、氣がついたやうだ」

突然、直身の近くで人の聲がした。驚いて頭を振向けると、一人の青年が、氣遣はしさうに眉を顰めてゐるのだつた。

「あゝ、そんなにしちやいけない。靜かに、靜かに、じつとしてゐらつしやい」

「あら、あなたはどなた――？」

「まあ少時さうしてゐらつしやい。靜かにしてゐらつしやい」

青年は微笑みながらさう云つて、炭火にかけた湯沸かしから、熱い湯を汲んで飲ましてくれる。

「まあ、親切な方。それに隨分いゝ男だね」

もとより口には出さない。默つて男を見てゐるのだが、見れば見るほど惚々する男振だ。年は二十二三、額が濶くて、鼻筋が通つて、口もとが凛としてゐて、頸が上品で、髪が黒くて色が白くて、それで、憎らしいほど澄んだ眼をして、微笑むと、吸ひつきたいやうな靨ができる。

「なんていゝ男だらう憎らしい。だが似てゐるよこの人、お邸の若殿樣に」

おつねが連想してゐるのは勸修寺家の長男邦貞である。が、似てゐるのは顏でなく聲でなく、全體から受ける感じだ。鷹揚で、それでゐて叮嚀な物の云ひぶりや、無頓着な座り方や、人に開け放した樣子などが似てゐると思つたのである。

おつねは口を利いてみた。

「あの、あなた樣は大學寮の學生さん。さうですわね」

果して案の定だつた。若者は吃驚したやうな眼をして云つた。

「えゝ、さうです、さうです、しかしよく分りますね」

「そりやもうあたしには、何でもちやんと分つてしまふのですよ。濟みませぬがお湯をもう一杯、頂戴な」

「あゝ、いゝですとも。――然しすつかり元氣になつちまひましたね。心配したんですよ。頭は痛みはしませんか」

「頭？あたしの？」

「えゝ、頭です。少し怪我をしてたやうでしたが」

おつねは肉から腕を出して、頭を探つてみた。そして頭を手拭のやうなもので括られてゐるのを初めて知つた。チク／＼痛むやうだ。

「まあ、あたし、どうしたのでせう」

「知らないのですか少しも？ぢやつぱり全く正氣を失つてゐたんだ。――君、靜かに昨夜のことを考へて見給へ。思ひ出してみ給へ昨夜枚方の五位の宿で何か間違ひがあつたのぢやないですか」

「五位の宿、あゝ五位の宿！」

思はずおつねは叫んだ。忽然胸に浮んだのは昨夜の不思議な出來事だつた。

壯絶極まる 海洋劇 流血船の梗概

本社主催で二十八日夜協和會館で「メトロポリス」とゝもに封切するコロムビア映畫「ブラッドシップ」（流血船）八巻は海洋劇の第一人者ホーバート、ボスウオースの主演で壯絶な復讐劇でその梗概は左の如くである

太平洋の海上に魔の如く浮ぶ怪船ゴールデン、ボーフ號の船長スウオプは新嘉坡から桑港に至る七つの海にかけて知られた慘忍極まる冷血漢で海員はその酷使に堪えず入港する毎に脱走するのであつた、丁度船が桑港に着いた時下級船員が全部脱走したのでスウオプは浮浪人を誘拐して補充せねばならなかつた、その中にニユーマンと稱する年齢の偉丈夫が居た、彼は十五年以前にボーフ號の船長であつたが、スウオプを過信した爲め愛妻と可愛い娘を船に殘して囹圄の人となつた、そして靑天白日の身となつて桑港に來て仇敵スウオプが時めくボーフ號の船長として彼の愛妻を死に至らしめ娘を監禁して暴威を振つてゐたそしてその眞相を知るまで彼はスウオプの命令に忍從したが遂に奮起してスウオプを倒して父と娘はなつかしい名乘りをして再びニユーマンは船長となつて母港のサンフランシスコに歸るといふ海洋劇である

淺野童踊大會

滿鐵社會課主催の下に沿線各地を公演見學旅行中の淺野童謠民謠舞踊研究生一行は各地とも大成功裡に豫定の旅程を終へ廿八日歸連し廿九日午後七時半から協和會館に於て大連滿鐵社員俱樂部、大連高等音樂學院舞踊科主催、滿鐵社會課後援の下に童謠舞踊大會を催す會費は大人五十錢學生小人三十錢一般七十錢であると

明晩の「メトロポリス」封切會は大山峰月君が「メトロポリス」松葉詩郎君が「ブラッドシップ」を擔演するが臺本だけでは物足りないと世界大衆文藝全集を買込んで、原作から勉強してゐる▲帝國館では七月一日から阪妻の「赤城颪」と傳明の「大都會」を組んで優秀番組を誇つてゐる▲演藝館では次週五月信子主演の小澤プロの作品「ラシヤメンの父」を上映▲ゆふべ「メリケン波止場」を試寫したがコスチユームプレイで面白い南支那のセットが出て來る▲淺野童踊大會のお名殘公演に藥師周策氏の作歌が樂童氏の作曲で發表されるとのこと

◇◇人造人間の創造◇◇「メトロポリス」の一場面でロトワング博士が實驗室で地下街のメリーを硝子管に入れて電力の交流で人造人間にメリーの風貌を扮飾してゐるところ

滿洲日報

精査委員會決定通り 不戰條約案を可決
内田伯遂に辭表提出 政府の責任論起らん

【東京特電二十六日發】不戰案御諮詢の樞密院本會議は夕刊所報の如き經過を辿つた後午後再び聖上陛下の臨御を仰ぎて質問及討論に入り結局三顧問官の反對あつたのみで精査委員會決定通り政府の宣言附原案を可決したので此に不戰條約は其の効力を發生すること丶なり帝國政府は近く中外に聲明すること丶なつた、但し之に伴ひ内田伯の辭職あり政府は之に無關心であるが世論は漸く沸騰しやうとしてゐる

内田、櫻井兩顧問官 極力原案を支持す
結局反對主張者は僅かに三名 本會議論戰の内容

【東京二十六日發電】樞府本會議は二十六日午前伊東精査委員長の報告あつた後、質問に入り劈頭

八代六郎男 政府は憲法上妥當を缺ぐと言つてゐるが之は憲法に牴觸すると言ふこと丶政府は之を認めるか

田中首相 此の字句を以て憲法に牴觸するとは認めない

前田長官 問題の字句は人民の代理又は代表と云ふ如き權能を意味することゝせば憲法違反と云ふ說も出て來るが政府は左樣な考へは有せぬ、然し世間では種々の議論あり國論統一の意味を以て本案を提出した次第である、而して憲法上牴觸すと云ふ說あることも事實であり又しないと云ふ說の有ることも事實である斯くの如き議論ある以上不戰案の如き國民一致を以て支持すべき案に對して問題の字句は妥當を缺ぐと考へ本案を提出した次第であるが妥當を缺ぐと云ふことは廣き意味に於て憲法に牴觸するとも解せられてゐるやうであるが夫れは解釋者の見解に御任せする

八代男 斯くの如き宣言書附の條約は米國が同意する確實なる見込みを有するのであるか若し同意せざる場合は事重大と思ふ

田中首相 此の宣言は條約を修正したり又は削除するものでない即ち條約の變更でないから米國も無論異議なしと思ふ

内田康哉伯 自分は人民の名に於ての言葉は代表とか代理とかに解釋すべきものでなく人民の平和を愛好する心持を押して現はしたものであると信ずる次で問題の字句が憲法に違反するとは絶對に考へない、伊東委員長は委員會に於ける其の報告に關し如何なる考へを持たれてゐたか

伊東委員長 該字句を人民の代理又は代表と解すれば憲法に牴觸する

櫻井錠二氏 問題の字句を「人民の名に於て」と解釋するよりは「人民の爲めに」とするが適當である政府は斯樣な宣言附の條約案を批准奏請せず只右の解釋を政府の聲明書だけとして發表すればよいではないか、即ち自分は毫も憲法違反と考へぬ政府の所見如何

田中首相 「人民の爲めに」と解して種々の議論を生じたから政府は寧ろ「人民の名に於て」と直譯して宣言を附し國論を統一したら良いと考へたからである

之にて正午休憩、午後一時四十分再開午前中の質問に對して

櫻井顧問官 政府の苦心はよく察するが斯かる手續を爲さず寧ろ反對論を善導したらよかつたと思ふ

石黒忠悳子 「人民の名に於て」と云ふ事は如何なる意味か政府の說明以外に意味を有するか

前田長官 問題の字句に就ては種々學說あり「人民の爲め」「人民の利益の爲め」「國家の爲め」等の解釋もある然し政府は直譯して「人民の名に於て」としたのである

江木千之氏 政府は委員會の報告に贊成するや否や

田中首相 贊成する者である

石井菊次郎子 インザネームス云々の言葉はアメリカで行はれる民主々義的の言葉であつて斯かる文句は我國の憲法を傷くる惧れあるものと思ふ

久保田讓男 本條約は實質的、形式的との二樣に問題がある即ち實質的に戰爭を放棄することは極めて重大なる事と思ふ然るに本席上に於ては實質上の問題につき何等意見を聽く事が出來ぬ、然し日本のみ本條約に加盟せぬと云ふ譯には行かぬから贊成する外はない、而して形式上からは憲法に牴觸すんと云ふが之は文字の末の事で如何やうにも解釋し得る、顧問官の中にも夫々異なる意見があり憲法專攻の學者間に於ても違憲ならずと云ふ者がある解釋は十人十色でどうでもよいではないか政府は又議會での聲明米國との交渉の事等にこだはることなく原案の儘批准を奏請し率直に其の意味を述べたら良いではないか

田中首相 事實上の自衛權の問題は廣義に解釋して滿蒙の權益に對しても當然發動し得るものと解釋してゐる、又形式上の問題に就ては御說の通り單純批准でよからうと思つてゐたが議論を生じた爲之を一擲して國論統一の爲め今回の如き案を提出した、素より國家の爲めに宜しかれとしてやつた事である

八代男 米國では石井顧問官の說の如く人民の名に於ては重大な意義ありと云ふ話であるから本案に對して果して米國が同意するか

田中首相 米國は初めより日本の憲法上異議の生ずる事ではない即ち代理關係を示すものではないと申して居るから苦情を言ふことはないと思ふ、然し相手のある事であるから確言することは出來ぬが大體良いと思ふ

之にて質問終了倉富議長採決を起立に問ひ内田伯、櫻井錠二兩顧問官は宣言書を附せざる原案を主張し、即ち政府案に反對し、八代顧問官は憲法違反の故を以て反對、結局三名の反對者があつたが他は全部政府案に贊成して可決二時三十五分散會した

各員は愼重に審議を盡せ
有難き聖旨を賜はる

【東京廿六日發電】本日の不戰條約案樞府本會議開會に先立ち畏くも聖上陛下には倉富議長に「不戰案は世に多くの議論行はれつゝあるにつき各員愼重審議を盡せ」との意の聖旨を賜はり倉富議長は恐懼し御前を下し本會議開會劈頭諸員起立裡に右の聖旨を傳達し議事に入つた

御裁可を經て直に米國政府に寄託
同時に官報にて公布

【東京二十六日發電】樞府本會議にて不戰條約案が可決されたにつき倉富議長は直に聖上陛下に奏上する筈で其上政府は一旦右案の御下渡を乞ひ手續きを濟まして今明日中に改めて御批准奏請手續を採り御裁可を經て直にアメリカ政府に寄託し同時に官報にて公布する

御批准次第 中外に聲明

【東京廿六日發電】不戰條約字句問題は種々誤解を招きたるに鑑み外務省では御批准あり次第同問題は全く字句の疑義のための問題で條約の精神には贊成することを中外に聲明すること丶なつた

條約成立を欣ぶ
内田伯の辭職は小問題 床次竹二郎氏談

【東京特電二十六日發】不戰條約案が樞府を通過し、御批准の運びになつたのは國家のため悦ばしい次第である、唯だ内田伯の辭職に伴ひ政府は苦境に立つであらうとの說に對しては此の際自分としては何も言ひたくない、單に國内に於て此の問題が一段落を告げたことを悦ぶもので、此の見地からすれば内田伯の辭職といふことは條約成立の前には小さな問題である、次に起る内閣改造問題も別に急ぐ必要はないであらう、田中首相から未だ何等の交渉もない

條約効力に無關係
政府側は樂觀

【東京廿六日發電】字句問題から意外の紛糾を來した不戰條約も宣言附で批准されることになつたが宣言書の内容は實質上留保を意味するものであつても其形式が字句の解釋に就ての諒解を一方的に宣言したものであるから他の締盟國から抗議なき限り條約の効力に關係あるものでなく列國に對しては既に默認の諒解を得てゐる、斯くて御裁可あり次第批准寄託の手續を採り調印以來一年にして漸く署名國全部の締約が揃ふこと丶なる譯である

自分が辭めても内閣には無關係
今更撤回は出來ない 鐵相と會見後内田伯語る

【東京二十七日發電】田中首相の代理として來訪した小川鐵相と會見後内田伯は左の如く語つた

我輩が辭表を出した事につき田中首相の代理として小川君が來られた、其の内容は言へないが既に一旦提出した辭表を今更撤回することは出來ぬ、我輩としては何分の御沙汰を待つばかりである我輩の辭職理由は言明出來ぬが我輩が辭めたからとて政府は不戰條約に關し當初から最後まで憲法違反を認めたのではないから之が爲め責任を負ふて辭める必要はあるまい

辭任の經緯

【東京廿六日發電】内田伯辭任の經緯に就ては本日の本會議で内田伯が問題の字句に對する根本觀念が「人民の名に於てとは人民の平和を愛好する心を表示したものであつて違憲でない」と主張した處伊東伯は個人として御答へするが人民の名に於てと云ふ言葉は明かに憲法に牴觸する、内田伯ともあらう人が斯くの如き理由を辨へぬとは不可思議至極であると嘲罵的言辭を弄したので内田伯は自己の信念と伊東伯の暴言に憤慨して辭任したものと言はれてゐる

宮相、侍從長 園公を訪問

【東京特電二十六日發至急報】鈴木侍從長は廿六日午後四時半極秘裡に西園寺公を駿河臺の自邸に訪問し密談時餘に及んで辭去した

之より先一木宮相も正午頃を私か訪問したる事實あり、兩氏の同公訪問は時節柄非常に重大視され

進退を考慮する何等の理由無し
政府側の意見一致す

【東京特電二十六日發】内田伯の進退問題に就いては政府は極力手を盡して辭職を阻止したが遂に伯は引責辭職をなした、之に伴うて政界には政府も連帶責任を負ふべしとの意見が相當有力に行はれてゐるが、田中首相は二十六日の樞府會議散會後、倉富、平沼正副議長から内田伯辭職の次第の報告を受けて前田法制局長官、鳩山翰長等と協議の結果、廿五日の閣議に於て協定通り政府は對外的立場と國論の歸一を表示する必要の上から便宜解釋留保附御批准を奏請したのであつて調印が直に憲法違反の措置とは思惟せぬのであるから此問題に關して進退を考慮すべき何等の理由無しといふに一致した

馮閻兩氏の連名で再び外遊を聲明す
閻氏は船室豫約電命

【上海二十七日發電】馮玉祥、閻錫山兩氏は昨日連名で共に外遊するに決意せる旨重ねて通電を發し殊に閻錫山氏は何人の注告あるも下野外遊の意志を飜さずと聲明してゐる、閻錫山氏は南京側の慰留を飽くまで退けんとする模樣で蔣介石氏の慰留も遂に効果ないであらう、又閻錫山氏は天津警備司令傅作義、交渉員蘇體仁兩氏に對し日本行汽船の船室を豫約するやう電命した

閻氏が外遊前に太原で善後會議
蔣氏に委員派遣電請

【北平二十七日發電】閻錫山氏は外遊前に太原に西北善後會議を開く方針で楊愛源、徐永昌、商震氏等並に馮氏と商議の結果孫良誠、劉郁芬、宋哲元氏等に對しても急遽太原に參集するやう命令を發し一方蔣介石氏に對して中央より相當多數の軍事、政治委員を派し合議に參加せしめ且西北善後策につき政府の方針を表示されたしと打電した

龍口の劉珍年軍 地盤築きに懸命
住民その暴狀を恨む

廿七日早朝芝罘より入港の信濃川丸が報ずるところによると張宗昌軍を追ひまくつた劉珍年軍は地盤きづきに懸命となり新兵募集、軍需品の購入と稱し、黄縣一帶に約廿萬圓の提供を命じ龍口市街一帶に對しては各戸二年間の税金の前納を申渡し五日間以内に持參すべく命じた、尚劉珍年のこの暴狀は南京政府の知るところとなり一應注意を受けたものであるが更に態度を改めずこの擧に出でたものであつてこの暴狀は住民一同の怨嗟の的となつてゐる

米國記者四氏 天津へ

米國記者團一行中のマトランダー、コンスチチユーション支配人クラク、スクリップス、ホワード新聞ワシントン特派員シムズ、ニユーヨークヘラルドトリビユン社ホオレスト、ニユーヨークタイムス社マシユーズ四氏は廿六日午後四時出帆の天潮丸にて天津へ向つたが、特に一行中には外務省より特派された加來美知雄氏が東道役となつた、埠頭には松岡滿鐵副總裁、石井庶務部庶務課長、滿鐵囑託キニー氏、外大連新聞通信社員多數の見送りがあつた、一行は北平において廿五日夜先發した一行と共に落合ひ南支に赴く筈

米國記者團 北平へ向ふ
廿六日夜奉天發

【奉天特電二十六日發】アメリカ記者團一行十二名の中八名は二十六日朝八時五十分滿鐵情報課員と共に來奉、川村外人係の案内で北陵見物の後午後四時張學良氏別莊に於ける茶話會に臨み夜八時十五分發京奉線で北平に向つた、川村氏は青島まで案内役として同行の筈

法制局と審議室 關係を密接に
新事務官も法制局から 關東廳としての意嚮

關東廳審議室に專任の事務官を設けることは既に法制局を通過したので近く官制改正の公布と共に發表されるが、これには法制局方面の人物を任用せんとする意嚮である、從來關東廳官制を初め各種法規の改廢或は新法規の制定等に關して最高機關である審議委員會の審議を了へたものが稍ともすると法制局で引懸り審議委員會の權威を多少とも損することが少くないので法制局と關東廳の有する審議室とは其間密接の關係あり、法規の通過を計る上に於ては法制局方面に諒解ある人物を任用することは當然の方法であるから審議室事務官は多分法制局より敏腕家を拉し來るであらうと

威海衛還附交渉 一先づ打ち切り
解決困難との結論に達して 英國公使けふ歸任

【南京廿七日發電】日支交渉の瀬踏みとして注意されてゐた威海衛還附英支交渉は兩國の主張衝突し物別れとなつたが昨日のランプソン王正廷兩氏會見の結果解決困難なりとの結論に達し交渉は一先づ打ち切りとなりランプソン公使は廿八日北平に歸任する事となつた尚外交部よりの消息に依ればランプソン公使は來る九月半再び南下する事を約したと

奉票價維持 便法を設く

【奉天特電二十六日發】廢紙に等しき奉票の止め度なき暴落は武力と雖も阻止すべからざる事を知つた張學良氏は奉天省首席翟文選氏の建議を容れ本日四ケ條の奉票維持便法を發布し直に官銀號をして奉票六十元を現大洋一元に交換を開始せしめた、その爲め相場は稍戾して來たが限りある現大洋準備で何時まで兌換を續け得るか疑問である

文化事業協定 廢止意見書
蔣教育部長が提出

【南京二十七日發電】教育部長蔣夢麟氏は日本の對支文化事業は支那の文化の進歩を阻害するものなりとし教育部の決議を經て外交部に右協定廢止方交渉開始の意見書を提出し近く外交委員會にて討議されること丶なつた

皇姑屯事件 本日午後に發表
定例閣議に附議して

【東京二十七日發電】皇姑屯事件に關する公表案は二十七日朝鳩山翰長より田中首相に提出したので首相は小川、中橋、山本等の各相と協議の結果二十八日の定例閣議に附議し特別の支障なき限り同日午後責任者の處分と共に公表されることになつた

農場の鐵道撤去
支那側で文句は云へぬ 日本人の土地と知つての行爲 林奉天總領事語る

【奉天特電二十七日發】林總領事は本日記者團との定例會見に於て左の如く語つた

榊原も愈々交通を遮斷したさうだが、僕はまだ榊原に會はぬからどんな模樣だか分らない、然し支那側は最初から日本人の土地であることを知りながら勝手にしたことであるし、又支那側も惡いことは充分知つてゐるのだから文句は云へないであらう

水稻苗發育 一般に良好
農林省發表

【東京廿六日發電】農林省では六月半迄の水稻苗發育狀況に就き道府縣農事試驗場其他よりの情報を綜合するに播種當時の氣候は北海道及び東北地方にては低温にして稍々不良なりしも其の他の地方は一般に順調なりしを以て播種は概ね適當に行はれたれども播種後の氣候は中國地方以西及び北海道地方は概ね適順なりしが其の他の地方は早り勝く氣温低かりしため苗の發育は九州地方は良好中國、四國、近畿、東海及北海道地方は稍々良好、東北地方は不良關東北陸地方は稍々不良にて全國的に見るに稍々良好の狀態にある如し、尚苗虫害は東北關東及び北陸地方に苗腐敗の被害相當多き模樣なれども虫害は例年と大差無きが如し而て水田への移植は近畿以西の地方は未だ其の時機に非ざりしを以て事情不詳なるも東北地方の如き移植早き地方の狀況に就いて見れば苗の發育前記の狀態なるを以て數日間遲延せる處多きが如し

ト氏入國拒絕

【ロンドン二十七日發電】二十六日の英國閣議はロシア反幹部派首領トロツキー氏のイギリス入國に對しては許可を與へざる旨決議した

日本法曹會總會

【東京二十七日發電】日本法曹會第三回定期總會は二十七日工業俱樂部に開催、三年度事業報告、決算報告を承認、本部理事福島、澤原、松本、磯野四氏滿期改選の結果何れも再選された

山田氏新黨入り

【東京廿六日發電】新潟縣選出民政黨代議士山田又司氏は廿六日新黨俱樂部に入黨した、之で新黨所屬議員數は二十八名となつた

飯田司令長官來連

佐世保海軍鎭守府司令長官飯田延太郎氏は隨員戶塚參謀及松村副官と共に三十日入港の香港丸にて來連し埠頭、寺兒溝、大連埠頭會社其の他を視察し來月一日赴旅[illegible]中の第九驅逐隊の檢閲を行ひ、同夜黄金臺ホテルに一泊の筈

安閑椅子

廿七日未明突如北陵鐵道の撤去斷行は増上慢度なき本大支那官憲の暴戾ぶりが度重なつてゐた折柄丈けに暑い日ざかりに一寸一杯冷しサイダー飲んだ位の快さが感じられた▲國際親善を思へばこそ理非を度外して我總領事館では從來の煩い程の懇談を寧ろ抑制しつゝ至極穩かに支那側へ同鐵道の不法敷設を說き穩便なる解決を數度に亘つて交渉した譯だのに▲穩かに出れば却て驕慢と見てつけ込む支那側の傲慢な態度に流石の總領事館でも已むなく最後的通牒を突付けたものだ▲一方農場主原政雄氏は多年の支那側暴戾を怺へてゐた鬱憤を一時に晴らす意氣込で正々堂々と自費撤去を斷行すると勢ひたさうだが、目的は不法鐵道の撤去であつて强て支那側と事端を惹起するのが本旨でもないからと云ふ側近友人達の注告を容れ▲支那側と事端を惹起すべき機會の最も少い時刻を選んで決行したのだといふことだ▲强く出て力を以て事を斷行すれば折角配置の巡警も拱手傍觀爲すなき實情が如實に示された丈でも何時か參考の價値はある。

滿洲日報

不戰條約問題の解決

昨年八月パリーに於いて調印せられた戰爭放棄に關する條約は、既に各國の批准寄託を了り我國のみが其の第一條中の「インザ、ネームス、オブ、ゼア、リスペクチブ、ピープルス」なる字句の解釋問題に停頓して、政府及樞府が其の措置に惱まされたのであるが、廿六日樞府は御諮詢案を可決し、帝國政府獨自の解決宣言附を以て御批准あらせらるゝことゝなつた。乃ち不戰條約は近く其の效力を發生するに至るべく、世界人類のために幸慶とせざるを得ない。

◇

我等は對外的立場に於いて此の問題の解決を欣ぶものであるが、同時に國內問題として、多少の紛議を惹起したことを遺憾とせざるを得ない。調印の責任者たる現內閣は、初め議會に於いて問題の字句を「人民のために」との解釋を固執し、之に依て此の條約が憲法違反でないことを主張したのであるが、其後樞府の諒解を得るために「人民の名に於いて」との直譯名に變更し、憲法解釋上疑義を生ずるを避れて別に解釋上の留保宣言を附して御諮詢を奏請するに至つた。政府が此の條約を成立せしむるために努力せる苦衷は我等の多とする處であるが、其の間手續に於いて、批難を招來するに至つたことは迂濶といふべきである。

◇

昨年パリーに於て全權として此の條約に調印せる內田伯は顧問官の職を辭した。留保宣言附批准といふことが伯自身の面目に係るほどの問題であるとは考へられぬのであるが、兎に角、伯は辭職したのであるから、政界の一部には、政府の連帶責任論をなすものが起るであらうことは當然豫想し得られる。然しながら我等は此の問題に關する限り、政府が進退を考慮すべきほどのものとは思惟せぬ。要するに手續は例に依て拙劣であつたが、非違を敢行したとは見られぬのみならず、其の歸結に於いては妥當であつたと云ひ得るのである。

北陵鐵道問題

◇

奉天に於ける緬原農場永租地侵害事件は支那側の無反省により遂に事態を重大化するに至つた。此の問題は六月下旬我總領事より最後の警告を發して以來一ヶ月を經たる今日、支那側は何等の誠意を示さず、乃ち農場主は、遂に支那側との正式協定によつて贏ち得たる權利を保有すべき正當なる行動として、永租地內に引込める支那側線路を撤去したわけである。

◇

問題は單に一農場だけの權益に係るに止まらず、延いて全滿在留邦人の安危に及ぼすものであること自明の理である。農場當事者が、支那側のデモンストレーションに屈せず斷乎として之を決行せることは、壯とすべく、近來動もすれば、支那側の理不盡にして暴戾なる排日、若は利權回收運動によつて壓迫を被りつゝある在滿同胞のために萬丈の氣を吐けるものに他ならない。

◇

我等は決して支那・特に東北地方に於いて、事を構ふることを欲せない。斯るが故に事態を此に至らしめたことを支那側のため特に遺憾とせざるを得ない。若し支那側にして、當初より誠意を以て我交涉に應じたならば斯くの如き問題は夙に解決を告げた筈である。然・支那側は今次の擧に對して頑向より抗議を提出すべき何等の理由を見出し得ないであらうから、孰れ外交上の折衝に於いて圓滿なる歸結を得るに至らうことを信じて疑はない。

滿蒙鐵道驛傳競爭

恨みを遺す打通線

遂に紅班の運命を決す

目睫の間に京奉線の連絡を逸す

（第卅九信）打虎山にて　南里紅班選手

◇五日午前五時三十分通遼發車といふので公所を四時半に起き横尾氏に送られて五時十分發汽車に乘込む、一等二等三等の合同車で一等室だけは打通線として一等室らしいところもあるが隣りの二等室と來たらその隣りの三等室よりもまだ惡い、兩窓に沿ふて公園などによくある木製ベンチを打ちつけ、そのベンチを一人々々腰掛けるように仕切つてあるので横になるなどは絕對に出來つこがない、十二三時も乘り通さればならない長距離であるためゴツ／＼したこのベンチに腰掛けたなりでは到底辛抱が出來そうもないので三等室に逃出し、發車を待つた

◇然し定刻の三十分が來ても汽車は動かない、四十分になつても出ない、五十分になつても動かうとせない、予は少々氣があせり出し横尾氏に「どうしたといふんだらうか六時十分發の鄭家屯行が出さうだのにオレの汽車は餘り呑氣過ぎますね」と同情を求むべく訴へると、横尾氏も、まり兼ねてか折柄來合せた車掌に「オイ早く出さないか」と一本突込む、車掌は機關車が故障で一時間も前から修繕してるが思はしくない、修繕が出來たら直ぐ出しますよと至極平氣だ、これを聞いて呑氣な予も少々心配になり故障機關車で打虎山迄走られては飛んでもない災難であるから機關車の交換をと構內を見渡したが赤さびの出たボロ貨車はあつても機關車は影さへ見出せなかつた、四洮線列車はお先きへ失敬と黑い煙を殘して鄭家屯方面へ發車する

◇その時だつた阿片隱者の車掌君が飛んで來てさあ發車ですと告げる、何時間待たされるかと悲觀の極にあつた予は「占めた」と快哉し横尾氏に班長宛の電報を車窓から渡して打電方を依賴し「お世話になりました」「御氣嫌よう成功を祈る」と挨拶もそこ／＼に通遼の町を後に一路南へ——處が發車の喜びも束の間二哩も走つたかと思ふとピタツト止まつた、また機關車の修繕だ、車掌は何處へ行つたのか見えず三等車には予一人で手荷物棚に二人の列車關係者が眠つてゐるが起出さうともせない、運轉の時間表はあつてもこれは單に對外的の申し譯で汽車が何時何時に着けようと、また遲れ着かうとそんなことはどうでもいゝ、線路の上を走らせてゐることは事實なんだからと大陸氣分で神經が至極鈍い

◇幸ひ十分ばかりで再び發車したから安心したものゝ通遼後第一番目の驛木里圖驛で更に機關車に無理を加へ二十分以上の遲發となつた、結局遂で四十分、途中で十分、木里圖で二十分合計一時間を遲れてゐることになつてゐる、打虎山午後六時十分着が今後機關車に故障なく正規に走つても七時十分着になる譯けである、京奉線の打虎山發は午後六時三十一分であるため四十分を取返さねば連絡が出來ないことになる、連絡が出來なければ紅班は當然勝を白班にゆづらねばならないことになる、勝敗は予の一身にかゝつて責任の重大さを思ふとベンチなどに腰掛けてゐられない——何んてノロマな汽車なんだらう——

◇まだ時計は午前八時だ午後の六時着にしても十時間先きのことだ十時間も走つてゐる間には取返しの出來ないこともあるまい、よし車掌と機關士を口說いてやらうと驛傳競爭の三角旗をオツ立てゝ吉長線、吉敦線、四洮線、洮昂線、瀋海線、海吉線何れも支那の鐵道だ、而もオイラが乘つかかつた[illegible]速力を出して早着させてゐる、それを打通線だけが遲着では打通線の面子、オマイ等の面子を何んとする、機關車の故障で遲發したのはいふても返らぬことだ、問題はこれからだ、無駄な停車時間を縮めて行けば五分宛に發しても十驛で五十分だ、打通線が滿蒙鐵道中一番惡いとあつては働くオマイ等も氣持よくあんめい、遲れた時間を取返してくんろよとキメツケたり哀訴嘆願に及んだり上たり下たりで必ず取返し連絡受合とまで話が進んだ

◇それからといふものは氣持ちからか汽車は矢のように走る、際涯のない沙丘は雪のように白く車窓の手近には甘草の綠と芍藥の花の紅がこの不愉快な旅行氣分を慰めて呉れる沙漠のオハシスといつた沙丘中唯一つの甘旗峠の綠野はまだ手もつけられず二年前と同じだ、打通線中間地を蒙古貿易の一大市場たらしめようといふ計畫も實現は果して何れの日か？四十哩餘の沙丘地帶をぬけると彰武驛に至る、之から打虎山までが所謂耕地で綿花が主要農產物である、彰武縣は一圖所在地、彰武通遼の鐵道敷設は張作霖の軍事用列車運轉がその目的であつた、一時は日滿秘密條約に抵觸する關係から日支間に相當問題化したが敷設して終へば紙の上の條約問題なんてものは何れの世でも消滅して解決するものだ、支那が斯うした横車を押すことは今更らのことでないが、こゝから見ろと吉會線の延長などは一敷設するぞいゝか「土地はオレのだからいけない」などと紙上の古證文と口先の懸引とで今に解決を見出さないけれど、打通線式と同樣手段を用ひ實力で敷設して終へば問題にない筈だ、日本の外交は武力を後楯にした外交だから火蓋を切らない以上成功のしつこがない、今日の對支外交は武力の後援は不要だ、實業外交で吉會線など遠慮なく敷設して實の外交で行かなければ對支外交は何時になつても勝算はない——

◇車掌、機關士の所謂面子が列車の[illegible]力となつて黑山縣まで來たときは大部分駈返し、うまく連絡が出來そうになつた、打虎山も日[illegible]に直つたが打虎山驛に電話をかけて京奉線列車、待つて貰はんでもいゝのか？隱者の車掌は不思議に阿片ものまずよく立働いたが大丈夫だといふ、また予も、もう大丈夫と見た、汽車は全速力だ、市街は見えないが打虎山は先から見えてる——處が——處がその打虎山驛に入るためカーブを廻らうといふとき——右の窓にポツポツ／＼／＼と列車の動く音がした、窓から顏を出すと、何のことだ、北平行列車がいま速度を加へようといふところである、呼べば答へる距離だ、無念！無念！時計を見れば六時四十分、京奉線も十分位は餘計に待合せたことになる、車掌は探したが見えない、ほんとうに男泣きに泣きたい位であつた、列車を手に摑んでゐて乘れないのだから——

◇プラツトホームを[illegible]けに步いて驛長室に入りサインを求め上り線、下り線の列車時間をたづね・奉天から營口經由で奉天線廻りの時間計算も作つて見たが駄目！悲嘆に暮れながら一人驛前を步いて支那宿に入つた、予がこの支那宿に入ると同時に私服支那憲兵二名が予を尾行しながら予の居室に這入つて來た

蔣氏未だ難關を脫し得ず

運命は調金の如何に

馮玉祥氏の外遊もまだ閻錫山氏の下野問題はのこされてゐるもの、殆ど確定的となつて、險惡視された豫省の風雲も一先づ落に政治的解決を告げた形であるしたがつて國民政府主席としての蔣介石氏の地位も漸く安定したかのやうではある、しかしこれによつて直に[illegible]が一掃されたと信ずることは早計である、即ち、第三次全國代表會議以來細々として策動しつゝある陳公博氏等一派の所謂左傾派は依然、汪兆銘、顧孟餘氏等の組織する第三黨と相聯合して汪精衞氏を擁護し、最近上海に於て中國國民黨護黨革命大同盟なるものゝ組織に[illegible]氏反蔣の態度を明かにして其の勢力は陰然として侮るべからざるものあり馮玉祥氏一派は言ふまでもなく李宗仁、白崇禧氏等の廣西派亦此の大同盟に加入し、唐生智、方振武氏等も一派相通ずるものあるべく、最も傳へらるゝところによれば、最近李明瑞氏等と廣西派との間にも相當の諒解が成立した趣きであつて廣東に於ける廣西派の勢力が未だ完全に驅逐されない今日尙幾多の不安をこの地方には孕んでゐることは言ふまでもない。

◇

また、これについで蔣氏の難關は國民政府の財政逼迫である蔣介石氏が最近言葉に積極を唱へて實は反つて總てに逡巡し從來の果斷を見ないのはこの財政の圓滿を物語るものであると言はれてゐる、蔣介石氏は、これ等の大難關を打破せんと欲せば先づ汪精衞、于右任、丁維汾氏等の左派と提携して護黨大同盟その他の反蔣運動を鎭壓し、一方河南、陝西方面に於ける舊國民軍系各將領を懷柔して[illegible]に在る馮系各將領を[illegible]しめるの方[illegible]ずるほかはない、目下氏は全體會議の名を以て汪氏の歸國を歡迎せんとしてゐるが胡漢民、戴天仇、蔡元培、吳稚暉、張靜江氏等の反對にあつて僅かに汪氏を國民政府委員に任命することを決定し得たのみであるが汪氏はこれを拒絕した趣きである、果して蔣氏は如何なる術策を以て局面を自己に有利に展開して行くであらうか要は調金の如何にあり茲に蔣氏は運命の定まるべき最後的立場におかれてゐる（武田生）

調節費の適用は何等困難でない

滿鳥調節費會議で着哈した宇佐美鐵道部長語る

【哈爾賓發】滿鳥兩鐵道協定による東南貨物に對する調節費適用第一回會議のため來哈中の宇佐美滿鐵々道部々長は右調節費の適用が事實上において困難な點があり現在既に兩路貨物の輸送狀態が實施の必要に迫られてゐるに係はらず未だ何等の

處置

に出でられないでゐるとの說に關しなに氣ない口吻をもつて次の如く語つた

現在東南兩路の輸送狀態が調節費の適用を必要としてゐるのは事實で目下共同事務所でこれが實行について種々準備中である元來この問題は本春協定された協約通りに双方が遣つて行きさへすれば何にも六ケ敷しいことでもまた不安なことでもないのである、尤もその間多少の不便や不利益な點が出て來るかも知れまいが、それは協約の精神を貫徹させる意味からいつてお互に我慢をしなければならないところで不備な點があればそれは漸次改めて行けばよいと思ふ、今回調節費の實施が遲れたのは何分最初の事であるからお互に

大事

をとつてゐるからで自分が態々來哈したのも若し第一回の遣り方に失敗して禍根を殘し延ひては協約破棄などの大事に至つては仰ほよく鳥鐵並に荷主側とも實行上の方法に關し一應の打ち合せをするためで自分として何等困難なことはないと豫想してゐる、而し打合せを一層確實に進めるために或はハバロフスクまで行くかも知れないがそれは單に會議地が移つたに止どまりその他何等の意味がある譯ではない

土地賣買熱

益々旺盛

新義州方面で

【新義州發】新義州製鋼所設置說が一度傳はるや目敏い連中は逸早く土地の買收に着手し片つ端から買收又買收といふ有樣で、土地と言ふ土地は羽が生えて飛ぶが如く商談成立してゐるが、最も華々しい買收振を示して居るのは奉天の東亞勸業公司の吉植庄三氏で、二十四日迄に同氏名義に所有權の移轉手續が濟んだ分だけでも九萬八千八百七十六坪で此の代金一萬八千八百九十二圓と言ふ額に上り坪當り十九錢強となつて居る

其買收地域は光城面、慶豪洞、書堂洞、東草洞、體西洞、體下洞、瓦耳洞、敏浦洞及び古城面の一部で同地方は從前坪當り五錢乃至十錢位の地價が大部分を占めて居たが地價奔騰して前記の如く二十錢と言ふ相場を示した、右の如き內地人の土地買收の外鮮人間に於ける賣買も相當盛んに行はれてゐる模樣である

無電通信開放

【哈爾賓發】哈爾賓無線電臺は今回黑河間との通信を開始し一般公衆の通信にも開放することゝなつた

特產

◇定期後場（保合）

▲大豆（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　二十九車

▲三等大豆（出來不申）

▲豆粕（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　一萬枚

▲豆油（出來不申）

▲高粱（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　百七十車

▲包米（出來不申）

◇現物後場（銀建）

品目	寄付	大引
混保大豆 袋込	六五六〇	六五六〇
大豆裸物 出來高	一車	
三等大豆	（出來不申）	
豆粕	一三三〇〇	一三三〇〇
豆粕 出來高	三千枚	
豆油	（出來不申）	
高粱	（出來不申）	
包米	（出來不申）	

錢鈔

◇鈔票後場（單位錢）

限月	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　期近　四十八萬圓

◇現物後場（單位錢）

時刻	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　銀對金　一萬四千圓　銀對洋　一萬九千圓

商品

後場　出來不申

神戸特產物（廿七日）

品目	値
大豆現物	七五〇〇
大豆先物	六五〇〇
豆粕現物	二三七
豆粕先物	[illegible]
滿洲小麥	[illegible]
豆油現物	[illegible]

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
五品 先	[illegible]	[illegible]
五品 中	[illegible]	[illegible]

東京株式（短期）

銘柄	後場寄	後場引
[illegible] 先	[illegible]	[illegible]
[illegible] 中	[illegible]	[illegible]
[illegible] 先	[illegible]	[illegible]
[illegible] 中	[illegible]	[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株新	[illegible]	[illegible]
鐘紡新	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]
後場引	[illegible]	[illegible]

東京期米

限月	後場寄	當限落	後場引
六月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪期米

限月	後場寄	後場引
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]

神戸期米

限月	後場寄	後場引
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]

滿洲日報地方版

奉天

休暇を利用して兒童の商業實習
本年は永くして三週間 春日小學校の試み

春日小學校の最初の試みとして昨年夏季休暇を利用し同商業科生が銀行、郵便局その他主要商店につき實習をなし意外の好成績を擧げたので今年も銀行、郵便局各商店は勿論滿鐵に至るまで交渉の上實習地教育を施すこととなつたが今年はその期間を長くして三週間とし來る七月廿日夏季休暇に入ると同時に之を行ふと

は日本人百九十二名支那人六十八名鮮人二名外人六名その他歸酌婦十五名合計二百八十三名であると

貴金屬を盜む

廿六日午前四時頃市内浪速通一九骨董屋奥田好古堂の東入口から二重戸を開いて一名の支那泥棒が入りこみ棚上に陳列してあつた香木珠數外十點二百卅圓、ヒスイその他七十八點千二百圓・大鏡一個四十圓、紅水晶置物一個八十圓合計千五百五十圓を窃取し逃走したので目下犯人嚴探中である

附添婦を募集

滿洲醫大附屬奉天醫院では附添婦十數名募集することとなつたが年齢二十歳以上四十歳まで優遇する由で希望者は同醫院庶務係に至急申出られたいと

人事

▲藤田關東軍經理部長　廿六日朝來奉
▲青木公主嶺署長　廿五日夜歸公
▲大淵滿鐵海上事務所長　廿六日過奉長春へ
▲石井醫大豫科教授　廿七日離奉大連經由内地へ
▲三島奉天守備隊長　廿五日離奉大連經由内地へ
▲大久保春日小學校長　出連中の同氏は廿七日歸奉の筈
▲馬四洮鐵路督辦　廿五日四平街へ
▲米國記者團一行八名　廿六日朝來奉同夜北平へ

町の便り

奉天醫院における現在の入院患者

吉林

總商會改組案

吉林總商會は目下組織改正準備中であるが正副會長には張園兩氏が當選し既に赴奉張作相主席に會見したが其の改組の大體は次の通りである

一、委員制に改め正副會長を正副委員長とす
二、正副委員長は張主席の同意を得て選出す
三、工會を商會に合併問題は未だ決定せず將來張主席辭吉の上決定
四、商會は今年七月會員の調査をなす
五、八月中旬改組決定

吉敦線へ進出
吉林輸入組合員

當地輸入組合では今回吉敦沿線に販路を求むる事となり廿五日各自商品携帶で吉林を午後零時半發足した

民會書記後任決定

現議員奥川股元書記の後任として現議員奥田。長尾兩氏の推薦により西野洋平氏を採用するに決し同氏は廿五日より執務の筈

人事

▲林顧問　張作相氏母堂一週年忌祭に參列の爲廿二日夕赴奉
▲細野喜一氏　約一ケ月の豫定に

營口

現金大廉賣
輸入組合主催

營口輸入組合主催商業會議所後援による輸入組合加盟各商店の現金大廉賣二十七、八日の二日間午前九時から午後九時まで營口座に於て催され乃美、須崎、辻の三吳服店、近江洋行、東京堂、平本洋行、田中屋、熊谷商店、池内商店、朝日屋、甲州洋行、坂元商店等が吳服太物、和洋雜貨、時計樂器、書籍、文房具、世帶道具等約四千點の商品を配列して大廉賣をなし、中には原價の半額に充たざる見切品もあつて千客萬來の盛況を呈した

て廿四日夕出發上京

在散宿してゐるものが三十餘人に達し不便を感じてゐたが豫算及び敷地の關係上多年の懸案となつた備官舍増築の運びに至らなかつたが愈本年度に曙町一丁目角に新築することゝなつた新官舍は二階建三十八戸にて判任官を茲に收容することゝなる、因に第三十八聯隊將校官舍も本年中には出來上り散宿將校を收容することゝなるので長春の食糧難も大いに緩和されやう

長春

毎月交換姫達に一定した休養を
電話交換手に對する長春郵便局の諸案

長春郵便局の交換姫は約七十人だが女子の勞働としては可なり激しい勞働なので種々慰安方法が設けられてゐる、交換手は十三歳を最低に平均年齡十九歳の娘盛りであるから家庭の主婦としての常識を涵養させる必要ありとて

涵養 させる必要ありとて餘暇を利用して野村電信課長が普通教育を授けてゐるが一層之を擴張して專門家を傭ひ家政上の知識を注入しやうと計畫を樹てゝゐる尚月經時に於ける休業は未だ實施してゐないが歐米各國に於ても漸次之を適用する趨勢にあるので長春郵便局でも實行してはとの議が擡頭してゐる、長春交換局は自働式電話採用と共に交換手は大部分お拂箱となるので練習所生を多少制限し體力の

强壯 なものに限り採用してゐるが一方現在の勤務者は向ふ三年間勤續して廢止と共にやめやうとの希望者が多く退職者は殆どないと

警察の官舍
愈よ建つ

長春警察署では官舍が不足して現

哈爾賓

赴任した以上は相當抱負はある
然しこの際は默つて置く 簗島新任所長語る

新任哈爾賓滿鐵事務所長簗島信司氏は既報の如く二十五日午前八時古澤前事務所長以下多數所員の出迎へを受け着任理事公館に少憩の上午後一時事務所會議室において所員一同に向ひ新任の挨拶を述べ情實によつて所員の

更迭 を行ふが如きことは斷じてしない、と如才ないところを見せたが着任の感想を叩くと苟も所長として赴任して來る以上少さいながらも相當の抱負も計劃も持つてゐる、しかし國際的關係が頗るデリケートな當地において而も着任早々の自分が強いて意見を述べることは外部から誤解を受ける危險もありその爲め折角の計畫に頓挫を來し出來る仕事も却つて出來なくなるやうなことになる慮れもあるからこの際は愼んでおいた方がよからうと思ふ、東支鐵道を楔とした露支の關係も兩國勢力の消長によつて將來ますます複雜錯綜を極めて來るものと見られ從つてその間に

介在 する自分等の立場に對しては相當の用意を必要とするところであるが對支對露ともに均しく親善的態度をもつて共に北滿の發展を期せんとするは古澤前所長の執つて來た方針と何等かはるところはない

と語つた、尚新所長は本月末頃一旦赴連の上來月上旬頃古澤氏の出發以前に歸任の筈である

遼陽

運動部の豫算會議

滿鐵遼陽運動支部では廿六日午後一時から社員クラブ樓上に於て本年度の各部豫算配付に付役員會を開催協議する處があつた

収入の部

項目	金額
前年度繰越	六五、九五
會費	一、〇三六、〇〇
本部補給金	一、五六五、〇〇
プール收入	六〇〇、〇〇
利子	五〇、〇〇
合計	三、三一六、九五

支出の部

項目	金額
陸上部	七一五、七七
野球部	二一六、〇〇
蹴球部	一〇〇、〇〇
柔劍道部	四六〇、〇〇
弓道部	二二五、二〇
氷上部	五〇一、〇〇
水泳部	五八六、〇〇
庶務費	三〇、〇〇
豫備費	三三一、九八
合計	三、三一六、九五

衛生技術官會議に出席

來たる七月一日から四日間東京に於て衛生技術官會議があるので滿洲からは關東廳囑託滿鐵長春細菌檢査所主任坂元ドクトルが出席することゝなり氏は廿七日午後四時二十分長春發上京すると

豫防注射終る

長春小學校及び女學校では一週間前から生徒の猩紅熱豫防注射を行つてゐたが二十六日終了したと尚豫防注射の結果は頗る良好で女學校生徒が一名發熱した丈けであつたと

鐵道妨害頻々

煙臺驛から炭坑に到る支線で煙臺驛を距る約四町の地點に於て軌上に古枕木を横たへ列車の妨害があつた、機關士が早く發見したので大なる損害もなかつたが近來此種の事故が頻發するので、遼陽領事館では縣公署に交渉の上縣内一般に布告してあるに拘らず未だ徹底せぬ憾みがある

老頭兒の轢死

遼陽管内沙河驛前理髮業楊某（七〇）は廿五日朝七時半頃上り列車の通過するを同驛踏切の中央で待合せ居る内、下り列車が通過するのに氣付かず踏切附近迄進入して來た時初めて發見狼狽の結果轢死した、との報告に接し遼陽署から泉司法主任其の他出張檢視の上死體は家族に引渡した

福岡縣人會

在遼陽福岡縣人會では廿七日午後七時から正酒家に於て時習隊同縣出身者の歡迎を兼ね懇親會を催したが極めて盛會であつたと

西家の不幸

遼陽在鄉軍人分會長西正之氏二女正美さん（八歳）は廿三日白塔公園裏のプールに赴き夕刻歸宅下痢を催したので、同夜滿鐵醫院に入院加療中の處藥石効なく翌廿四日夭折した、廿五日午後五時電燈公司構内に於て國柱會式で嚴かに葬儀が執り行はれた

人事

▲早瀨頼二氏（遼陽輪組理事）鞍山醫院入院中の處輕快に赴き目下自宅靜養中
▲飯泉丈次郎氏（第十六師團通譯官）高等官三等に昇敍
▲見坊地方事務所長　出連中の處廿七日朝歸遼

公主嶺

市民運動會擧行
本年より年中行事として 關係者參集して協議

滿洲で彩色土器の發見されたのは大正五年大連濱町貝塚、十五年山頭村會大嶺山で顏料と紋樣は貔子窩と同一の系統である、この彩色土器はアンダーソン博士が奉天や河南、甘粛の各省で發見したものと比較すると彩色土器ではあるが紋樣の系統、顏料の性質が甚だ相違してゐる、後者は手法に於て中央及西方亞細亞、米國方面のものと酷似し共通し前者は漢代の明器などに發見する手法に似てゐる

沿線各地で擧行しつゝある運動會は市民の親睦融和上非常なる効果を收め各地とも年中行事として重きをなしてをるので公主嶺に之れが實現を見ぬのは遺憾とするところで今年より當地も年中行事として全市民は擧つて一大家族的大運動會を擧行樂むべく久保田地方事務所長は二十六日午後二時同所の會議室に於て各方面よりの參集者と相談會を開催これが方法について協議した

撫順

實滿對抗野球
二十八日擧行

公主嶺に於ける滿倶對實業の野球戰は二十八日午後二時公園のグラウンドに於て第一回戰を開始すると該試合は昨年と異り今年は兩軍とも陣容が整つたので猛打熱球が見られるであらふと

印畫展盛況

公主嶺滿鐵圖書館に於ける印畫の展覽會は各方面より出品の佳作が多く開會當日より多數の來觀者に盛況を呈してをる

プール開き近し
設備完備、料金決定

灼熱の夏とプールそれは保健上からも必要なものであるが、海に遠い撫順の

河童連 は長い間脾肉の嘆をかこつてゐたところ、かねて西公園に新造中の州外一の大人用プールが二十六日全く出來あがつた、周圍、底部とも悉く鐵筋コンクリートで堅めレース用コースは巾十八米突、長さ五十米突深さ四、五米突、高さ五米突の跳込臺もあり、その他脱衣場、洗浴室等申分のない設備である、右大人用のプールと並行して長さ二十米突、巾十五米突、深さ五十センチから九十センチの

子供用 プールも目下工事を急いでゐるが本月末迄には完成する豫定である、プール開きは右子供用が完成した上やる豫定で七月七日の日曜日位との事である、混雜を避くる爲當分の内體育協會員に限つて無料、一般運動會員は一シーズン一圓、それ以外は一般人學生は五十錢、小學生は二十錢とする事と決定した

三十歳丈五尺五寸位長顏の男外二名であるが未だ逮捕に至らない

市内西一番町二番地崔小莫（二〇）と言ふ男は朝鮮平安南道龍岡に於て近隣に住む照德（一八）と云ふ美女を強姦死に至らしめた犯人らしいと言ふので、驛前派出所山口巡査の活動となり目下極秘中に搜査を續けてゐる

素人野球大會

撫順の野球熱は全く素晴らしいもので二十五日午後四時よりアマチユア野球大會第一回戰が開かれたがその戰績左の如し

▲炭礦庶務對撫中（東鄕球場）九對五にて庶務勝▲發電所對運輸（中學球場）十五對五にて運輸勝▲製油工場對機械工場（中學球場）十對〇で機械勝

尚引續き二十六日午後四時より實業對機械、同時刻中學球場にて老虎台對運輸、二十七日は第二球場にて東鄕對古城子、中學球場にて經理對庶務、決勝戰は前記の内の優勝チームの顏合せとなる譯である

强盜横行

撫順鐵道街劉純升（三三）は二十四日午後九時半、目下新建築中の公學堂機械置場に侵入一かせぎせんとする處を番人安德淳、金萬緣外一名の番人に誰何され格鬪中を、急報に接した署員の應援にて東七條四十四番地五十嵐氏方前で遂に逮捕されたが重大犯人の見込で目下取調中

古城子第一露天掘華工宿舍第六棟雜貨店王威瑞方に二十四日午後七時四十分モーゼル拳銃所持の三人組强盜侵入家人を脅かし、金品一千二百圓を强奪逃走、犯人は年齡

基本射撃大會

撫順警察の基本射撃大會は二十四五兩日午前六時より守備隊射撃場で行はれたが入賞者次の如し

騎銃の部

一等（三十七點）浦部東一郎、二等（三十五點）安武警部、三等（三十五點）岡本新一、四等（三十三點）高山與四郎、五等（三十二點）杉町警務主任

拳銃の部

一等（四十一點）王君義、二等（三十八點）小澤部長、三等（三十三點）中川金藏、四等（三十八點）高山與四郎、五等（三十二點）杉町警務主任

右の如く杉町警務主任と高山氏は双方に腕の冴えを見せてゐる

開原

浮世小路
夜店で賑ふ
二十五日から

浮世小路圓形廣場の夜店は既報の通り二十五日より愈開業したが季節向き諸雜貨玩具菓子食料品電機器具盆栽等二十數軒店を並べて活躍して居り盛んな人出で同廣場から浮世小路一帶に大賑はひであつた

プールを開場

夏季の運動として保健衛生上必須の水泳のプールは去る二十四日より開場されたが本年は昨年よりも會員申込少いと、會費は一夏間社員金一圓社外金一圓五十錢なれば一日も早く申込まれたいと又本年は初歩の人々には水泳の手ほどき教授をなす由なれば奮つて入會されたいと

市場上棟式

開原市場會社にては露天市場北側に貸家建築中であつたが工事順調に進捗し既報の通り廿五日午後四時より各方面有志を招待し餅撒き其の他の行事を行ひ盛大に上棟式を擧行した

第二區長決定

當地第二區長菊地藏氏逝去したので今回後任區長を前區長舛谷定一氏に委囑する事に決した

四本家の不幸

當地列車區員四本忠藏氏の妻春枝氏は廿五日午後三時半頃突然心臟麻痺を起して死亡した、葬儀は廿六日施行し盛葬であつた

「勤車」等にして他にも餘興的のもの數卷あると

瓦房店

校舍増築落成近し

瓦房店小學校は兒童激増の爲め昨年以來改築又は増築をなし來りしが、本春以來増築中の職員室校長室高等科教室等は最近工事非常に進捗し近く落成の筈なるが、斯くて當校舍は愈理想的となり博物標本室圖書室等も完備する事となつた

實協の役員會

鞍山實業協會第一回定例役員會は二十七日午後八時より敷島町實業會堂に於て開催され役員多數出席し加藤會長の挨拶あり引續き六月中會員異動報告、贊助員推薦の件、會堂建築に關する件報告、會堂落成式擧行の件、會堂増築に關する件、會堂貸付に關する件、定例役員會日時の件、會員範圍擴張に關するの件を議し午後十時散會した

四平街

中元贈答品 絶對に廢止

滿鐵用度事務所長春支所長は將來購入する物品の價格低廉、品質の向上、納期の嚴守、其他作業能率の改善等所期の目的達成のため諸費用節約の意味に於て同支所分所員を問はず中元其他暮等無用の失費を絶對に省略廢止することにした

旅順

「昭和」の懸賞賣出 關東廳で不許可
程度が甚し過ぎるこ

東亞煙草が「昭和」販賣に景品を付する爲め關東廳保安課に其の賞品額の申請をして來たが、保安課としては一個十五錢の煙草に百圓の賞品を附するは内規に違反すると云ふので許可しなかつた、右につき當局は語る

東亞 煙草に對しては支那人に販賣する目的のために多少とも賞品を附する場合一定の額よりは幾分高率になつてもよいやう許可はしてあるが、今回の如く十五錢の煙草に百圓の景品を出すと云ふことと及煙草の性質が支那人向でない點等から不許可となつたので、景品は大體に於て賣價の二十倍を限定してゐるのである、昨年の如き御大典大賣出しに大連が自動車の景品を出した爲めに各地でも亦其れを見習ひ破綱の行爲があつた、これは一面商品の販賣法としてはよいが、其れがために

賭博 投機的射倖心を煽ることが少くないから當局としては止む無く賣價の二十倍と内規してゐるが但し絶對的のものではない

瓦房店

巡警强盜に豹變
附屬地内鮮人の被害

復縣公安局第二步中隊付隊兵（巡警）初振忠（二）は元兵隊上りの吳樹永（二）と共謀し、廿二日午後三頃我附屬地内共榮街戸住朝鮮人金潤貞方に制服制帽の儘にて押入り、折柄金は外出不在中に妻李氏が留守居をなし居りしが、二人はいきなり李氏を引倒し布片を以て目隱しをなし、有合せの毛布一枚價格十圓を强奪し逃走せんとしたるを恰も巡廻中の劉巡捕に發見され追跡取押へたが、取調の結果犯狀を自白したので一件書類と共に支那官憲に引渡したが巡警の强盜早變り誠に危險千萬である

衛生活動寫眞

當地警察署及地方事務所主催に係る衛生活動寫眞は二十八日午後七時より公會堂に於て無料公開する事となつた、主なる映畫は「己を衞れ」「健康第一」「花柳病」「突貫自

鐵嶺

警察の射撃會

當警察署では二十五日第三種射撃會を擧行したが一等より五等までの成績及入賞者左の如し

長銃一等三十六點白鳥、二等同點吉田、三等同點白石、四等三十五點平尾、五等三十二點川島

拳銃一等三十九點宮本、二等同點福島、三等三十七點川島、四等三十六點神田、五等同點兒島

鐵遼庭球試合

全遼陽庭球軍は來る三十日の日曜日鐵嶺軍と一戰すべく來鐵する筈であると

兒童夏期聚落

鐵嶺小學兒童の聚落參加は星ケ浦海濱二十五名、熊岳城溫泉九名と決定連山關山間聚落は希望者一名もなく附添ひ教師は星ケ浦一名（目下銓衡中）熊岳城は開原より行く筈、尚當小學校中村衞生婦は七月二十一日から連山關の山間聚落附添ひとして行くと

種馬種付數

滿洲に於ける馬匹改良を計る爲め關東廳種馬所では優良種馬桃里を四月以來七道溝滿鐵苗圃馬舍に留め種付を行ひつゝあるが、二十五日迄に種付せる馬匹の數は二十七頭で此内邦人側は競馬クラブ三頭荒川氏分三頭で他は全部支那側のもので因に種付は七月初旬迄行はれる筈

安東

竹内大佐視察
重大任務を帶ぶ

海軍省水路部竹内大佐は過般來、鎭南浦及び大同江視察中であるが來る七月一日新義州に來り鴨綠江及び多獅島築港等調査の筈であるが、同大佐の來新視察調査は例の製鋼所設置との關係深きものと觀られて居り、當地方に於ては最も重要視されて居る

熊岳城

炎天續きに水田の植付不能
なほ一週間も續けば作物は枯死を免れぬ

幾年振りかの炎天續きに當地方に於ける蔬菜高粱大豆は云ふに及ばず水田等も全く水涸れとなり附近農家は毎日天を仰いで降雨を祈つて居るが仲々雨を見ず比較的灌漑設備の届いてゐる農事試驗場及び農業實習所の水田すら水涸れの狀態で田植も中途にて中止したのみで今に植え付け不能である、其の爲め新に新式ポンプの設備をも更に三個も加えた模樣であるがそれも大した効を見ないと云ふ有樣で況んや其他の水田は全部乾燥し盡し此まゝ一週間も降雨なき時は最作物は總て枯死をまぬがれぬと云ふ危險狀態になつた

驛長更迭

當驛長廣谷宗一氏は今回大連鐵道事務所勤務を命ぜられ其の後任としては萬家嶺驛長石井忠一氏來任と決定何れも六月二十五日附社報を以つて發表された

日本少女歌劇

廿六日午後七時より日本少女歌劇座一行十六名の女生徒及び音樂隊數名は滿鐵クラブに於て歌劇、音樂、舞踊の會を開催したが非常の人氣にて滿員の盛況であつた

番犬に咬まる

當地電燈會社々員村貫三氏は二十五日午後三時頃石丸果樹園方にメートルの檢査をなし歸途自轉車に乘らんとしたる際、同園の番犬が突然臀部に咬み付き出血したる爲め直に病院にて豫防注射をなし、一方番犬は警察署に於て血液檢査中であると

貔子窩から出た壺と甗
旅順博物館に歸て來た
二年越京大に旅行してゐて こんど無事元の滿洲に歸る

石器時代の末紀から金石の初期にかけた遺物が一昨年貔子窩碧流河の河口から京大濱田博士、東大原田學士の東亞考古學會の手で發掘され世界の考古學會に異彩ある資料を提供した、其の壺、瓶其他の寶物が關東廳博物館の一室を飾つてゐる、

◇

昭和三年四月廿九日から五月十五日に至る二週間に亘り濱田博士は小牧學士、島田助手、原田學士外四名の助手、博物館からは内藤主事、森、京城からは小泉博物館主事、北平大學の馬衡、陳垣、歷史博物館羅庸、董光忠ハルビンからはトルマチエーフの諸人等が集まつてこの發掘物を研究した

◇

濱田博士は全部これを京大に持ち歸つて模型品を造る一方學術的方面から仔細に研究し「貔子窩」と題する一冊を編し世界の文獻に又と得難い資料を提供した、其の模型と實物が今度關東廳博物館に返送されて來たのでこれを參考館に陳列することになつたのであるが、金石時代の研究をする專學者のみならず地理、歷史の專門家は勿論のこと一般の人にも觀覽して置く必要はある

◇

發掘物は

・大型彩色壺（貔子窩を去る東北四里、碧流河の河口小高地の前方小島單砣子）は東老虎灘會火神廟高麗寨で單砣子東側水平深位七尺の箇所に口部を土に破壞の狀態で發見された、型は高さ八寸七分、口徑四寸二分、顏色磨研土器で口頸から腰部に至るまで赤白兩色を以つて階段狀の斜方形をダンダラに鮮彩なる彩紋が施されてゐる

・中形壺　これに使用した資料は高、教授理學博士近重眞澄氏の分析によると赤彩は酸化鐵（紅殼）黄彩は酸化鐵黄土及び酸化鉛、白彩は粘土となつてゐる

・瓶型土器（高さ一尺七寸、口長徑約九寸）これは瓶型土器の上に甑型土器を重ねた複合形式で頸部は泥飾板の紐帶を繞してある、周末漢初のものである

◇

この發掘された壺瓶の附近には人骨が僅かに殘つてゐたが、それらは目下京大で研究中で模型だけは博物館にある、尚耳飾り等のもの石鏃其他も同地方で發見された（寫眞上瓶型土器、下右は大型彩色壺、色左は中型壺）

大連將棋聯盟特選
滿日五人拔戰

（玉名君二回勝三回目）

（六ノ五）手　平先番初段▲永井喜太郎　初段△玉名勝夫

（盤面以下の手順）持駒▲永井　歩二

▲五三步△同銀▲六三步ナル△四四銀▲七七角△三五步▲二六飛△四六步▲同飛△四五銀▲二六飛△三六步▲五五銀△七五步▲同金△五六步▲七四步△八六步

戰の跡　三段　宮本金三

同一の空間は二物によつて同時に占有せらるゝ事能はずと……昔の哲學者は云つた。然し其相反する事實を將棋道では屢々認める事が出來る、それは攻めと守りとを利かした攻防兩用の手段を採つた場合である、引用すれば第四局の終り玉名君が、五五步と取つたが、解說の通り、七二馬と引いて備へるが如き手段はそれに該當すると云ふ事が出來る

◇

永井君の手番で、五三步之は當然の攻め筋同銀から四四銀迄は只讀筋を辿つた迄で至當……次ぎの七七角少し疑義のある手で……と云ふのは七三步と打込み敵の大駒を一枚捉へる手段があつたから、三五步、若しくは三五銀なら同飛と切る手段があつたから先づ手筋でせう、四六步と突き同飛、四五銀と進んで敵玉頭に逆襲策を講じたのは實力の現れである、然し七五步と突き出し、五六步は手過ぎた今一步自重して二二玉と早逃げ策を選ぶ方勝つて居つた、此時四四銀ならば同金、同角、四二飛で面白い又四四銀を止め七四步ならば三四金、七三步ナル、同桂同桂、同馬、同と、四二飛で宜いでせう餘攻めにのみ偏する事は愼むべきである。七四步、八六步と突き出して五局休戰の笛が鳴る。

コドモページ

懸賞童話……(佳作)

メクラムラ

豐村水星

マンシユウノ、アルトコロニ、二ツノムラガアリマシタ。一ツハ、ナマケムラトイツテ、ナマケルヒトバカリ、スンデヰマシタ。モ一ツハハタラキムラトイツテ、ハタラクヒトバカリ、スンデヰマシタ。コノ二ツノムラハ、ノハラノマンナカニアツテ、マイトシ、ハルガクルト、カゼガフイテ、スナヤホコリガタクサントンデキマシタ。ハタラキムラノヒトタチハ『ムラヂウノヒトガコマルカラ、ミンナデ、ムラノマハリニ、チヒサナキヲタクサンウヱヤウ、ソウスレバ、スナヤホコリガ、トンデコナイダラウ』トソウダンシテ、スグニ、キヲ、ウヱハジメマシタ。ナマケムラノヒトタチハ、ソレヲミテ『バカダナア、アンナコトヲシテ、ヤクニタツモノカ』トイツテ、ワラツテヰマシタ。トコロガツギノトシノハルニナルト、イツモヨリモツトモツトヒドイカゼガマイニチフイテキマシタ。ハタラキムラノヒトタチハムラノマハリニ、一パイキガハヘテヰルノデ、スナヤ、ホコリガ、スコシモセズヘイキデヰマシタガナマケムラノヒトタチハ、スナヤホコリノタメニ、ミンナメヲワルクシテ、メクラニナツテシマヒマシタ。ソレカラ、コノムラノコトヲ、メクラムラト、イフヤウニナリマシタ。

汽車の窓から

【三信】

大正小學校長 湯下誠一郎

一、かんばつ

畠の中からまつ白な土煙が立つやうにから乾いてしまつては、水分が一つもないために、麥はやつと穂を出しながらみのることが出來ないでかはいさうに枯れしぼんでしまつた所があります。神樣に雨乞ひをしなければ我慢がしきれない程困つてゐるといふからひどい話です。せつかく昨日の朝から雨になりさうな曇方をして助かりさうなぐあひでしたのに、今日はすつかり雲の峰が流れてしまつて夕立も來そこれさうなお天氣です朝鮮のお百姓には氣の毒です。そのかはり、六月の十一日から內地は梅雨に入つて雨の季節になつたと申しますから、きつと此處朝鮮でも私は雨におそはれるにちがひないと、覺悟をきめて出かけたのに、はんたいに全くの日でりで、お天氣にはめぐまれてゐます。けれどもこのあとで大變です。朝鮮の夏は何べんかきつと大きな洪水が出るといふことです。雨の降らぬ中にさつさと內地に渡りたいと思ひます――內地も今は雨續きにちがひはないでせうけれど。

二、平壤學校

第一番に私は平壤の學校を見ました、それは三、四年前にも一度見たことのある學校です。はつきりと進歩のあとが見えてゐます。先生の努力がつまれてゐます。兒童の奮鬪も思はれます平壤にある小學校は二つです。一方には千八十人、一つには千百五十人ほどの生徒がゐます。れいぎ作法をよくするやうに特にこの頭力を入れてゐるといふ校長さんのお話をきいたり、元氣よくきまりよくお勉强をしてゐる子供らの教室を見たりしました。私は此所から京城を見にまゐります。

二ドメノ 大チヤンノタンケン (65)

ハルミチ作 ジラウ畫

大チヤン ハ ブラサガツテヰル バナナ ノ 一フサ ヲ トリマシタ。モテナイグラヰノ オモサ デス。

大チヤン ハ ウツクシイ スナ ノ ウヘ ニ コシ ヲ オロシテ ユツクリ タベルコトニ イタシマシタ。

一ボン チギツテ タベテミルト ホツペタ ガ チギレルグラヰノ オイシサ デス。ブルモ ヨロコンデ タベマシタ。

兒童の作品

うちから學校まで

聖德小學校四年 三浦密似

「いつてまゐります」と元氣にいつた。

「いつていらつしやい」とやさしいお母樣の聲がした。日はほかほかとてつてゐる。太子樣は靑靑とした草木につゝまれてゐるやうである。靑いもうせんをしきつめたやうな中にところどころに。黃色のちよぼ〳〵したもようをいれてゐる。太子堂の前近くに來た。すると向ふから眞邊君がはしつて來た。僕が「眞邊君ー」とよぶと。「なにー」といつた。僕が。「なにかわすれたの?」ときくと。「うんそうよあのう修身と理科よ、本讀とまちがへたのよ」と答へた。僕が「そう。はやくとりにかへりなさい。まだはやいから心配しないでも大ぢやうぶだよ。早くいつておいでね。しつけ」「しつけ」と左右に二人はわかれた。僕は太子堂を拜して行つた。空には雲一つもなかつた。アハダ君のうちに行く、ともうアハダ君のおばあさんがおつしやいました。てつくわんがいつぱいならんでゐるところまでくると。こんど新しくこの學校にいらつしやつた女の先生が一、二年の生徒をつれてお話をしながら。日の光をあびてたのしさうにあるいてゐました。「おはようございます」とおじぎをすると先生はしずかにおぢぎをなさいました。まもなく學校のにはにつくと一年生がたのしさうにぶらんこや、まるけんとびや、すべりだいであそんでゐました。學校につくと二公(へ學校にかつてゐるお猿さん)がおとなしくすはつてゐました。

バッタトリ

「ヒロチヤン アソコニ バツタガ タクサン ヰルヨ」

「オイ ホラ アソコニ アンナ オホキナノガヰル」

「ソンナニ サワイダラ ニゲテシマフヨ シヅカニシナケリヤ ダメダイ」

「…………」

「トツタヨ トシチヤン ハヤク カゴヲ モツテキテ……」

ラヂオ童話劇

赤い小鳥 (三)

白崎正夫

――御殿――

(捕虜になつたお姫樣歌を唄つてゐる)

お城も町もこわされて
あたしは哀れな捕虜よ
お國の港を出る時は
みんな涙で見送つた
いとしい兄さま今何處
あたしは本當に悲しいわ
あたしは本當に淋しいわ

(此の歌の間に家來甲乙と侍女戶を開けてこの部屋に入る)

(歌が終ると一緒に)

王樣。おや、お前は又しても悲しい歌を唄つてゐるな。何故もつと愉快な歌を唄はないのだ

お姫樣。でも王樣、私は些つとも愉快になれないのですもの。

王樣。何? 愉快になれない、よしお前が面白い歌を唄ふ迄、私は何度でも舞を舞はせるぞ。

姫樣。王樣、私はもう舞ふことが出來ません、こんに足の蹠から血が出て居りますもの。

家來と侍女。本當にお姫樣はお可哀さうだ。

王樣。餘計なことを言ふな、みんな下れ!

家來甲。もし王樣、そんな大きな聲を出しなすつてはいけません そら御覽なさい、お姫樣があんなに震へていらつしやいます。

王樣。ほうツて置け! そしてお前は私の寢室から例の赤い小鳥を連れて來てくれ。

家來甲。はい、かしこまりました

(バタンと戶の音)

間

(小鳥の唄ふ聲だんだん近づいてくる)

(バタンと戶の音)

家來甲。王樣只今持つて參りました。

王樣。うんよし、では其のテーブルの上に置いてをけ!。

間

王樣。おい、小鳥を籠から出してはいけない。

家來甲。でも一昨日から窮屈な此の籠の中に居たのですよ。

王樣。とんでもない、大切な小鳥を逃がしでもして見ろ、それこそ大變だ。

家來甲。それでは籠の儘、窓の所へのせて置きませうか。

王樣。さうだ、それでい〻、ではみんな次の部屋へ退つてくれ。

家來甲乙と侍女。王樣、では失禮いたします。

(バタンと戶の音)

遠足の朝

大正小學校三年 赤津勢吾

「お天氣は」と思つてはね起きました。空は少し曇つてゐます僕はたのしい遠足に行かれないと思つてがつかりしました。しばらくの間、外を見てゐますと東の方から朝日がさしてきたので、僕はよろこんで「今日は遠足が出來る」と思つて、いそいではしごだんをおりました。するとお母さんが「どうしてそんなにあばれるの」といつたので「天氣だ天氣だ」といひますとみんな大わらひをしました。

油の乘つた明大軍　滿倶を零敗せしむ
明滿第二回戰

得點｜｜9−0
安打｜｜15−4

滿倶明大第二回野球戰は二十六日午後四時二十分より滿倶球場で行はれた、明大先攻岩瀬（球）宮武（壘）兩氏の審判で滿倶は濱崎を外野に廻し兒玉、青山兩投手をベンチに置いて小松を立て、明大前日實際に好投した八十川を連投させ、最初は兩軍投手共盛んにカーブを連發して投手戰を演じたが五回目に至つて小松のコントロール漸く亂れてきたのに明大安打を集中してノックアウトしこれに代つた兒玉を頻りに亂打してその回に四點、九回に四點計九點を擧たのに反し滿倶は八十川投手の十字火球に完全に打撃を封ぜられて最後まで三壘を踏む者一人もなくつひに九對零の慘敗に終り午後六時廿五分閉戰した

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
滿倶 得點	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滿倶 安打	0	0	1	1	1	0	0	0	1	4
滿倶 敵失	0	0	0	0	1	1	0	1	0	3
明大 得點	1	0	0	0	4	0	0	0	4	9
明大 安打	1	1	0	1	5	0	0	2	5	15
明大 敵失	1	0	0	0	2	0	0	0	1	4

▲第一回　明大岩瀬四球針持の一二間安打に一擧三壘に進むや緑川の返球を吉野失して岩瀬生還次打者凡退▲滿倶無爲（明一滿零）

▲第二回　明大松井右前安打したが後援なし△滿倶無爲（兩軍零）

▲第三回　明大無爲△滿倶吉野三箇內野安打に出たが次打者凡打（兩軍零）

▲第四回　明大井ノ川粘つてファウル十を打つたのち四球、玉井の投手犠バントと松井の中前安打で三進、米澤の三箇に井ノ川…

▲第五回　明大一死後岩瀬遊撃右本壘に刺され八十川投前△滿倶二死後片岡遊撃强襲安打に出たが濱崎一飛（兩軍零）

…に針持は中前直球安打、吉相は二三間に各安打して岩瀬生還、井ノ川の中前安打で針持生還玉井投前後（小松退き兒玉投手となる）松井右翼線外に二壘打して吉相、井ノ川生還、米澤打者の際兒玉の投手暴投に三進米澤四球八十川投前△滿倶緑川二壘の內野安打に出たが後援なし（明四滿零）

▲第六回　明大無爲△滿倶永澤の三箇猛球を小林轉びながら好捕したが一壘に高投して二壘を與へたのみで次打者凡退（兩軍零）

▲第七回　明大無爲△滿倶濱崎の二壘ライナーを岩瀬追ひかけて雙手に收め、緑川の遊直離球も吉相好捕し吉野三箇（兩軍零）

▲第八回　明大松井米澤共に安打に出で八十川捕邪飛小林三振岩瀬打者の時松井米澤重盗に成功したが岩瀬投邪飛▲滿倶南條投…後兒玉四球に出たが永澤の二箇で封殺され疋田は遊箇一失に生きたが芥田右邪飛（兩軍零）

▲第九回　明大針持投箇後吉相遊左間テキサスに出で二盗井ノ川の三壘右安打に生還玉井も三遊間を拔き松井第一球を打つて五本目の安打を放てば三壘打となり、走者を一掃し投手暴投で井ノ川も生還米澤右前安打小林三箇に死んだが一擧四點を奪つて大勢を決した▲滿倶最後の攻撃に入つたが片岡中飛濱崎遊箇後緑川右前安打に出たが吉野三箇につひに零敗を喫した

滿倶	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	過失
二永澤	4	0	0	0	0	0	0	0
一疋田	4	0	0	0	0	0	0	0
中芥田	4	0	0	0	0	1	0	0
捕片岡	4	0	1	0	0	1	0	1
左濱崎	4	0	0	0	0	0	0	0
右緑川	4	0	2	0	0	0	0	0
三吉野	4	0	1	0	0	0	0	1
遊南條	3	0	0	0	0	0	0	0
投小松	1	0	0	0	0	0	0	0
投兒玉	1	0	0	0	0	2	1	2
計	33	0	4	0	0	2	1	4

明大	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	過失
二岩瀬	4	2	1	0	0	0	1	0
左針持	5	1	2	0	0	0	0	0
遊吉相	5	2	2	0	1	0	0	1
捕井ノ川	4	2	2	0	0	0	1	0
一玉井	4	1	1	1	0	0	0	1
右松井	5	1	5	0	2	0	0	0
中米澤	4	0	2	0	2	1	1	0
投八十川	5	0	0	0	0	0	0	0
三小林	5	0	0	0	0	1	0	1
計	41	9	15	1	5	2	3	3

二壘打　松井、針持
三壘打　松井
殘壘數　明大九、滿倶六
審判　岩瀬（球）宮武（壘）
所要時間　二時間五分

滿鐵用度事務所
新築工事大いに進捗す

滿鐵の用度事務所は今度大連埠頭に移轉すべく新築工事中の處七、八分通り鐵筋コンクリート工事を終つたが、新館は總延坪數二萬三千平方米の五階建、五階を事務所に當て他は倉庫とし一日平均千五六百噸の物品を揚卸しするため三噸のエレヴエータ二臺、三噸のクレーン一臺、一噸のホイツプ・ホイス二臺並に人員エレヴエータ二臺を設備し約百五、六十萬圓の工費で遲くとも本年中には竣工の豫定であると（寫眞は工事進む用度事務所）

簡保の加入者を無料で診斷
大連に健康相談所を設置　醫師會は極力反對

遞信局では簡易保險加入者の福利增進を圖る目的の下に簡易保險健康相談所並に局從事員およびその家族のため遞信診察所を設置すべく豫算二萬六千圓を計上し大連愛宕町森本病院跡借入交渉を了り看護婦、藥品並に懸合發布等の準備中であるが簡易保險健康相談所は現在大連に於ける四萬五千口の契約者に對し病氣その他の場合、無料診斷を行ひまた診斷の結果希望により處方箋も書くもので遞信診療所の方は滿鐵社員に對する滿鐵醫院と同樣、局從業員および其家族が病氣その他の場合成るべく實費で診療するもので尙之が爲め遞信局長會議出席の爲上京中の櫻井遞信局長は內地に於て囑託醫を物色中だとも傳へられ一方看護婦、藥品並に懸合發布等の準備を急いでゐるが之に關し日本人開業醫六十一名、支那人開業醫十名を包擁する大連醫師會では民業壓迫なりと反對し右計畫具體化の曉は臨時總會を開きその決議により關東長官に上申し極力阻止すべく寄々協議中である

司厨長を刺殺し海中に投ず
ジャワ丸乘組ボーイ　些細なる口論の末

【門司特電二十七日發】廿六日朝門司入港の富山市萩生商會所有のジャワ丸（四千五百噸）乘組ボーイ靜岡縣庵原郡庵原村大塚香一（二三）は同船が上海から南洋に向け航行中、去る四日午前二時頃些細なことから同船司厨長吉岡富太郎（四三）と口論の末、大塚はジャックナイフで吉岡を刺殺し、犯跡を隱蔽するため、死體を海中に投棄し同時に證據を湮滅のため血染のベット、枕等を海に遺棄したことが發覺したので、酒井船長は直に船を上海に引歸へし、五日犯人を上海領事館に引渡した

雨乞の御利益
遼陽に慈雨頻り

【遼陽特電二十七日發】遼陽附近は夏作播種後降雨なきため作物の發育不充分、ために農家は憂色に沈み居り、數日前より縣公署、老爺廟その他で雨乞の祈禱が行はれてゐたが、廿七日朝から慈雨頻りに臻り蘇生の思ひをなしてゐる

救はれた三人の孤兒
同情金により

本月八日唯一人の父親に死別れた吉村チヅ子（一七）等三人の孤兒の保護に就て廿六日親戚の長崎市大浦元町五三田島藏太郎より旅費として四十五圓送つて來たが右三人は既に岩城彌太郎、戶田珍木、松島男藏氏等の世話に依り沙河口巴町近隣の同情に旅費外七十圓餘りも惠まれ內地へ還された後なので三氏の希望もあり該金子は子供の養育費の一端にもと又內地へ送り返す事とした

滿洲敗るか、大阪雪辱か　血湧く柔道對抗戰
愈よ卅日、中央公園コートで擧行　きのふメムバー交換

滿洲軍對大阪軍の柔道對抗試合はいよ〳〵三十日午後一時より中央公園硬球テニスコートに於て田畑七段（大阪方）大木六段（滿洲方）兩氏審判の下に催されることに決定を見た、なほ昨二十七日午後一時半から滿鐵社員俱樂部に於て兩軍各監督幹事立會のうへ左記兩軍メムバー交換を行つた

大阪軍		滿洲軍	
大將五段	村上	大將五段	小谷
副將五段	濱村	副將五段	佐々木
五段	中西	五段	吉田
四段	庄野	同	深谷
同	和田（美）	四段	島田
同	鈴木	同	高橋
同	倉永	同	石垣
同	國川	同	坂田
同	和田（金）	同	吉原
四段	水口	四段	鈴木
同	森安	三段	大野
同	中島	同	岡部
三段	石井	同	筆保
同	和氣	同	多々良
同	岡本	同	今里
同	田淵	同	星崎
同	濱崎	三段	宮間
二段	時實	同	三間
同	中島	同	野間
同	長廣	同	佐々木

司厨長…
辯護士の質問と證據取調べ
大連播磨町殺人事件　きのふの午後の公判

二十七日の播磨町事件公判は午前中で事實の審理を終り午後一時再開、辯護士側の質問に移る、駿河湯淺辯護士は被告小林ハルに對し六日夕方杉浦に拳銃を預ける時杉浦の內縁の妻齋藤千代に直接手渡したのかソレとも裏の石炭箱に置いて然る後千代に賴んだのか

と詰問、之れに對しハルは「直接渡したのでなく石炭箱に置いて然る後千代に賴んだ」と答へ、齋藤辯護士は被告川崎力に對し犯罪遂行に際しハナに向つて直接間接にその事情を打ち明け、或ひは想像し得る程度の態度に出てゐたかと訊ねたが、川崎は「話した事はない、併し澤山の人が出入してゐたから或は何事か計畫してゐるだらう位は想像してゐたかも知れない」と述ぶ

竹田「信濃町に家を借りたのはハナと同棲の目的で借りたのか」川崎「私は張宗昌と行動を共にせねばならなかつたので然う云ふ意味では無かつたが、併し一家を持つた方が萬事都合が好いと思つて借りました」竹田「ハナと被告とは大分深い關係があつた樣だが、將來は落籍して同棲でもしやうかと云ふ樣な考へは無かつたか」

川崎「ソンナ事は考へた事もありませんが併し出來る事ならその位の事はやつてやりたいとは思つてゐた」

川崎に對する質問は之れで打切り更に被告小林ハナに對し竹田「被告は曩に裁判長の審問に對し

川崎と夫婦約束をした譯ではないと述べてゐたが今川崎があゝ答へる位であるから行く〳〵は夫婦にならう位は考へてゐたらうな」ハナ「その位の事は考へないでもありませんでした」と氣まり惡氣に頭を垂れる、辯護士の質問はこれで終り證據調べに入り拳銃や銅線など運ばれて一通りの取調べが濟むと辯護士側の申請により本件犯行の動機となつた蔣介石の財産鑑定のため張宗昌氏の顧問で元濟南高等審判廳長の邸任元氏、蔣の死因が果して腦震盪であつたか窒死の疑ひもあるので當時死體を解剖した小崗子署の山本醫師を證人として喚問する事とし同二時三十四分閉廷した、次回期日は未定

濟南の山田氏切腹自殺

【濟南廿六日發電】濟南銀行監査役にして商業組合の重鎭山田當太郎（長崎縣人）氏は多年の財界不況に今朝十時切腹自殺を遂げた

藝道の鑑發刊

滿蒙に於ける音樂文化の開發に資せんことを唯一のモットーとして生れ出た藝道普及社では今回「藝道の鑑」を發刊することゝなり目下記事の蒐集に努めて居る、因に同社事務所は大連市東鄕町十八番地

萬引小僧路上に顚倒して重傷す
邦人の夜店で蟇口を萬引　廿六日夜浪速町で

廿六日午後十時十分頃大連駿河町一八裁縫業盛東方見習ひ永盛證（一三）は浪速町三丁目一〇八梅崗前の夜店、西公園町七七袋物商吉富證（三二）の隙に乘じ蟇口一個を萬引し逃走せんとしたが、氣付かれた吉富のために足を浚はれて轉んだ拍子に大道へ後頭部を强打し腦震盪を起し一時人事不省に陷つたので大騷ぎとなり櫻井病院に擔ぎ込み應急手當を施したが却々重態である尙大連署よりは吉岡部長現場に出張して檢證した

阪急沿線荒しの學生辻强盜就縛
數ケ所の罪狀を自白

【大阪特電二十六日發】岡山縣津山署の手で捕へられた大阪市外阪急沿線平井の辻强盜犯人兵庫縣川邊郡長尾村字山本野上久太郎（二二）同村役場給仕山田一郎（二三）同村中山寺池田師範學校生徒山村新作（二三）の三名は二十五日夜伊丹警察署へ身柄を移し嚴重取調べの結果、彼等は池田師範三年生川邊郡川西町五小田春松（一九）と共謀し去る二日夜阪急寶塚淸荒神參詣道でも二三回辻强盜を働き九日までに寶塚植物園、新花屋敷、伊丹町外四、五ケ所を荒し廻つた辻强盜なる事判明した、尙去る十日午後一時頃長尾村大田ヤスヱ（四三）の親子三人連れを途中で襲ひ現金二十圓を强奪した事をも自白したが尙餘罪取調べ中

桃源臺傅家庄間バス
珍しい好成績

大連を中心とする滿電の乘合自動車計畫は着々實現しつゝあつて本月一日には老虎灘汐見橋、老虎灘會間の運轉を開始したが更に去る廿三日からは桃源臺、傅家庄間の運轉を開始した、又近く七月一日からは大連、金州間の豫定線を開始することになつてゐる、之がため海水浴場の往復が至極便利になつたことはいふまでもなく過般金福鐵道が一日一往復の列車運轉を減じた結果金州、大連間の交通に不便を感じてゐた際であるだけ非常に喜ばれてゐる、尙桃源臺、傅家庄間運轉初日のバス收入は百五十圓餘りで珍しい成績を擧げたと

△桃源臺、傅家庄間　日曜祭日午前午後共運轉、その外の日午後だけ一臺運轉（十六回往復）
△大連、金州間（七月一日開通）毎日午前七時より一時半毎に發車の豫定

戰爭奪盃テと米選手
人選大に注目さる

【ニユーヨーク特電二十五日發】アメリカ庭球界の强豪たるチルデン・ハンター・ロツト・ヘネシー・ヴアンリン・アリソン等各選手は目下揃つて英國ウインブルドンに於けるナショナル庭球選手權大會に出場してゐるが、デヴイスカツプ戰出場アメリカチームのキヤプテンたるデイクソン氏はインターゾーンの戰ひに於いて當然ドイツを破りフランスにチヤレンジするものとの確信を以て其の選手の顏觸れを決定する必要上、ウインブルドン試合の經過に深甚の注意を拂つてゐるので、其の人選如何は米國を通じて非常に注目されてゐるが、專門家間は此際には氣鋭の人々に機會を與へよとの聲が有力であるから豫想外の結果が出て來るであらう、即ちチルデンとハンターはフランス・ナショナルハードコード選手權試合にはフランス選手に負けてゐるに反し、ロツトは過去六ケ月間にチルデン、ハンター、ヴアンリン、ヘネシー及びラコストを破つてゐるのでウインブルドンで若し好成績を得ば當然チヤレンジラウンドにチルデンと共にシングルスに出場すること確實と見られてゐる尙ほヘネシーはダブルスに出場すべきも消息通は結局フランス、依然カツプを保持するものと豫想してゐる

第十八期決算報告（自昭和三年十二月一日至昭和四年五月卅一日）
貸借對照表・財產之部
未拂込資本金　土地　建物及敷地　什器　建築材料　賣約土地　賣約家屋　建築資金貸付　貸付金　掛代　受取手形　假出金　土木　農林　諸賣　未收入　預ケ金　銀行預金　合計
負債之部
資本金　法定積立金　別途積立金　未拂配當金　保證金　借入金　支拂手形　假受金　未拂金　賣約越金　年賦差益　前期繰越金　當期利益金　合計
損益計算
當期總益金　當期總損金　差引當期純益金　前期繰越金　合計
利益金處分
右ノ處分左ノ如シ
法定積立金　別途積立金　役員賞與金　株主配當金（一株ニ付金二五錢年四分ノ割）　後期繰越金
右之通リニ候也
昭和四年六月二十七日　大連郊外土地株式會社
追テ役員ノ選ノ結果山吉雄、丘襄二、小島延太郎、寛文造、永井雄之進、松岡勝彥、佐志雅雄ノ七名ヲ取締役ニ、內山吉雄ヲ代表取締役ニ、聞原德太郎、高橋猪吉ノ二名ヲ監査役ニ選擧セラレ各就任ス

株式名義書換停止公告　當社定款第十八條ニ依リ六月廿九日ヨリ定時株主總會終了ノ日迄株式名義書換ヲ停止ス　昭和四年六月廿八日　大連火災海上保險株式會社

目下耕築好時期に付お早目に御註文被成下度候　奉天販賣店　奉天稻葉町一　源和洋行

愛慾の窓 (22)

戸川貞雄作
淺枝次朗畫

生活の淵（二）

チラリと見た一瞬の印象だつたから、はつきりさうと云ひ切ることは出來なかつたけれども、小森商事の窓際の卓に現れた若い女事務員の顔は、箱根の早雲山麓で、久彦に忘れた帽子を屆けてくれたばかりか、大涌谷の大地獄では、死の誘惑の手から彼を引止めてくれた聖愛女學校の生徒にそつくりであつた。

で、久彦はもう一度はつきりそれを確めたいと思つた。女學生だつた彼女が、唐突に職業婦人となつて現れようなどといふ事實は、一寸想像以外な事柄ではあるけれども、また全然有り得ない事實でもなからうと、久彦は心に頷首いた。

——もう一度見たいものだな、

そしてハツキリ確めたいものだな？

彼はさう脣の蔭で呟いたが、路を隔てゝ向ふのビルデイングの窓から若い男の會社員に覗かれてゐると知つた先方では、一旦視線を遮斷するためにおろした窓懸をもう再び捲かうとはしなかつた。

そしてとうとうその日は久彦の退社の時刻が來てしまふまで、その茶褐色の意地惡い窓懸は、深く窓を鎖してゐた。

二重の興味が、久彦の注意を小森商事の窓に集注させるやうになつた。が、翌日も翌々日も、窓懸で蔽はれた窓を、彼は空しく眺めてゐるより他はなかつた。そこに若い女事務員の姿を垣間見ることは、もう永久に出來ないことのやうにも思はれ、久彦は淡い失望をおぼえた。

けれども次第に夏めいた晴れがつゞいて、暑さが頓に加はつて來るこの頃、さう暑苦しい窓懸をおろしツぱなしにしてゐられよう筈はなく、或る午後、カラ〳〵とさはやかな音を立てゝ、問題の窓は明るくパツチリと眼を開いた。そして久彦の眼には、やがてその窓の硝子扉をも明け放つた窓際に、此方へ背廣の背を見せて、一人の男の輕く腰をおろしてゐる姿が、臆面なしに見えて來た。クリーム色の瀟洒とした夏服姿である。その稍々派手すぎる縞目からも、その男がなほ年若な青年紳士であることは想像された。

向ふむきになつて、室内の誰かと談笑してゐるその青年紳士は、頻りに白い手を窓の外へだらりと伸ばしては、指先の葉巻の灰を落してゐる。きやしやな女のやうなその手には、金剛石入の指環が光つてゐる。

——はゝあ、小森の倅だな、英輔といふ男だな。

久彦は直覺した。そして彼の直覺はあやまたなかつた。やがて窓縁に淺くかけてゐた腰をおろして床に立つと、斜に此方へ見せた上半身は、紛れもなく小森英輔だつた。色白の笑顔に、ちろ〳〵と糸切歯の金歯が光る。櫛目も鮮かに香油で光らせたハーフバツクの髮を、彼は頻りに手を擧げては撫上げながら、前の卓を睨ずやうにして、明るく談笑しつゞけてゐる。

そして卓には誰が着いてゐたか？

久彦は、注意深い視線で、卓の主を探らうとしたが、生憎英輔の身體の蔭で見えない。我を忘れて一しんに眺めてゐると

「……おい、彼奴が小森英太の倅なんだぜ」

と、久彦はまた三谷に肩を叩かれた。

「知つてるよ、僕は最近或場所で紹介されたばかりだ……」

と、久彦は五月蠅さうだ。

「……畜生、また女事務員のいゝ奴でも漁りに來てゐやあがるんだらう」

三谷は吐き出すやうに云つた。

やがて英輔の姿は窓から消えたが、久彦の視野のなかに現はれて來た卓には、紛れもなくあの女學生が、今日は女事務員らしい紫色の事務服を着て、かしこまつて坐つてゐるのだつた。

jiro

滿日文藝

滿日柳壇　高橋月南選

『茶柱』

茶柱へにつこり笑ふ長博皆　旅順　榮丸
茶柱を一と呑みにする勞働者　旅順　金峰
茶柱へ愛憎もなく切れ話

茶柱に地下足袋輕くふんで出る　朝陽鎭　李堂
茶柱に不治は寂しい笑を見せ　旅順　榮九郎
茶柱へおごらされてる姉從者　大連　若葉冠
茶柱に胸算段の餅を買ひ
茶柱に無理な願ひを負けされる　大連　喜良久
馬券などつい茶柱に勸められ　大連　水母
茶柱が話題にもなる座談會
茶柱へのぞき合つてる夫婦者

朝の茶へ鼠鳴きしてひやかされ　遼陽　みのる
四疊半今朝茶柱の事をいひ
茶柱に胸一杯の晴れて浮き　大連　木の葉
茶柱に居ずまい直し嬉しがり
茶柱へしんみり話す四疊半　大連　憂猿
心中のその夜茶柱立つて出る

茶柱が立つて羊羹二ツ減り　沙河口　桂馬
茶柱へ裏庭の父呼びこまれ
茶柱へ惡夢も餘程輕くなり　旅順　柳治
茶柱が立つて嬉しい當てがあり
茶柱へ主の便りが屆けられ　大連　玉江
お茶碗の底に茶柱だけ殘り
茶柱が立つて嬉しい人が來る

七月川柳課題

七月五日締切「波、浪」　中沼若蛙選
七月十日締切「暗號」　篠田醉雷選
七月十五日締切「扇風機」　高橋月南選
◇用紙はがき必ず別記のこと　滿日文藝係

大連汽船出帆

●青島、上海行
大連丸　六月卅日前十一時
奉天丸　七月三日前十一時
榊丸　七月六日前十一時
●天津行
長平丸　六月廿九日後一時
濟通丸　七月一日前十一時
天津丸　七月三日後五時
●登州府、龍口行
龍平丸　六月廿九日後六時
●安東行
天潮丸　七月一日後六時
●香港廣東行
興順丸　七月七日
●備天津丸　七月八日
永安丸　七月十五日
●名古屋行
五大星丸　六月廿八日
●東崗丸　七月八日
●營口行
長順丸　七月三日
●阪神行營口出帆
長順丸　七月六日入港　七月九日出帆

大連汽船株式會社
電話番號代表四一八五番
專屬荷扱店（大連敷島町）
永和公司
電話七二七五・七八六八番
阪神航路專屬荷扱店（大連須磨町）
澤山兄弟商會
電話長五二六五・四六八一

北清輪船大連出帆

●鹿兒島長崎行
南都丸　六月廿九日
●日本海行
千壽丸　七月八日
●青島大阪行
富士丸　六月廿九日
大連市山縣通一二九
栃木商事株式會社 大連出張所
電話七四一八番

島谷汽船大連出帆

●南鮮裏日本各港函館小樽行
鮮海丸　七月九日
大成丸　八月四日
●寄港地 鎭南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、萩、境、宮津、舞鶴、新舞鶴、敦賀、伏木、函館、小樽
●南鮮裏日本北海道樺太行
長成丸　七月廿四日
●寄港地 鎭南浦、仁川、釜山、舞鶴、敦賀、伏木、新潟、函館、小樽、大泊
●各等客室設備あり
島谷汽船株式會社大連出張所
大連市山縣通一五三
代理店 大三商會
電長四七一一・三四八一・六二三

高橋汽船大連出帆

●芝罘行
大連芝罘間命令定期船
福壽丸　六月廿九日午後六時
●大連龍口安東縣命令定期船
龍口登州府行
海壽丸　六月廿八日午後六時
大連加賀町三〇
代理店 鹿玉軒記
電六一一七・三八五一

政記輪船出帆

吉地號　六月廿八日芝罘行
永利號　六月廿八日芝罘行
廣利號　六月廿九日威海行
增利號　六月廿九日青島行
英利號　七月一日沺泰行
迴安號　七月一日營口行
純林號　七月三日上海行
政記輪船股份有限公司
電話四一四一番

大阪商船出帆

●門司神戸（大阪行）午前十時出帆
うらる丸　六月廿九日
香港丸　七月二日
あめりか丸　七月五日
はるびん丸　七月八日
●上海福州基隆高雄行後三時出帆
長沙丸　七月八日
●福建丸　七月十九日
盛京丸　七月廿九日
●朝鮮經由長崎鹿兒島行
關東丸　七月一日
●北米シヤトル、タコマ行
ありぞな丸　七月八日
（上海神戸四日市橫濱經由）
●紐育行（神戸四日市橫濱經由）船客お斷り
はばな丸　七月十七日
●歐洲行（上海香港新嘉坡經由）船客お斷り
あるたい丸　七月二日
●天津行
貴州丸　六月廿九日前十時
河南丸　七月六日
武昌丸　七月十三日
●橫濱直行（後三時出帆）
貴州丸　七月四日
河南丸　七月十一日
武昌丸　七月十八日

大阪商船株式會社大連支店
電話四一三七番
專屬船客案内所 滿洲旅館協會
信濃町遼東ホテル内 電四一三一番
乘船切符發賣所 大連市伊勢町
ジャパンツーリストビューロー 大連案内所 電五五五四番
專屬荷客扱店（大連市山縣通）
國際運輸株式會社大連支店
電話三一五一番

二ホーム荷扱所
大山通り列符發賣所 電七〇三四番
沙河口切符發賣所 東來洋行内
電話九五〇六番
電話四八〇二番

日清汽船大連出帆

●青島、上海行午前九時出帆
唐山丸　六月
華山丸　七月四日
代理店 大阪商船株式會社 大連支店
電話四一三七番
專屬荷客扱店（大連市山縣通）
國際運輸株式會社
電話三一五一番

阿波共同汽船

●芝罘、威海衛、青島行
第十六共同丸　七月一日後七時
第廿一共同丸　六月廿八日後七時
●芝罘、威海衛、仁川行
第廿六共同丸　六月卅日後七時
●青島行
●鎭南浦行
長山丸
滿鐵とは貨物連絡取扱致候
大連市山縣通二〇〇番地
阿波國共同汽船會社 大連支店
電長六八九一・五〇〇一番

日本郵船出帆

●歐洲行
敦賀丸　七月廿一日漢堡行
對馬丸　八月廿五日漢堡行
だあばん丸　七月三日李浦行
でらごあ丸　八月三日李浦行
●紐育行
高岡丸　七月三日

近海郵船大連出帆

●長崎、神戸、大阪、橫濱行
淡路丸　七月十一日
相模丸　八月一日
●橫濱行
玄武丸　六月廿八日
相模丸　七月四日
勝浦丸　七月廿日
●天津、牛莊行
淡路丸　七月四日
相模丸　七月五日
勝浦丸　七月十三日
玄武丸　七月十八日
●基隆、高雄行
第二蓬萊丸　七月三日

朝鮮郵船大連出帆

●青島、仁川行
會寧丸　七月四日
●仁川、長崎、鹿兒島行
羅南丸　七月十日
朝鮮線道各主要驛及本社各寄港地貨物受證發行
右汽船出帆日時は天候其他の關係により變更する事有之候
水路圖誌（海圖）販賣所
朝鮮郵船株式會社大連代理店
近海郵船株式會社大連代理店
キュナード汽船會社
船客業務代理店
日本郵船株式會社 大連出張所
大連市山縣通電話 三七三九番 七八四六番
專屬客荷取扱店 監部通（吾妻橋）
丸二商會
電話四二四六・五八八八番